

令和4年度 松本市小中学校 環境教育支援事業 報告書



松本市

松本市小中学校環境教育支援事業について

1 本事業について

学校における環境教育の推進を図るため、環境分野の専門性を持つ地域の企業・団体等が外部講師となる「環境学習プログラム」を小中学校へ紹介しています。

平成22年度から、民間（環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク）、松本市教育委員会、松本市の3者による協働事業として実施しています。

2 経過

- (1) 令和4年4月12日 松本市小中学校教頭会で周知
小中学校へプログラム一覧配布と申込書募集開始
- (2) 令和4年5月31日 申込書提出締切
随時プログラム実施

3 実施状況（令和5年3月現在）

- (1) 実施校 18校（小学校18校）
- (2) 実施人数 2,294人
- (3) 実施事業 43事業（19種類）
- (4) 実施団体 15団体

4 報告書目次

- (1) 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書 1～103頁
- (2) 令和4年度学習プログラム一覧 104～127頁
- (3) 信州の環境学習サポートサイト 紹介 128頁
- (4) 【附録】松本市環境・地域エネルギー課からのお知らせ 129～130頁

【表紙写真】

左：鎌田小学校

「鎌田お宝探検～川の生き物編～」

中央：梓川小学校

「梓川リバーアドベンチャー」


右：安曇小学校

「上高地探検 陸編」

令和4年度 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書一覧


No.	学校名	講座番号、講座名	講師	学年 (人数)	実施日	頁数
1	源池小	3 山へ行こう！歩いて。感じて。学が自然環境。	認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ	5学年 (42)	6/10	1
2	明善小	11 炭用石窯でピザ焼体験	NPO法人石窯スマイル研究所	特別支援学級 (4)	12/7	2
3	明善小	14 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)	特別支援学級 (31)	11/21	3
4	明善小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	特別支援学級 (14)	9/1	4
5	四賀小	10 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	3年 (20)	12/1	5
6	四賀小	7 生きものから学ぶ環境学習	松本ホテル学(まなぶ)会	4年 (20)	6/17	6
7	源池小	19 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課	4年 (48)	9/22	7
8	芝沢小	19 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課	4年 (70)	7/8	8
9	安曇小	29 梓川&奈良井川&犀川ラフティング	合同会社リトルピークス	5,6年 (9)	6/30	9~10
10	今井小	24 身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ	1年 (33)	9/26	11
11	安曇小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	3,4年 (4)	7/8	12~13
12	大野川小	31 地元の山が好きになる登山学(のりくら散歩)	合同会社リトルピークス	1,2年 (7)	10/28	14
13	大野川小	30 水殿ダムラフトピクニック	合同会社リトルピークス	3,4年 (10)	8/25	15
14	中山小	10 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (2)	11/9	16~17
15	波田小	8 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス	3学年 (139)	8/29	18~22
16	波田小	15 自然素材で簡単工作	NPO法人わおん	4学年 (132)	6/21 6/22	23~27
17	波田小	19 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課	4年 (136)	9/8	28~31
18	波田小	38 体験して学ぶ「自然や環境」について【自然の中で遊んで学ぼう！】	体験創庫かけはし	特別支援学級 (16)	10/21	32
19	梓川小	37 体験！体感！外あそび！！	信州やがいたいけん学校がらす	6の1(34) 6の4(34)	9/13	33~35
20	芝沢小	7 生きものから学ぶ環境学習	松本ホテル学(まなぶ)会	SDGsクラブ (10)	7/7	36
21	梓川小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー(梓川源流探検)	合同会社リトルピークス	4学年 (132)	11/1	37~41
22	田川小	8 奈良井川大河の一滴	合同会社リトルピークス	5年1,2組 (52)	8/26	42






No.	学校名	講座番号、講座名	講師	学年 (人数)	実施日	頁数
23	田川小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	5年1,2組 (52)	8/30	43～44
24	梓川小	10 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	5学年 (133)	11/15 11/16	45～48
25	開明小	41 外遊びの達人講座	NPO法人わおん	3学年 (96)	8/25	49～51
26	梓川小	14 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)	6年2組 (34)	11/29	52
27	旭町小	柳沢林業協力による学習	柳沢林業	5年1組 (33)	7/15 9/16・10/14 11/11・1/20	53～59
28	安曇小	41 上高地探検・陸編	NPO法人わおん	1,2年 (13)	7/13	60
29	波田小	28 上高地源流見学	合同会社リトルピークス	3学年 (139)	9/2 9/9	61～66
30	芝沢小	12 木材の活用法【マイペン立てを作ろう】	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (28)	9/14	67
31	芝沢小	10 木の授業とバウムクーヘン作り【「バームクーヘン」って木の年輪】	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (28)	12/7	68
32	梓川小	8 梓川大河の一滴スライドショー	合同会社リトルピークス	4学年 (147)	7/19	69
33	梓川小	28 梓川リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	4学年 (134)	9/6	70～74
34	筑摩小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー【川であそぼう】	合同会社リトルピークス	2学年 (58)	8/24	75～77
35	安曇小	上高地探検・川編	川と自然と文化研究所	1,2年 (13)	8/25	78
36	鎌田小	26 鎌田お宝たんけん 川の生き物編	川と自然と文化研究所	3学年 (153)	9/13 9/16	79～86
37	明善小	12 秘密基地をつくろう	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (3)	9/29 10/4	87～90
38	二子小	15 自然素材で簡単工作	NPO法人わおん	特別支援学級 (23)	11/30	91
39	波田小	38 体験して学ぶ「自然や環境」について【自然の中で遊んで学ぼう！】	体験創庫かけはし	特別支援学級 (6)	10/12	92
40	安曇小	水の源をさがす	柳沢林業	5年 (3)	7/21	93～94
41	田川小	26 川の生き物探し	川と自然と文化研究所、松本ホテル学(まなぶ)会	3年 (40)	9/8	95～97
42	寿小	12 里山学習体験	寿さと山くらぶ	5年 (106)	9/22 9/28	98～101
43	島立小	23 火起こしと野外体験	すえなみブッシュ	4年 (53)	2/15 2/17	102～103
計	18校 (小学校18校)	19種類	15団体	2,294人		

授 業 名	美ヶ原登山		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校 5年	参加人数	42人
担当者	担任 折橋 佑樹	記入者	折橋 佑樹
実施日（期間）	令和4年6月10日（金）		
講師名	信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ 松場さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・美ヶ原登山に向けての事前学習で、登山の魅力や歩き方などを教えていただいた。 ・登山当日のガイド 		
実施状況 (授業風景)	 <p>美ヶ原の自然の魅力</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて登山をしたけど、全員無事に下山できてよかった。 ・美ヶ原にある植物について知ることができてよかった。 ・頂上で食べたお弁当やソフトクリームは最高においしかった。 ・頂上に向かう途中で動物の骨を見つけた。何の骨か気になったので、調べてみたら鹿の骨だということが分かった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>登山当日にガイドをしていただいたことで、職員・子どもともに安心して登山を実施することができました。登山未経験の職員が、担当する場合もあるので今回のようにガイドをしていただけるととてもありがたいです。</p> <p>道中に、自生している植物の名前や特徴、自然の楽しみ方を丁寧に教えていただき、子どもたちも、松場さんの話に熱心に耳を傾け、自然を満喫していました。</p>		




授 業 名	初めてのピザ焼き体験		
学校名、学年、学級	松本市立明善小学校 特別支援学級	参加人数	4人
担当者	馬場 美穂	記入者	馬場 美穂
実施日（期間）	令和4年12月7日（水）		
講師名	NPO 法人石窯スマイル研究会		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・火起こし ・ピザ作り ・ピザ焼き、喫食 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「ピザ窯の仕組みを知る」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「一緒に火起こし」</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>「生地、まあるくなあれ」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「焼けた！おいしいー！」</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気をポンプで入れたら、温度がどんどん上がっていったよ。 ・生地を伸ばすんだけど、伸ばしても戻ってきちゃう。すごいゴムゴムしていた。焼いたら、かりってなって、すごくおいしかった。 ・忘れないうちに、もう一回ピザ作ろうよ。 ・ピザ窯、おれたちも作りたいなあ。お金とかかかるよね、どうしよう。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動用のピザ窯のほかに、児童が扱いやすい小さいサイズのものを持ってきていただいた。児童が火起こしから体験できるよう準備していただき、活動の始めから興味関心をもって臨むことができた。 ・食材の準備を細やかにしていただき、子どもたちが初めてのピザ作成に集中して取り組む様子があった。 ・「またやりたい」「じぶんたちでやりたい」と次への願いを持つことができた。 		

授 業 名	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり		
学校名、学年、学級	松本市立明善小学校 特別支援学級	参加人数	31人
担当者	馬場 美穂	記入者	馬場 美穂
実施日（期間）	令和4年11月21日（月）		
講師名	松本市地球温暖化防止ネットワーク（エコネットまつもと）		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・蜜ろうキャンドルと環境のお話（講師） ・蜜ろうの研究発表（児童） ・竹筒フードづくり 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「蜜ろうのお話を聞く」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「ドリルで穴をあける」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「担任の先生とドリル」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「やすりで穴を整える」</p> </div> </div>		
授業について	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・蜜ろうってミツバチが作るんだ。はちみつや花粉から作っているんだって。 ・竹にもいろんな種類があるんだって。今日使った立派な竹は、どこに生えているんだろう。 ・ドリルで穴をあけるのが怖かったけど、一回講師の先生とやったら、できたって思った。自分でも開けてみたよ。 ・考えたデザインにできた。はやくキャンドルをつけてみたいな。 2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習で、蜜ろうについて学習をすることができた。 ・事前学習で、竹筒のデザインを考えた。児童が自分でテーマを考えて、デザインを作成していった。 ・講師の方々が、丁寧に準備をさせていただいてあった。グループごとに講師の先生がついていただき、安全面でも安心だった。 ・竹にドリルで穴をあけるのは、ダイナミックな活動で、児童がとても喜んでいた。穴をあけるときの振動や、竹の香りに気付き、友だちと感想を語り合う姿があった。 		




授 業 名	牛伏川大好き 水祖神冒険リバートレッキング		
学校名、学年、学級	松本市立明善小学校 特別支援学級	参加人数	14人
担当者	田中 歩美	記入者	田中 歩美
実施日（期間）	令和4年9月1日（木）		
講師名	合同会社リトルピークス 代表 小峰邦良さん 宇賀神しほさん 奥田さん		
実施概要	<p>・学校から、歩いて牛伏川源流のほうへ行く途中で、川の様子や、水の分岐地点を見学し、自分たちの飲み水や、田んぼなどへ水が分けられているお話を聞き、水についての学習をした。</p> <p>・牛伏川で、水生生物を見つけたり、川の中を上ったりして遊んだ。</p>		
実施状況 (授業風景)			
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水祖神のことを教えてもらってよかった。 ・カニやとびゲラ、カワニナ、ヘビトンボなど8種類見つけられてよかった。 ・農業用水と飲み水の取水地点で水についての話や歴史について話して頂いたがとても真剣に聞いていた。 ・川の様子を確認しながら歩いていったが、自分たちの家の近くの川についても関心をもった。 ・水生生物を10種類つかまえようというミッションで石をどかしたり、石の下にあみを差し込んだり、一生懸命つかまえようとしていた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候の急変で、1時間ほどしか活動できなくてとても残念だったが、子どもたちが、水の歴史や現在の川の状況の話を実際に聞いていて、環境について考えることができてよかった。 ・川遊びで、全員が網をもって、必死に水生昆虫を探していた。友だち同士で見せ合ったり、協力して探している様子がたくさんあってよかった。 		

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立四賀小学校 3学年	参加人数	20人
担当者	中野 博文（3年担任）	記入者	中野 博文
実施日（期間）	令和4年12月1日（木）		
講師名	寿さと山くらぶ事務局長 鈴木喜一郎さん		
実施概要	<p>○木の切り株を使って年輪を数えたり、年輪ができる意味を考えたりした。 ○年輪のできるしくみを理解したうえで、野外バウムクーヘン作りをした。</p>		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">   <p style="text-align: center;">20年の年輪を目標にバウムクーヘンで再現して</p>     <p>思った以上にバウムクーヘンを作るのは大変。7年の年輪が作れました。</p> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の身近な問題である、松枯れの原因や仕組みについて知る機会にもなり、森林への興味を高めることができていた。 ・バウムクーヘン作りを通じて、一つ一つの年輪ができるまでを疑似体験できた。「本物の木の成長のすごさを知ることができた。」という感想があった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バウムクーヘン作りをきっかけに、地域の身近な森林へ目を向ける機会になっていた。来年もぜひ継続して実施していきたいです。 		

授 業 名	生き物から学ぶ環境学習			
学校名、学年、学級	松本市立四賀小学校 4学年1組	参加人数	20人	
担当者	柳沢 準二	記入者	柳沢 準二	
実施日（期間）	令和4年6月17日（金）			
講師名	松本ホタル学会 藤山静雄先生			
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物の種類の減少や希少生物について、ホタルについての生態、ホタルも他の生き物も住める環境についてプレゼンを用いた学習会 ・ 学校横に流れる保福寺川の生き物の採取と生き物から分かる水質についての分析 			
実施状況 (授業風景)	 <p>ホタルが住める環境？ホタルも住める環境？どっちかな</p>	 <p>保福寺川にはどんな生き物がいるかな？</p>	 <p>いろいろな生き物がいたぞ 水質はきれいなのかな</p>	 <p>きれいな川に住む生き物がたくさんいるね。</p>
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤山先生に絶滅危惧種がたくさんいることを知って何とかしていかないといけないと思いました。 ・ 四賀地区は松本一たくさんホタルがいる場所だと分かり、ホタルを守っていきたくと思いました。 ・ 川の生き物探しは、とても楽しかったです。生き物の名前を調べるのが大変だったけど、きれいな川に住む生き物がたくさんいてよかったです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年目の環境学習でした。生き物の分類調査をして分析までできました。子どもたちは、ホタルも他の生き物も住んでいる四賀地区を誇りに感じ、その環境を守っていきたく意識できました。 ・ この学習をきっかけに、四賀地区のホタルスポットでの観察会を実施できました。ゲンジボタルもヘイケボタルも同時に飛ぶ、いわゆる源平合戦が2か所で確認できました。数の増減はあるものの、貴重なホタルが、毎年、命をつないでいることが確認できて子どもたちも、保護者も驚いていました。 ・ 藤山先生はじめ松本ホタル学会のみなさんにも来ていただき、四賀の自然の良さや子どもたちの良さを褒めていただきうれしさがわいてきました。継続して今後も環境学習に取り組んでいきたいと感じました。 			

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校 4年	参加人数	48人
担当者	佐原 健治	記入者	佐原 健治
実施日（期間）	令和4年9月22日（木）		
講師名	松本市上下水道局下水道課		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・松本市の下水道の仕組みの説明 ・ロールティッシュとBOXティッシュの水溶性の比較実験 		
実施状況 (授業風景)	 <p>コロナ感染拡大防止対策のため、Z o o mにて実施</p>  <p>ボックスティッシュとロールティッシュをペットボトルに入れ、強く振って水に溶かす実験</p>  <p>二種類のティッシュの水溶性の比較</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や学校で使われた水がどのようにきれいにされるか、仕組みがわかった ・トイレのティッシュと箱のティッシュの違いが、水の溶けやすさだったとは知らなかった。 ・トイレに溶けない紙を流すと、詰まったりきれいにするとき大変だったりすることがわかった。 ・トイレにロールティッシュ以外の紙を流さないようにしたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校はこの後宮渕浄化センターに見学したが、事前にこの授業を受けたことで、子どもたちの知識理解や興味関心が高まり、センターの見学がより充実したものとなった。 		

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立芝沢小学校 4年1組、2組	参加人数	70人
担当者	担任 上兼 恵理、山本 仁子	記入者	山本 仁子
実施日（期間）	令和4年7月8日（金）		
講師名	松本市上下水道局 下水道課 宮渕及び両島浄化センター 飯島志保さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化センターまでの下水の流れ ・ペットボトルを使った紙の溶け方実験 ・顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察 		
実施状況 (授業風景)	 <p>下水の流れ</p>  <p>紙の溶け方実験・微生物観察</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微生物の種類はたくさんあることが分かった。また動いていて驚いた。 ・使った水がきれいにするのはとても時間がかかるんだなと思った。自分でも水を使うときは、水の量を調節したい。 ・下水道管にはいろいろな工夫があることが分かった。マンホールは時代によって模様が変わっていたことに気づいた。 ・トイレトペーパーとティッシュペーパーの違いがよくわかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の学習に関連して社会見学を計画していたが、感染状況から見送っていた。しかし、今回の授業の中で浄水センター内の様子や微生物の画像、様々な実験を見せていただくことができたことで、興味・関心をもって学習に臨むことができ、理解が深まったと思われる。 ・実際に浄水センターで働く方から直接お話を聞くことができたことで、微生物の種類や送られてくる水の量など、学習の中で生まれた疑問について質問する機会ができ、大変ありがたかった。 		

授 業 名	梓川&奈良井川&犀川ラフティング		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校 5・6学年	参加人数	9人
担当者	横山 享司	記入者	横山 享司
実施日（期間）	令和4年6月30日（木）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良様		
実施概要	<p>(1) 上高地から流れ出た梓川が木曾を源流とする奈良井川と合流し、犀川となっていく様子を見る。</p> <p>(2) 信濃川水系中流域の川の様子を観察し、上流と下流との違いを実感する。</p> <p>(3) パックテストをすることを通して、川の水質保全について考える。</p> <p>(4) 実際にラフティングすることを通して川のもつ浸食・運搬・堆積作用の力を実感する。</p>		
実施状況 (授業風景)	 <p>奈良井川からラフティングをしながら、川の流れの様子を知る。瀬や淵、逆流する場所などを体感した。小雨で水量が少なかったため、川底の様子まで観察することができた。市街地を流れる奈良井川は思ったより臭いが少なかった。</p>  <p>中洲に上陸し、川の浸食・運搬・堆積作用を観察。上高地の地形の成り立ちを知る6年生は、梓川の水のパワーをよく理解していた。また、これから理科「流れる水のはたらき」単元を行う5年生にとっては、予習になった。梓川の水量が少ないのは、農業用水や工業用水に使われているため。秋に行う梓川頭首工の学習につなげる予定だ。</p>  <p>犀川と合流した梓川の流れを体感する。水から命を守る学習をすると同時に、この川が「千曲川」「信濃川」と名を変えて新潟港に流れ込むことを改めて実感した。</p>		



ラフティング終了後、奈良井川と犀川で採取した水のパックテストを行った。予想に反して、どちらもCOD 0～2と「きれい」という結果が出た。6年生の今後の学習につながる予定だ。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

昨年度行った水殿ダムのラフティングに比べて、川の流れがよくわかった。ダムは深かったけど、川には浅い所や深い所、流れが複雑な所があることがわかった。また、川の力がすごい。

奈良井川は松本市内を通り、宮淵の浄水場の下流にあるからCODは5と予想していたけど、梓川も奈良井川も両方ともCODは0～2できれいだったから中流でもそんなに汚れていないのに、海は汚いから中流から海までに何があるのか調べたい。

2 先生方の感想、要望等



6年生は、昨年度梓川の上流の水質調査を続けてきた。また、新潟県の小学校に依頼し、信濃川下流の水質調査のデータも把握している。「では、中流の水質はどうなっているのか」という学習問題解決に向けてラフティングを兼ねた水質調査をすることが、今回の最大の目的だった。児童の感想にもあるように市街地や浄水場の下流は汚いと予想していた子ども達であったが、水質がよく意外だととらえていた。また、流れ込む伏流水が水質を高めていることを知り、「犀川から千曲川の下流はどうなっているのか」という問題意識が出てきており、今後これを解決する学習を進めていく。



水質調査を含め川の力を体感する本校の目的を実現させてくれた講師の方に感謝したい。



授 業 名	身近な自然観察 (講座 NO.24)		
学校名、学年、学級	松本市立今井小学校 1学年	参加人数	33人
担当者	織茂 幸子 (1年担任)	記入者	織茂 幸子
実施日 (期間)	令和4年9月26日 (月) 9:30~11:30		
講師名	自然観察の会「ひこぼえ」		
実施概要	<p>【今井小学校の学習公園で、「秋をさがそう」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなたねをさがしてみよう ・いきものをさがしてみよう ・自然のものであそぼう ・木の実を拾おう (くるみ、くり、どんぐり拾い) 		
実施状況 (授業風景)			
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クワガタを見つけて楽しかった。 ・自然のいろんなことを教えてもらってうれしかった。 ・手作りのコクワガタの紙芝居を読んでもらって楽しかった。 ・スプーンリレーが楽しかった。 ・木の実がたくさん拾えてよかった。 ・つるでつなひきをして楽しかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生方には、生き物のことや草木の色々なことを教えていただき、子どもたちも自然に親しみながら色々なことを学び、大変楽しく貴重な機会になりました。 ・一年を通じて自然に親しむ機会を増やしていきたいと思いました。 ・毎年秋に1年生がお世話になっていますが、春夏も学習公園で自然観察を継続して行えるとさらに自然の知らない姿を知ることができていいのかなと思います。 		

授 業 名	地元の川 大好き リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校 3・4年	参加人数	4人
担当者	近藤 陽子	記入者	近藤 陽子
実施日（期間）	令和4年7月8日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「大河の一滴」の講演を聞いて、水の循環について学んだり、自然との関わり方について考えたりした。 ・地元の三川である黒川、梓川、島々谷川で泳いだり、水生生物を見つけたりした。 		
実施状況 (授業風景)	   	<p>①講演「大河の一滴」 川の上流に住んでいることの意味を考えるきっかけにもなりました。</p> <p>②黒川の水生生物採集 カワゲラを見つけることができました。</p> <p>③川での泳ぎ方を教わる子どもたち プールでの泳ぎ方との違いを教わりました。</p> <p>④梓川を泳いで横断 全員が泳ぎ切ることができました。 梓川の冷たさも体感しました。</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川によって、冷たさや流れ方が違うのがわかった。梓川はすごく冷たかった。黒川も冷たかったけど、気持ちよかった。カワゲラもいて黒川はきれいということがわかった。島々谷川にも少しだけ流されてみて楽しかった。 ・プールとは違う川での泳ぎ方を教えてもらえてよかった。 ・「大河の一滴」を聞いて、やったことは自分にかえってくるのがわかった。ゴミは大人になっても捨てないようにしたい。 ・川の上流に住んでいる私たちが川をよごさないようにしたいと思った。 		


	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none">・初めは川に入ることを怖がっていた子も、スタッフの方のサポートを受け、リバーアドベンチャーが終わる頃には、笑顔で川遊びを楽しむ姿が見られました。無理なく、一人ひとりに寄り添って、上手にサポートしていただき、本当にありがたかったです。どの子も地元の川に関心を持ち、愛着を感じる事ができたと思います。また、リバーアドベンチャーを通して、子ども同士の自然な関わり合いが生まれ、以前より仲が深まったように感じました。スタッフの皆さんがどの子にも明るくフレンドリーに声をかけ、関わってくださったおかげだと感じています。・学校の職員では、あのようなダイナミックな川遊びは体験させてあげることはできません。専門の知識と豊富な経験をおもちのスタッフの方についていただき、素晴らしい自然体験活動ができて本当に良かったです。子どもたちの地元の川を大切にしたい、川のことをもっと知りたいという気持ちがさらに高まりました。
--	--

授 業 名	地元の山が100倍好きになる登山学 「乗鞍散歩」		
学校名、学年、学級	松本市立大野川小学校 1、2年	参加人数	7人
担当者	中澤 清子・奥村 春輝	記入者	奥村 春輝
実施日（期間）	令和4年10月28日（金）		
講師名	リトルピークス 小峰 邦良		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・普段はほとんど歩かない急な山道を歩き抜く。 ・夜泣峠や一の瀬園地にまつわる言い伝えや歴史を聞く。 ・山での命を守る方法や知識を教わる。 ・地元の山の自然や景色を楽しむ。 		
実施状況 (授業風景)	 <p>松脂がどんな場所にあり、どのように採取するか教えていただきました。虫よけの効果や香りがあることも教えてもらい、大人も子どもたちも松脂を鼻の下につけて、散歩が始まりました。</p>  <p>クイズ形式で、山にはどれくらい雪が積もるか教えていただきました。笹の葉の高さで判断ができるそうです。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たのしい」「かえりたくない」と楽しそうに生き生きと活動していました。 ・普段の生活では絶対しないような活動で、新鮮味があったようです。少し怖い活動にも積極的にチャレンジしようとする様子がありました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>乗鞍に住む子どもたちだからこそ、こういった自然と触れ合う活動は地域に愛着をもつという観点からも大事にしたい活動です。もっとたくさん経験させてあげたいです。子どもたちの顔がとても生き生きしていました。1回しかないのがもったいない。子どもも大人もそう思えるような活動を設定していただき、有意義な時間でした。</p>		

授 業 名	水殿ダムラフトピクニック		
学校名、学年、学級	松本市立大野川小学校 3, 4年	参加人数	10人
担当者	奥原 由里 石山 陽基	記入者	奥原 由里
実施日（期間）	令和4年8月25日（金）		
講師名	リトルピークス 小峰 邦良		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム湖で遊びながら（水殿ダムでゴムボートに乗る、ダム湖に飛び込んで浮かぶ、サップに乗るなど）その面白さや水の危険さを知る。 ・地元の川の素晴らしさを体感する。 		
実施状況 (授業風景)		<p>ゴムボートに乗って、自分たちでパドルを使って漕ぎ出しました。2艘のボートで競争したり、ダム湖の真ん中で、ボートの端から端までジャンプして立つ（滑るとダム湖へダイブ）遊びをしたりして大いに盛り上がりました。</p>	
		<p>ウェットスーツの上にライフジャケットを着てダム湖に入りました。だんだん足がつかなくなってくると怖さを感じてきますが、体が浮かぶことがわかると、とても楽しそうでした。深いところで水深70mあるそうです。</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 この行事が行われることを知ってから、「早く行きたい。」と首を長くして待っていました。ダム湖の深さを知って怖さを感じていましたが、安全に遊ぶための約束や準備をきちんとすることの大切さをより実感できたのではないかと感じました。「またやりたい。」という声がたくさん挙がりました。</p> <p>2 先生方の感想、要望等 自然や環境に関わるお話を織り交ぜながら様々な体験をさせていただきました。児童に問いかけたり、遊びの要素を取り入れてくださったりと、児童が興味を持てるよう工夫をいただいていることが伝わりました。学校の職員だけではできない内容ですので、とてもありがたかったです。天候を鑑みて、場所や内容の変更にもすぐに対応していただき感謝です。</p>		


<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバウムクーヘン作り</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立中山小学校 特別支援学級</p>	<p>参加人数</p>	<p>2人</p>
<p>担当者</p>	<p>担任 祝迫 なおみ</p>	<p>記入者</p>	<p>祝迫 なおみ</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和4年11月9日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎さん 他2名</p>		
<p>実施概要</p>	<p>・学校の裏山の木の年輪を見たり触ったりしながら、お話を聞いた。 ・卵を割ったり粉を入れて混ぜたりして生地を作った。それを竹に塗って炭火の上で焼くことを数回繰り返し、バウムクーヘンを作った。出来上がったバウムクーヘンを目の前で切ってもらくと年輪と同じ模様を見ることができた。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>学校の裏山の木を見せてもらいました。木をよく見たり触ったりすると円い模様がありました。それが木の年齢だと教えてもらいました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>卵を割ったり粉を混ぜたりして生地をつくりました。卵の割り方は回を重ねるごとに上達しました。自分たちでやることでうれしそうでした。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>今年は一人で竹を持ち、自分のバウムクーヘンを焼きました。生地を塗ってもらい炭の上で回していくと、いい色になっていきました。生地を塗って「今度は〇才だね（〇回目）」と話しながら焼きました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>出来上がったバウムクーヘンを竹から抜いて切ってもらくと、最初に見た木の模様と同じ円い模様が出てきました。</p> </div> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で卵を割ったり生地を作ったりすることができてうれしかった。 ・一人で竹を回すのをがんばった。 ・おいしいバウムクーヘンができてうれしかった。 		

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度の経験もあり見通しをもって楽しく活動する姿が見られた。・中山の木を持ってきていただき、子どもたちも興味をもって見たり触ったりしていた。・講師の先生方が児童にやさしく話したり接したりしていただき、とてもありがたかった。・準備など丁寧にやっていただき安心して活動することができた。
--	---

	
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 児童、生徒の感想等について記載してください。 ◎みねちゃん（ガイドの方）の話がおもしろかったです。おしっこをきれいにして、川へながしているのには、びっくりしました。しぜんを大切にしているんだなと思いました。 ◎波田は、しぜんがいっぱいなんだなと思いました。早く上高地へ行きたいです。</p> <p>2 先生方の感想、要望等 自分が知らないことも聞けて良かった。 おしっこやうんちの話など、興味関心の湧きそうなところからもアプローチしていて、楽しく聞けた。 たくさん、覚えてくれているといいな、と思いながら、上高地へ行った時や海や川へ行った時、今後、環境学習をした時に、思い出してくれればいいなと思う。 また、小さい頃からの環境学習を通して、将来（今）から、実践できるとよいなと思った。</p>

環境教育支援事業実施報告書


【番号：15-2】

<p>授業名</p>	<p>梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立波田小学校 3年2組</p>	<p>参加人数</p>	<p>33人</p>
<p>担当者</p>	<p>降旗 和葉</p>	<p>記入者</p>	<p>降旗 和葉</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和4年8月29日（月）</p>		
<p>講師名、実施概要</p>	<p>【番号：15-1】と同様</p>		
<p>実施状況 （授業風景）</p>			

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 自分たちが住む波田を流れる梓川を大切にしていきたいという気持ちをもつことができた。「人間がしたことは人間に返ってくる」ということを聞いているときに、とても真剣な表情になっていた。だから、きれいに保つ努力が必要だということを感じ取っていた。</p> <p>2 先生方の感想、要望等 梓川の一滴目、始まりがどこなのかを考えることができた。写真がたくさんあり、子どもたちにとって身近だけれど、詳しく知らないことについて、視覚的に知ることができたように感じる。</p>
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：15-3】

授業名	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年3組	参加人数	35人
担当者	嶋田 美智子	記入者	嶋田 美智子
実施日（期間）	令和4年8月29日（月）		
講師名、実施概要	【番号：15-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<ul style="list-style-type: none"> ・梓川は65Kmで、上高地の方から始まっている。 ・川の始まりは一滴の水からで、それがいろいろなところから集まり、巡り巡って今の川になっているということ。つまり、きれいに見えてもいろいろなものが混じっている。（65年前の水ということ） ・人間がごみを捨て、環境が破壊されている。 ・捨てたごみはいつか自分に返ってくるということ。このことに限らずいいことも悪いことも自分に返ってくる。 ・人工物が川に増えたため、一見きれいに見えるが、野生生物が減ったり、人が溺れるようになった。1年前に人工物にあったペットボトルが全く同じ状態で残っていた。 ・リトルピークスでの活動を聞き、自然で遊ぶすばらしさを聞いた。上高地は国の持ち物なので、ものを動かしたり採ったりしてはいけないが、これでは人がなくなってしまう。自然を守りつつ、体験ができる環境になればよい。 ↓マイクロプラスチックの話。 <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・クジラの口の中からたくさんのプラスチックが出てきているのを見て、子どもたちは声をあげていた。また動物に網が絡みついている姿を見て「かわいそう」とつぶやいていた。 ・梓川を自分たちの川だと思い大事にしてほしい。 ・上高地では野生生物が出る。熊・サル・鹿など ・石や草木、昆虫などの持ち帰りはできない。しかし自然を感じて楽しんでほしい。 		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が作った人工物で魚が少なくなっているのが驚いた。 ・川はすごく高いところから流れていて、だんだんおりにっていろいろな川の水と混ざっていくことがわかった。上高地に行くのがものすごく楽しみになった。 ・上高地の水はきれいだけど、65年前の人がしていた、うんこやおしっこもまじっているから飲めないことをはじめて知りました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>梓川のスタートから終わりまでわかりやすく、画像も使って説明してくださり、子どもたちも興味をもって聞くことができた。物事は、すべてはつながっているということをしきりにおっしゃっていて、本当にそうだなと感じた。今回の学習で上高地のことだけではなく、環境問題にも目を向けられたのではないかと思う。</p>
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：15-4】

授業名	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年4組	参加人数	35人
担当者	小松 正	記入者	小松 正
実施日（期間）	令和4年8月29日（月）		
講師名、実施概要	【番号：15-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>○私たちのくらしと川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちくらしにとって水はなくてはならないもの。私たちを支えているものは水。人は川から際限ない恩恵を受けている。 ・水害からくらしを守るために人はダムをつくってきた。川は血管と同じ。途中で流れを止めるとどうなるか。ダムのある川の水はきれいではない。生態系も崩してしまう。いいバランスが必要。 ・水に着目することは大切なこと。小学生のうちにたくさん遊んでほしい。 ・波田のよさをわかってほしい。外に出ないと分からない。 <div style="text-align: right;">ありがとう梓川。</div>  <p>○源流から海のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ（山頂）からも一滴。ここ（雪山）からも一滴。雨や雪が浸み込む。途中、湧き出ることもある。ここから65kmの旅が始まる（奈良井川と合流まで）。 ・梓川→犀川→千曲川→信濃川→日本海。川は海へとつながっている。 ・川は水を運ぶ単なる水路ではなく、自然、文化、人の心を支える血管の役割を果たしている。 ・美しき山に美しき流れあり。上流の人々の心と下流の人々の心をつなぐ。 ・みんなで梓川と共に歩もう。 		

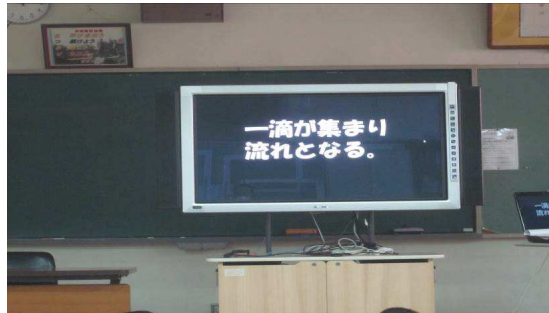
○海洋プラスチック問題



- ・海のゴミの重さが海の生物の重さを上回ってしまう。海のゴミを魚や鳥が誤って食べてしまい死んでしまっている。川に流されたプラスチックもやがて海へ運ばれ、マイクロプラスチックとなる。それを小魚が食べ、それを魚が食べ、それを人間が食べる。海へ行ったものはみんなまた戻ってくる。

○上高地ルール

- ・生き物をとらない。石も持ち帰らない。サルと目を合わさない。クマに遭ったら騒がない目を合わせない。水は汲んでもよい。




授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・上高地の写真でもすごく上高地の水がきれいなことが伝わってきました。上高地に行くのがすごく楽しみです。
- ・梓川は流れていってその後にどんどんいっぱい川がつながって行って最後は海へ行くんだよと教えてもらいました。
- ・海の魚や鳥がゴミを食べて死んでしまうと聞いて、ゴミを落とさないようにしようと思いました。

2 先生方の感想、要望等

- ・どんな大きな川も始めは一滴の水から、ということが、3年生の子どもたちにも映像と説明を通してよく理解できたように思う。その一滴がつながってつながって海にたどりつくということもとても分かりやすかった。
- ・海洋ゴミの話は子どもたちに将来の地球環境を考えていくきっかけになりそうな内容だったのでとてもありがたかった。


授 業 名	自然素材で簡単工作		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 4年1組	参加人数	34人
担当者	担任 清沢 基臣	記入者	清沢 基臣
実施日（期間）	令和4年6月22日（水） 1・2時間目		
講師名	NPO 法人わおん 代表 山田勇さん／山田直美さん／堀川明さん／吉澤さん		
実施概要	<p>のこぎりの体験（扱い方や注意点についてのお話含む）</p> <p>①のこぎりを使って木を切る ②輪切りになった木をやすりで磨く ③絵を描いてキーホルダーにする</p>		
実施状況 (授業風景)		<p>のこぎりの使い方や押さえ方、注意点などを教わり、安全に活動することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてののこぎりを扱う子も多く、当初は不安な様子も見られたが、講師の先生方が見守ってくださったことで、安心して作業をすることができていた。 ・切っていく中で板が動いてしまい、うまく切れないこともあったが、友だちと声を掛け合い、上手に切ることができていた。 ・作業を進める中で自信をもってきれるようになった。 <p>紙やすりで丁寧に表面を磨いたり、好きな絵を描いたりして、自分の好きなデザインの作品を仕上げることができた。</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてののこぎりを使った活動だったこともあり、当初は不安もあったようだが、正しい使い方を教わって実際に切ってみることで自信をもって取り組めるようになった。 ・きれいに切ることができ、好きなデザインのキーホルダーを作ることができて満足したようだった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりの使い方を丁寧に教えていただき、とてもありがたかった。また、間違った使い方の子などに対して複数の目で見えていただき、きめ細かい指導ができた。 ・自分で作ったキーホルダーをととても大切にしており、環境教育としても成果があったように思う。 		

<p>授 業 名</p>	<p>自然素材で簡単工作</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立波田小学校 4年2組</p>	<p>参加人数</p>	<p>32人</p>
<p>担当者</p>	<p>担任 小山 敏彦</p>	<p>記入者</p>	<p>小山 敏彦</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和4年6月22日（水） 3・4時間目</p>		
<p>講師名、実施概要</p>	<p>【番号：16-1】と同様</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">     </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりの扱い方を教えてもらい、注意することなども知ることができた。 ・のこぎりを初めて見て不安に感じた児童もいたが、実際に使ってみたくてという気持ちになり、安全に使用することができた。 ・木によって堅さが違うことを教えてもらい、堅い気を選んで時間をかけて切る姿があった。 ・実際に切り始めると、力の入れ具合を意識しながら、夢中になって木をきる姿があった。 ・活動中も講師の方にアドバイスをもらいながら、楽しく取り組むことができた。 ・輪切りになった木材にヤスリをかけている様子。 ・絵を描き、色を付けて、キーホルダーになったことでよい思い出になった。 </div> </div>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりの扱い方を学び、安全に気をつけて活動することができた。 ・木を何個も切り、キーホルダーとは別にお家へ持ち帰り大切にしたいという児童もいた。 2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりを初めて見たり握ったりして、使用するという児童がほとんどであったが、持ち方や扱い方などを教えてもらい、実際に木を切る活動ができ、良い経験になった。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・キーホルダーをつくるという目標もあり、汗をかきながら頑張っている姿が見られた。 ・その後の図工の授業では、教わったことを思い出しながら、安全にのこぎりを使う姿が見られた。
--	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：16-3】

授業名	自然素材で簡単工作		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 4年3組	参加人数	35人
担当者	担任 山村 南	記入者	山村 南
実施日（期間）	令和4年6月21日（火） 3・4時間目		
講師名、実施概要	【番号：16-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	 <ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりの扱い方を教えてもらい、注意することなども知ることができた。 ・のこぎりを見て「すごい！のこぎりだ！」と興味を持つ児童や、「少し怖いかもしれない」と不安に感じた児童もいたが、お話を聞く内に早く使ってみたい、やってみいたいという気持ちになっていた。 ・木によって堅さや音が違うことを教えてもらい、どの木を切ろうか選ぶ姿があった。 ・実際に木を切り始めると、力の入れ具合やのこぎりの刃を長く使うことなどにいしきがいかず、夢中になる様子が見られた。 ・活動中も講師の方にアドバイスをもらい、コツを覚えてもらったことで、疲れながらも楽しく取り組むことができた。 ・輪切りになったものにヤスリをかけている様子。途中で「木の匂いをかいでごらん」と言われて匂いをかいでみたところ、子どもたちからは『いいにおいがする！』という感想が聞かれた。 ・オリジナルの絵を描いたり、色を付けたりして、一生懸命切った木が世界で1つのキーホルダーになったことを喜ぶ姿があった。 ・お家の人へ、誕生日プレゼントにしようと考えている児童もいた。 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりの扱い方を学び、安全に気をつけて木を切る姿があった。 ・級友と協力して取り組み、のこぎりの刃を入れる角度や動かすスピードを考え、楽しみながら活動する様子が見られた。 ・時間いっぱい、夢中になって活動する姿があった。 		

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりを初めて握るといふ児童がほとんどであったが、持ち方や扱い方、注意点などを教えてもらい、木の丸太を切る活動の中でもアドバイスをしていただけのため、とても良い経験ができた。 ・自分だけのオリジナルのキーホルダーをつくるという目標もあり、意欲的に取り組むことができた。 ・その後の図工の授業では、今回の講座で教わったことを思い出し、刃の向きに気をつけてのこぎりを持ち運んだり、切り始めをゆっくり動かし段々とスピードや角度を調節したりする姿が見られた。 ・学校の授業の中の「導入」として位置づけ、講座をお願いできたことで、その後の授業でも進んで活動に取り組むことができています。 ・講師の方も4名来ていただけて、とてもありがたかった。
--	--



環境教育支援事業実施報告書

【番号：16-4】

授 業 名	自然素材で簡単工作			
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 4年4組	参加人数	31人	
担当者	担任 小林 南実	記入者	小林 南実	
実施日(期間)	令和4年6月21日(火) 1・2時間目			
講師名、実施概要	【番号：16-1】と同様			
実施状況 (授業風景)	   	<p>初めてのこぎりを扱い、初めは不安を感じている様子だったが、講師の方の説明やアドバイスをお聞きする中で、楽しく活動に取り組む姿があった。</p> <p>切る作業を進めるにつれて、切り方も上手になっていき、後半は夢中になって活動に取り組む姿があった。</p> <p>友だちと協力して、お互いに押しえてもらうことで、コミュニケーションをとる機会ともなった。</p> <p>切る作業が終わると、「もっと切りたい」という子どもたちの声がたくさん聞こえた。</p> <p>切った断面をやすりで削る作業では、2種類のやすりを使って丁寧にやすりをかけることができた。</p> <p>ざらざらしていた断面が、だんだんと滑らかになっていくのを指先で感じながら、集中して取り組むことができた。</p> <p>最後の絵を描く場面では、何を描くか迷いながらも、自分の好きなものの絵や、好きな言葉、名前などを楽しくかくことができた。</p>		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>のこぎりという道具を初めて使う中で、初めは戸惑いをみせていた子どもたちだったが、自分のキーホルダーを作りたいという思いを持つことで、楽しく作業を進めることができた。</p> <p>以下、子どもたちの感想より。</p> <p>「最初はのこぎりが怖かったけれど、講師の先生が教えてくれたおかげで、楽しくキーホルダーが作れてよかった」</p> <p>「友だちが木をしっかり押しえてくれたおかげで、のこぎりで木を切ることができた。またやってみたい」</p> <p>「オリジナルのキーホルダーができて嬉しい。今度は別の木も切ってみたい」</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>子どもたちののこぎりの扱いに冷や冷やしながらも、一生懸命作業に取り組む姿みられてよかった。子どもたちにとって、貴重な経験となり、今後の生活に生かしていければよい。</p> <p>その後の授業で、ベニヤ板を切って好きな形にする図工の授業を行ったが、今回教えていただいたことを十分に生かし、楽しく制作にと取り組むことができた。</p>
---------------	--

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 4年1組	参加人数	34人
担当者	清沢 基臣	記入者	清沢 基臣
実施日（期間）	令和4年9月8日（木）		
講師名	松本市上下水道局 下水道課 飯島志保		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化センターまでの下水の流れ ・ペットボトルを使った紙の溶け方の実験 ・顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察 		
実施状況 (授業風景)	<p>浄化センターまでの下水の流れを聞いている様子</p>  <p>・自分たちが使った水がどのように浄化センターまで届くのか説明を聞き、地下を通ってたどり着くことが理解できました。また、松本市内だけでも水道管がとても長く、たくさんが下水が流れていることに気づくことができました。</p> <p>トイレトペーパーとティッシュペーパーが水に溶ける様子の比較</p>  <p>・ペットボトルにそれぞれを入れて振ってみると、溶け方が違うことに気がつきました。トイレトペーパーが細かく分解されている様子を見て、「色水みたい」とつぶやいている子もあり、よく溶けやすいことがわかったようです。逆にティッシュペーパーはあまり溶けず、どうしてトイレにティッシュペーパーを流してはいけないのか、体験を通して再認識できたようでした。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道教室の学習を通して、自分たちの使った水がどのようにきれいになるのかがわかった。 ・きれいにするとき微生物を使っているとは思わなかった。微生物を見たときは少し気持ち悪かったけれど、あの微生物がきれいになっているんだなとわかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化センターまでの流れ等、クイズも交えながらわかりやすく教えていただき、社会で学習したことの復習になりました。コロナの影響でオンライン形式となりましたが、実施できてよかったです。学校の機器が原因かもしれませんが、音が反響して聞こえてきて、聞き取りづらい点が多々ありました。授業の中で機器を変えてみましたが変わらなかったなので、何か対策できればさらに学びが深まると思います。 		

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 4年2組	参加人数	33人
担当者	小山 敏彦	記入者	小山 敏彦
実施日（期間）	令和4年9月8日（木）		
講師名、実施概要	【番号：17-1】と同様		
実施状況 （授業風景）	<p>浄化センターまでの下水の流れを聞いている様子</p>  <p>・自分たちが使った水がどのように浄化センターまで届くのか説明を聞き、道路の下に3万kmの長さに伸びていることに驚いていました。また、松本市内も4カ所の処理場があり水をきれいにしていることに気づくことができました。</p> <p>トイレトペーパーとティッシュペーパーが水に溶ける様子の比較</p>  <p>・ペットボトルにトイレトペーパーとボックスティッシュを入れて振ってみると、溶け方が違うことに気がつきました。トイレトペーパーが細かく分解されている様子を見て、ボックスティッシュなど不要なものは下水に流してはいけないということに理解が深まりました。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道教室の学習を通して、自分たちの使った水がどのようにきれいになるのかがわかった。 ・微生物を使い下水をきれいにしていることに驚いていた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本市内の浄化センターの仕組みや等、クイズも交えながらわかりやすく教えていただき、社会で学習したことの復習になりました。 		

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 4年3組	参加人数	35人
担当者	小山 敏彦	記入者	小山 敏彦
実施日（期間）	令和4年9月8日（木）		
講師名、実施概要	【番号：17-1】と同様		
実施状況 （授業風景）	<p>浄化センターまでの下水の流れを聞いている様子</p> <p>・自分たちが使った水がどのように浄化センターまで届くのか説明を聞き、地下を通ってたどり着くことが理解できました。また、松本市内だけでも水道管がとても長く、たくさんの下水が流れていることに気づくことができました。</p>		

	<p><u>トイレトペーパーとティッシュペーパーが水に溶ける様子の比較</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルにそれぞれを入れて振ってみると、溶け方が違うことに気がつきました。トイレトペーパーが細かく分解されている様子を見て、「色水みたい」とつぶやいている子もおり、よく溶けやすいことがわかったようです。逆にティッシュペーパーはあまり溶けず、どうしてトイレにティッシュペーパーを流してはいけないのか、体験を通して再認識できたようでした。
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道教室の学習を通して、自分たちの使った水がどのようにきれいになるのかがわかった。 ・きれいにするときには微生物を使っているとは思わなかった。微生物を見せてもらったときは少し気持ち悪かったけれど、あの微生物がきれいにしているんだな、とわかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化センターまでの流れ等、クイズも交えながらわかりやすく教えていただき、社会で学習したことの復習になりました。コロナの影響でオンライン形式となりましたが、実施できてよかったです。学校の機器が原因かもしれないませんが、音が反響して聞こえてきて、聞き取りづらい点が多々ありました。授業の中で機器を変えてみましたが変わらなかったため、何か対策できればさらに学びが深まると思います。

環境教育支援事業実施報告書

【番号：17-4】

授業名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 4年4組	参加人数	34人
担当者	小林 南実	記入者	小林 南実
実施日（期間）	令和4年9月8日（木）		
講師名、実施概要	【番号：17-1】と同様		
実施状況（授業風景）	<p><u>浄化センターまでの下水の流れを聞いている様子</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段私たちが使っている水がどのように処理されていくのか、分かりやすく説明をしていただきました。水が波田地域まで届く仕組みや、川の下を通す方法などもおききすることができました。どれぐらいの量の水を毎日使っているのかを聞いたことで、「節水」への意識を持つこともできました。 <p><u>トイレトペーパーとティッシュペーパーが水に溶ける様子の比較</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレトペーパーを溶かす人とティッシュペーパーを溶かす人に分かれて、実験を行いました。普段これらの紙がどのように溶けているのかなど気にせずにごろごろしてきた子どもたちは、実験の結果を見て、「ティッシュペーパーをトイレに流してはいけない」と学ぶことができました。短時間でよく分かる実験をしていただけて良かったです。 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン形式でしたが、興味を持って取り組むことができました。 		

	<p>以下、子どもたちの感想</p> <ul style="list-style-type: none">・「下水道の仕組みがよくわかった」・「トイレtpーパーは思ったよりも水に溶けることが分かった。ティッシュは水に溶けにくいから、水に流さないように気を付けたい」・「微生物はたくさん種類がいることがわかった」 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>オンラインという制限がある状況の中、分かりやすく説明していただき、子どもの学びが深まりました。微生物を顕微鏡で見るときには、写真ではなく実際の映像を転送していただけたため、とても分かりやすかったです。最後には、子どもたちからの質問にもお答えいただき、子どもたちも満足そうでした。ありがとうございました。</p>
--	--

授 業 名	自然の中で遊んで学ぼう！		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 まつかぜ1組・2組・3組	参加人数	16人
担当者	新村 邦子 佐々木 美幸 武井 直子	記入者	新村 邦子
実施日（期間）	令和4年10月21日（金）		
講師名	体験倉庫かけはし 藤村 哲さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自然のものビンゴ ・水生昆虫を探す ・森の中で自然を感じる ・ヤギ・チャボ・ウサギとのふれあい ・ツリーハウス体験 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>やぎさん、たくさん食べてね。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ブランコ楽しいよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>にわとりさん、あったかいよ。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ビンゴやるよ。たくさん見つけてね。</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山に登っていたのが楽しかった。でも、降りるのが怖かった。 ・チャボを抱っこしたら、温かかった。毛がふわふわしていた。 ・やぎさんに葉っぱや栗をあげたら、たくさん食べてくれてうれしかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校では体験できない活動をたくさんできて、普段の教室では見られないような楽しそうな表情をたくさん見られた。 ・毎年行かせていただいている。今後も続けたい活動です。 		

<p>授 業 名</p>	<p>体験 体感 外あそび</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立梓川小学校 6年1組</p>	<p>参加人数</p>	<p>34人</p>
<p>担当者</p>	<p>守矢 久美</p>	<p>記入者</p>	<p>守矢 久美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和4年9月13日（火）</p>		
<p>講師名</p>	<p>信州やがいたいけん楽校ぶらす 降幡 光幸 先生</p>		
<p>実施概要</p>	<p>①アイスブレイクゲーム ②ネイチャーゲームと火おこし体験 ③自然を大切に 人の一生と火の一生(講義)</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>① アイスブレイクゲーム ② ネイチャーゲーム</p>  <p>説明 ○目隠しをして前の友達につながって歩く遊びを行った。 ・楽しそうと前の友達にしっかりとついていきながら、「何かある。これに気を付けて。」と、意欲的に取り組めた。 ・足元が悪いところへ行くと、口数は減り足元に集中して歩いていた。 ・途中に触った木を見つけるときは、どのグループも正解することができた。 またやりたいという児童が多かった。 ・自然界のもの(葉、木の匂い、虫など)を見つける活動では、今までじっくりと見つけることをすることがなかったので熱心に探していた。</p> <p>③ 自然を大切に 人の一生と火の一生(講義)</p>  <p>○自然からの恵み、命の大切さ、自然への謙虚な心、畏敬の心などについて学んだ。</p> <p>火おこし体験 ○火おこしの道具を使い、摩擦の力火をおこす体験をした。</p>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の葉や木の実を探すゲームは、どの木がどんな名前なのか知らなかったなので、名前がわかってよかった。 ・木は全部違う匂いだということも知ることができたり、自分たちがいつも遊んでいた竹馬の森に、何種類もの木や草があることに驚いた。 ・自然と触れ合うことができるとても楽しかった。 ・火起こし体験は簡単そうに見えたけれど、とても難しかった。昔の人は大 		



	<p>変だったということが分かった。今後は、電気や火いろいろなものを大切に使いしていきたい。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>1年生の時から遊んでいた“竹馬の森”に、何種類もの木などがあり、机の上だけではわからない匂いや手触りなどを体感することで、自然環境について興味をもつことができよかった。また、火起こし体験は、実際に行ってみるとなかなか火がつかずに苦労したが、周りの友達がコツを教えたり、手伝ったり、火が付いた時にはみんなで歓声を上げたりと、自然と団結していくこともできよい体験の時間になった。</p>
--	---




環境教育支援事業実施報告書

【番号：19-2】

授 業 名	体験 体感 外あそび		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 6年4組	参加人数	34人
担当者	江口 友希	記入者	江口 友希
実施日（期間）	令和4年9月13日（火）		
講師名、実施概要	【番号：19-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>① アイスブレイクゲーム ② ネイチャーゲーム</p>  <p>説明 ○目隠しをして前の友達につながって歩く遊びを行った。 ・転ばないようにと前の友達にしっかりとついていながら、「何かある。これに気を付けて。」と、意欲的に取り組めた。 ・足元が悪いところへ行くと、一步一步足場を確かめながら歩いていた。 ・目隠しをしながら歩いていたので、風や葉っぱの音、石や土の感触などをより感じながら体験することができた。</p>  <p>③ 自然を大切に人の一生と火の一生(講義) ○自然からの恵み、命の大切さ、自然への謙虚な心、畏敬の心などについて学んだ。</p>  <p>○火おこしの道具を使い、摩擦の力を利用して、火をおこす体験をした。</p> 		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改めて、梓川は自然が多い地区だということが分かった。 ・目隠しをしながら歩くことは怖かったけど、葉っぱを踏んだ音が聞こえたり、土の感触、石の感触などを確かめたりしながら歩くことができたので、いい体験ができた。 ・自然と触れ合うことができるとても楽しかった。低学年の子と一緒にやってみたいと思った。 ・火起こしは、簡単にできるかと思ったら意外と難しかった。改めて、昔の人は大変だったということが分かった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>普段から慣れ親しんでいる場所だけれども、目隠しをし、自然の音を感じることで、新たな発見ができたようだった。高学年になると自然環境に触れる機会が減ってくるので、改めて興味をもつことができよかった。また、火起こし体験は、初めて体験する子が多くなかなか火がつかずに苦労したが、友達と協力しあいながら、火を付けることができたので良かった。時間の関係上、火が付かなかったペアもあったので、全員に火をつける体験をさせたかった。</p> <p>しかし、今回やっていただいた体験活動は、担任ではなかなかできない活動なので、このような体験をさせていただけることはありがたい。</p>
---------------	--

授 業 名	生き物から学ぶ環境学習		
学校名、学年、学級	松本市立芝沢小学校 SDGs クラブ	参加人数	10人
担当者	横澤 理恵	記入者	横澤 理恵
実施日（期間）	令和4年7月7日（木）		
講師名	藤山 静雄先生		
実施概要	芝沢小には「せせらぎ」というビオトープがあり、ゲンジボタルが生息していることから、ホタルの学習を通して「ホタルも住みやすい環境」について、クイズを交えて教えていただいた。		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>『芝沢小にはホタルが生息するせせらぎがあるけれど、「ホタルが住みやすい環境」と「ホタルも住みやすい環境」の違いはわかるかな?』という先生からの問いに「う～ん、なんとなくはわかるんだけど…」と言いながら考える子どもたち。『ホタルだけの環境ではなくホタル「も」、ほかの生き物たちもすみやすい環境づくりを知ってほしいと思うし、目指しているのです。』との先生の言葉に深くうなずいていた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>ホタルの生態についてのクイズでは、自分の思ったことをたくさん発表しながら、学ぶことができた。</p> <p>ホタルがすんでいるこの芝沢のせせらぎの水はきれいで、ホタルのほかにもたくさんの生き物がいるから、「ホタルもすみやすい環境」だということを感じていた。</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタルについて知らないことがいっぱいあったけれど、たくさん知れてよかったです。これからも自然を大切にしていきたいです。 ・ホタルだけじゃいけない、いろんな生き物がすみやすいことが大切だと気付きました。 ・「ホタルもすすめる良い自然」になるためには、自分の考えや感覚を見直すことが大切だと思いました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>今年初めて立ち上がった SDGs クラブですが、子どもたちの関心の多くは、「環境」に関するものでした。ゴミ拾いマラソンをしたい、環境を守るポスターを描きたいなど願う子どもたちに、身近な環境についてもっと知ることができたら、これからやりたいと思っている活動にも生きるのではないかと、藤山先生にお願いをしました。学校にいるホタルのことは知っているようで知らないことばかりでした。クラブのメンバーも私も、藤山先生の話に夢中になり、あっという間の45分でした。『ホタルもすすめる環境』を大切にしていきたいと思う大切なきっかけをいただいたように思います。</p>		


授 業 名	梓川源流体験		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 4年1組	参加人数	35人
担当者	野村 仁	記入者	野村 仁
実施日（期間）	令和4年11月1日（火）		
講師名	小峰 邦良 先生（合同会社リトルピークス） 他4名		
実施概要	<p>○水殿ダムの見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムの働きについての解説 ・梓川の河川状態について解説 <p>○乗鞍のトレッキング（一の瀬園地一周）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動植物の観察 ・自然の中で生き抜くための知恵の指導 ・山や川についての自然環境に関する解説 ・生物の多様性についての話 		
実施状況 （授業風景）	<p>○水殿ダムの見学</p>  <p>ダムの働きや梓川の河川が変化していく様子について教えていただいた。</p> <p>実際にダムの上を歩き、活動をする中で、子どもの疑問について丁寧に解説をしていただいた。</p> <p>○乗鞍のトレッキング（一の瀬園地一周）</p>  <p>一の瀬園地をトレッキングをした。実際に歩く中で、自然の中で生きていく術や、動植物の生態、多様な生物が共存する自然の在り方についてなどその場面ごとに解説をしていただいた。</p>  <p>自然界で生き抜くために必要な安全を確保するためのポイントを教えていただき、歩き方や、休憩時に自分が座る場所、食事をとる場所はどんな場所が良いかを教えていただいた。トレッキングをしていく中で子どもたちも技能を高めていた。</p>		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山で紅葉しているところとしていないところがあって、紅葉していない緑のところは人が植えた場所だということが分かった。 ・ 水殿ダムで作られた電気が東京で使われていると知って驚きました。 ・ 雨の中だったが、空気が気持ちよかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梓川の上流にあたる乗鞍の自然を全身で感じ、自分たちの住む地域に対する関心がとても高まった。 ・ 実際に目で見て、手で触れたことで、子どもたちが今まで学んできて知識としてもっていたものが実感としてより確かなものになったと感じた。 ・ 講師の先生方には、活動の中で、楽しさと安全を両立させることができるように支援していただきとてもありがたかった。
--------	--

環境教育支援事業実施報告書



【番号：21-2】


授 業 名	梓川源流体験		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 4年2組	参加人数	33人
担当者	町田 都	記入者	町田 都
実施日（期間）	令和4年11月1日（火）		
講師名、実施概要	【番号：21-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>○水殿ダム見学 ダムを間近で見る経験がない子どもたちだったので、とても興味深く見学することができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○乗鞍高原の散策・樹木の様子や川の観察 雨天でしたが、善五郎の滝への道はとてもきれいで、こげや木々や落ち葉の中で静かに歩き続けていました。滝はとてもきれいで、水もきれいだったので子ども達と写真を撮りました。途中のクマよけのたたくものを全員がしっかりとたたいて歩いていました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○梓川の源流を支える自然に親しむ 散策をしながらきれいな水の流れることができました。とてもきれいな水を見て、自然を大切にすることを再確認できました。</p>		

	
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨で「いやだなあ」とつぶやいていた子ども達でしたが、山に入って美しい自然に触れて歩くうち、「こんなきれいな水なんだね」と気づいていました。 ・クマよけの鉄のパイプを全員がたたいて「これで安心」と体験していました。 ・寒かったけど、バスの中で食べたお弁当はおいしかったようです。雨のため外で食べられなかったのは残念でしたが、たくさん歩いておなかがすいたようでした。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来れば、雨ではなく晴れた日に散策したかったと感じましたが、子ども達はよく歩き、しっかり周りの自然を感じていました。 ・善五郎の滝が美しくきれいな流れで。近くで見られてよい体験だったと思いました。

環境教育支援事業実施報告書

【番号：21-3】

<p>授業名</p>	<p>梓川源流体験</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立梓川小学校 4年3組</p>	<p>参加人数</p>	<p>32人</p>
<p>担当者</p>	<p>中山 真樹</p>	<p>記入者</p>	<p>中山 真樹</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和4年11月1日(火)</p>		
<p>講師名、実施概要</p>	<p>【番号：21-1】と同様</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○水殿ダム見学</p>  <p>水殿ダムの成り立ちや、仕組、ダムがあることによる人間や自然界への影響を、目の前に広がるダムの様子を指さし、実際に歩きながら教えていただいた。</p> <p>○乗鞍高原の散策・樹木の様子や川の観察</p>  <p>雨が降っていたため、まずは安全に遊歩道を歩くコツを教えていただいた。歩きながら周りに生えている木々の名前や近辺にいるであろう動物についての話もお聞きすることができた。</p>		



	<p>○梓川の源流を支える自然に親しむ</p>  <p>遊歩道沿いにある、ぐるっと円をかいて上に伸びる松の木や大きな石、池の成り立ちについて教えていただいた。冬の池の上では、物音ひとつしない世界が広がっているお話には子どもたちも興味津々で聞いていました。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・においがするところや、岩や石のことを教えてくれた。 ・探検のようだったのしかった。 ・ダムで自然が壊れてしまうのは残念だけれど、安心して暮らしができるのはうれしい。 ・山を登ったことが良い経験になった。 ・説明がとても上手でわかりやすかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍を何回もガイドする人でしかわからない場所や知識、感じ方を織り交ぜながらお話していただき、興味を持って聞くことができました。また、お昼を食べた後にガイドさんの身の上話をふまえながら、自然や乗鞍、梓川のすばらしさについて話をしてくださったことが子どもたちの心にも響いたのではないかと思います。

環境教育支援事業実施報告書

【番号：21-4】

<p>授業名</p>	<p>梓川源流体験</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立梓川小学校 4年4組</p>	<p>参加人数</p>	<p>32人</p>
<p>担当者</p>	<p>小原 妙子</p>	<p>記入者</p>	<p>小原 妙子</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和4年11月1日(火)</p>		
<p>講師名、実施概要</p>	<p>【番号：21-1】と同様</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○水殿ダム見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水殿ダムの堤の上を歩き、水殿ダムの様子を見た。 ・堤がカーブしているわけを説明していただいた。 ・堤を端から端まで歩き、その大きさを体感した。 ・水殿ダム周辺で見られる野生動物の観察。 ・水力発電や治水など、ダムには多くの役割と種類があることの説明。 ・治水のためのダムの設備や堤から見える下流の観察。 <p>○乗鞍高原の散策・樹木の様子や川の観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一ノ瀬園地周辺の散策。 ・乗鞍周辺でよくみられる野生動物についての説明 ・紅葉した樹木の様子や、落葉した葉に覆われた道を歩く感触を味わった。 <p>○梓川の源流を支える自然に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来種の問題と持ち込まないために必要な心構え、子どもたちのできる対策を具体的に体験した。 ・源流に近い川の幅の狭さや岩の様子を観察し、夏に行った学校近くの梓川での体験活動と比較して、上流と下流のちがいを体感した。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今落葉した葉が川から海へ流れていくと、海藻の肥料となり魚が食べて海が豊かになるといったつながりを学習した。
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山に登ってみると、雨だから見られる景色があつていつも雨が降ると「あめかー、やだなあー。」と思うけれど、リバーアドベンチャーをやったら、「雨ってとってもすてきだな。」と思った。景色はきりで、奥が見えなくて、そして木が少し見えるのがすてきだし、雨が降って空気がきれいだった。 ・ 山に入ると歩く場所が少ないところを歩いてどきどきした。転びそうなところもあつて、びっくりした。リトルピークスの皆さんに、どこを気を付けなければいいとか、どこの危ないところがあるとか、すごく親切に教えてもらつてうれしかった。 ・ 水殿ダムは大きく青っぽい色で、世界地図のような模様があつた。大きくてすごいと思った。 ・ ダムがカーブしている理由はまっすぐにするるとすぐこわれると聞いて驚いた。 ・ ダムにはいろんな種類があつて、水殿ダムはコンクリートだったけど土で作られたダムもあると聞いてみたいと思った。 ・ 途中にある川の水はとても冷たく、手がこおりそうだった。いったところは熊がよく出るらしく、熊よけを鳴らしながら行った。寒かったけれど楽しかった。 ・ ふっていた雨よりも川の水のほうが冷たかった。この水は冷たすぎて、魚のヤマメしか住んでいないと聞いて、びっくりした。 ・ 森はと中に川があつて、とてもきれいだった。岩がごつごつあつて、歩くのが大変だった。 ・ 森の中の川は細くて、曲がっていて、学校の近くの梓川とだいぶ違うと思った。 ・ 外来種を入れなかったために、マットでくつをふいてから山に入った。リトルピークスの皆さんは自然を守るためにいろいろなことをしているんだと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨天にも関わらず子どもたちが楽しそうに山歩きをしていた。安全なコースを選択してもらっていたので、けが人もなく、地元の山々によい印象を持つことができていた。職員では難しい体験を設定してもらえたのがありがたい。

授 業 名	大河の一滴スライドショー（犀川川下り事前学習）		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校 5年1・2組	参加人数	52人
担当者	5学年職員	記入者	武田 光雄
実施日（期間）	令和4年8月26日（金）		
講師名	リトルピークス代表 小峰 邦良さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が生み出す川の価値と必要性を再認識できるスライドショーと講話 ・川下りに必要な安全講習 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>一滴の水が源泉となり、身近な川をつくっている。名前を変えながら海へと流れている。その川の恩恵を人々は受け、生活豊かにしてくれる。人々が川を汚すことは、いずれ自分たちに返ってくる。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>川に落ちたときにすべきこと、パドルの扱いで気をつけなければいけないことを教わった。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山の一滴一滴が集まって川になっていくのがすごいと思った。 ・川のはじめは小さく、山々から降りてきていて長い旅をしていると思った ・上流の写真を見て、普段見ている川がここから流れているのかと思うとおもしろいなと思った。 ・危険なこともあるけれど、自然は楽しいものだと感じられた。 ・「楽しく生きる」ということが大人になっても大切だと思った。 ・自然を人が破壊してはいけないと感じた。そして、みんなが自然に関心をもってほしいと感じた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>講師の小峰さんの実体験も交えながら、子どもたちに分かりやすく自然や自然と関わる遊びについてお話していただき、たくさんのお話を子どもたちは感じる事ができた。たくさんのお話を食い入るように見ながら、自然のよさや不思議さを感じながらも、環境汚染や自然の脅威も考えていかなければならないことも知ることができていた。後日に控えた川下り体験での留意点も、ポイントを絞りの確に教えていただいた。</p>		

授 業 名	地元の川大好きリバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校 5年1組	参加人数	25人
担当者	柴崎 武利	記入者	柴崎 武利
実施日（期間）	令和4年8月30日（火）		
講師名	リトルピークス代表 小峰 邦良さん 他3名		
実施概要	身近な川がどのようにつながっているか、ボートに乗り実体験することを通して、自然の楽しさ、川の魅力を感じる		
実施状況 (授業風景)	 <p>初めて着るウェットスーツの着方のコツを教えてくださいました。</p>	 <p>ボートに乗るための安全指導。みんな真剣に耳を傾けています。</p>	
	 <p>普段は上に行く橋の橋脚のそばをボートで通り、不思議な感じ。</p>	 <p>声と気持ちを揃えて、パドルをがんばって漕ぎました。</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やる前は怖かったけど、やってみたらおもしろかった。 ・パドルを漕いだり振ったりするのが難しかったが楽しかった。 ・大きい石があるところにぶつかると、思ったより揺れてびっくりした。 ・ボートから川の水に入ったが、自分の力でボートに上がることができずくやしかった。 ・今までただ川をみていただけだったけど、自然にふれてみて「川っておもしろいな」と思った。 ・みんなでかけ声を合わせて漕ぐとまっすぐ進んでかけ声は大切だと思った。 ・川は意外と浅いのに流れがはやくて、簡単に流されてしまうなと思った。 ・川の分かれるところで、二つの川に入ったが、梓川の方が冷たかった。 ・川のことに関心をもつことができたし、もっと遊びたかった。 ・川にゴミが増えないように願いたい。学校でゴミ拾いをしたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>はじめは水を怖がっていた児童も、安全な乗り方を教えてもらい楽しい雰囲気の中で活動でき、とても良い経験になった。ためらいのあった児童も、実際に川の中に入ったことで、川の流れも感じて、川を身近に感じるようになったように思う。田川小の児童にとって川は身近にあるものではあるが、関わり方で、さまざまな活動につながっていくことを改めて感じたので、来年度以降もこの活動が継続できるとありがたいし、この活動をさらにほかの活動につなげていけたらと思う。</p>		

<p>授 業 名</p>	<p>地元の川大好きリバーアドベンチャー</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立田川小学校 5年2組</p>	<p>参加人数</p>	<p>27人</p>
<p>担当者</p>	<p>武田 光雄</p>	<p>記入者</p>	<p>武田 光雄</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和4年8月30日（火）</p>		
<p>講師名、実施概要</p>	<p>【番号：23-1】と同様</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>			<p>みんなで声を合わせて、チームワークを高めます。</p>
		<p>川辺では、川のごみや環境についてお話してもらいました。</p>	<p>川に入ってからボートへ。水の冷たさも感じました。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川は遠くからみると浅そうだったけど、近くで見ると深かった。 ・川の流が速く、岩にぶつかったり回ったりして楽しかった。 ・危ないと思ったけれど、ガイドの方が気をつけてくれて安全に行けた。 ・川の流はいろいろで、流はおだやかでもそれなりの力があつた。 ・思ったよりも漕ぐのが大変で、みんなで力を合わせないとうまく進まなかつた。 ・ボートの紐を持ちながら川に入ったとき、怖かつた。大きいからはとてつもなくすごい。 ・浅瀬には、アメンボや小魚がいっぱいいた。 ・ボートの上から、いつもとちがう自然が見えたのでよかつた。 ・川から見ている景色は、いつもは見えないものも多かつたのでよかつた。 ・川にはいろいろなゴミが落ちていた。どうやったら川をきれいにできるか、学んでみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>天候が心配された中での実施だったが、ガイドの方々や ee ネットの皆さんのサポートにより、無事実施できた。子どもたちは当初川下りに対して、興味関心が薄かつたが、ライフジャケットを着て川に着く頃には、気持ちも高揚していた。普段見ている川でボートに乗り、非日常の感覚を十分に味わうことができた。ガイドの方々にはボート上で、チームワークが増すサポートや自然のことに目を向けさせてくれる声かけをしてくださり、とても貴重な経験ができた。学校として、この活動を位置付けていけたらよいと思う。</p>		

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年1組	参加人数	36人
担当者	担任 加藤 良知	記入者	加藤 良知
実施日（期間）	令和4年11月17日（木）		
講師名	寿さと山くらぶ 代表 鈴木さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木の年輪のでき方について、実際の木の年輪を見ながら学習をした。 ・バウムクーヘンが木の年輪と同じようにできることを学び、実際にバウムクーヘンを作った。 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>まず卵を割って入れます</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>粉を入れてよく混ぜて</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>竹の棒に巻き付けて焼きます</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大きいバウムクーヘンができました</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の年輪は1年ごとにできていき、その年の気候などで年輪が少し違うことを聞いて、とても納得しました。 ・バウムクーヘンは、材料をまぜたり竹を回したりして、だんだん太くなっていくのがとても楽しかったです。 ・バウムクーヘンは、速すぎず遅すぎず回すのが大変でしたが、完成したバウムクーヘンは、年輪と同じようにできたのでよかったです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機材をすべて用意していただいたので取り掛かりやすい講座でした。 ・木の年輪とバウムクーヘンを比較しながら製作することで、子どもたちが木の生長について興味を持つことができました。 ・今回の学習をきっかけに、自分が生まれ育っている地域に目を向け、自然環境について関心を持ちいろいろなことに取り組んでいってほしいと思いました。 		



授業名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年2組	参加人数	32人
担当者	高木 秀昭	記入者	高木 秀昭
実施日（期間）	令和4年11月16日（水）		
講師名、実施概要	【番号：24-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	① 木の話（年輪について） 木の年輪のでき方について、気を輪切りにしたものをもとに具体的に教えていただく。年輪の幅によって、気が育ったその時の気候や自然環境を知ることができることなどを学んだ。		
	②実習（バウムクーヘン作り） 年輪に見立てたバウムクーヘンを作った。 ・自分たちで卵を割ったり、粉類を入れてかき混ぜたりして生地作りをした。 ・一本の竹に生地をつけてもらい、二人一組で6回に分け協力して焼いていった。焼いていくときに一年目、二年目と木が育つようにして作っていった。		
	竹から外したバウムクーヘンを袋に入れて、家に持ち帰ってから試食した。（コロナ対策のため）卵アレルギーがある児童には、卵抜きパンを焼いて持たせていただいた。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・本当の年輪を見ながら年輪の幅の違いがどのようにしてできるのかを知ることができたので良かった。 ・森の中の木を間引きしていくことも大切だということを知ることができたので、今後自然を大切にしたい。 ・バウムクーヘン作りは、二人で協力してできて、だんだん年輪が太くなってできていくのが楽しかった。		
	2 先生方の感想、要望等 ・自然豊かな地にありながら森や林に関心が薄い子どもたちが、今回の学習をきっかけに、身近な自然、そして自然保護について関心を持てたらと思います。 ・材料や機材などすべて用意していただき、また丁寧に指導していただいたので子どもたちもとても楽しかったと思います。また、アレルギーがある子への対応まで細かくしていただきありがたかったです。		





授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年3組	参加人数	32人
担当者	大木 紀子	記入者	大木 紀子
実施日（期間）	令和4年11月15日（火）		
講師名、実施概要	【番号：24-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	④ 木の話（年輪について）		
	<p>年輪のでき方・年輪を見ると樹齢や気候が分かること、枝の広がりと同じくらい根も生えていること、間伐をすることで森を守っていること、戦争でたくさん木を伐採し、その後植えた木が今成長しているということなど、たくさんの方を教えていただいた。</p>		
	<p>②実習（バウムクーヘン作り）</p> <p>年輪に見立てたバウムクーヘンを作った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで卵を割ったり、粉類を入れてかき混ぜたりした。 ・一人一本の竹に液をつけてもらい、くるくる回しながら焼いていった。生地がまるで一年目、二年目と木が成長していく年輪のようにだった。 		
	<p>竹から外したバウムクーヘンを袋に入れて、家に持ち帰った。（コロナ対策のため）家族と一緒に美味しくいただいた。</p>		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・家などの床に使っている木のもようは、年輪に似ていたのでも、年輪はいろいろな場所で使われているのかと考えた。年輪で木の年齢が分かること、年輪でその1年間の気候が分かることを初めて知ることができた。長生きしている木はなぜ太いのかという疑問が解決してよかった。 ・年輪と年輪の間で何十年・何百年前の天気などが分かるとは知らなかった。 ・森林は木を切ったり手入れをしなくなり立派な森林にならないのだと分かった。 ・バウムクーヘン作りでは、竹に生地をつけて回すとき、生地がこぼれやすくて大変だったけど楽しかった。バウムクーヘンには、どうして年輪みたいな模様があるのかなと思っていたけど、でき方が分かってよかった。 		
	2 先生方の感想、要望等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の学習で、たくさん子どもたちが木の成長や年輪に興味を持ち、自然の豊かさや環境問題について気づくことができました。 ・材料や道具、機材をすべて用意していただいたので取り掛かりやすい講座でした。また、作り方を丁寧に教えていただきありがとうございました。 		

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年4組	参加人数	33人
担当者	小須田 涼太	記入者	小須田 涼太
実施日（期間）	令和4年11月15日（火）		
講師名、実施概要	【番号：24-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>① 木の話（年輪について）</p> <p>木にできている年輪のでき方について教えていただく。 年輪の幅によって、その時の気候がわかり、自然環境を知ることができることなどを学んだ。</p> <p>②実習（バウムクーヘン作り）</p> <p>年輪に見立てたバウムクーヘンを作った。 ・自分たちで卵を割ったり、粉類を入れてかき混ぜたりした。 ・一人一本の竹に、液をつけてもらい、焼いていくときに一年目、二年目と木が育つようにして作っていった。</p> <p>竹から外したバウムクーヘンを袋に入れて、家に持ち帰ってから試食した。（コロナ対策のため）</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じっくりと年輪の様子を観察ができ、年輪の幅の違いを知ることができたので良かった。 ・森の中の木を間引きしていくことも大切だということを知ることができたので、今後自然を大切にしたい。 ・バウムクーヘン作りは、年輪に見立てながら作っていったので楽しかった。また機会があったらやってみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然に恵まれた子どもたちだが、意外と森や林などについて関心を持っていなかったが、今回の学習をきっかけに、自分が生まれ育っている地域に目を向け、自然環境について関心を持ち、いろいろなことに取り組んでほしいと思いました。 ・機材をすべて用意していただいたので取り掛かりやすい講座でした。 		



授 業 名	外遊びの達人講座		
学校名、学年、学級	松本市立開明小学校 3年1組	参加人数	32人
担当者	教頭 木船 暁美	記入者	木船 暁美
実施日（期間）	令和4年8月25日（木）		
講師名	NPO 法人わおん 山田勇さん、山田直美さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校敷地内にある、『開明自然の森』にて、ロープの結び方の練習をした。 ・実際にロープを結んでハンモックを作った。 ・グループごとに作ったハンモックを使って遊んだ。 		
実施状況 (授業風景)	 <p>ロープの結び方を覚えようと、一生懸命に見ていました。 実際にやってみると、なかなか難しい・・・。</p>  <p>ハンモック揺られるのは、本当に気持ちがよく とっても不思議な感覚！</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロープの結び方が難しかったけど、覚えられてよかった。 ・ロープでやったときはわかったと思ったけど、ハンモックでやったら難しかった。 ・ハンモックは、こわかったけど、乗ってみたら気持ちよかった。 ・みんながすごく揺らしてきて、楽しかった。 ・家でもハンモックをやってみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の中での体験が少ない子ども達に、新しい楽しみ方を教えていただき有り難かった。 ・それぞれに声をかけていただき、子ども達はとても楽しく取り組むことができた。 ・ほどけないロープの結び方を教えていただき、貴重な体験となった。 		

<p>授 業 名</p>	<p>外遊びの達人講座</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立開明小学校 3年2組</p>	<p>参加人数</p>	<p>32人</p>
<p>担当者</p>	<p>担任 塩原 一矢</p>	<p>記入者</p>	<p>塩原 一矢</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和4年8月25日（木）</p>		
<p>講師名、実施概要</p>	<p>【番号：25-1】と同様</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;">  <p>このあたりの木につけようか。 友だちと協力してやってみよう。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>わっかを作って、ネジネジするんだな。 簡単だしできそうだ！</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  <p>ハンモックでゆられるの楽しいなあ。 2人で座ってみたよ！</p> </div> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・自分で結んだロープでハンモックが木につけることができうれしかった。 ・友だちと協力しながらロープを結ぶことができた。 ・ハンモックに寝転んだり、友だちと一緒に揺られたり気持ちよかった。 ・家族とキャンプに行った時もやってみたい。 2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT が普及していくなかで、子どもたちが自然とふれあい、野外活動に興味関心のもつきっかけの一つとあってほしい。 ・講師の先生には、道具の用意から、指導、片づけまでお世話になりました。ユニークなキャンプネームで子どもたちも親しみやすく、指導も子供たちがわかりやすい言葉で説明していただいたので本当にありがとうございました。ありがとうございました。 		

授業名	外遊びの達人講座		
学校名、学年、学級	松本市立開明小学校 3年3組	参加人数	32人
担当者	担任 武田 亜紀	記入者	武田 亜紀
実施日（期間）	令和4年8月25日（木）		
講師名、実施概要	【番号：25-1】と同様		
実施状況 （授業風景）	 <p>あんなに簡単に結んだだけで本当にロープがほどけないのかな？</p>   <p>ハンモックは気持ちいいなあ。 みんなでハンモックを揺らそう！</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がハンモックに乗っても、ロープがほどけないことにびっくりした。 ・またハンモックを作って、のんびりしたい。 ・ハンモックに揺られるのが楽しかった。 ・もっと遊びたいという子が多く見られた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力をかけてもほどけない結び方を教わった後、実際にハンモックを作り、自分がハンモックに乗り、ほどけないことを実感していました。 ・遊びの中や普段の生活の中だけではなく、災害時などにも、ロープ結びを活用してほしいと感じました。 ・講師の先生には、外で遊ぶ楽しさを実感できる活動を用意していただき、子どもたちが楽しみながら活動することができました。 		

授 業 名	蜜蝋 竹キャンドルづくり		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 6年2組	参加人数	34人
担当者	沼尾 浩輝	記入者	沼尾 浩輝
実施日（期間）	令和4年11月29日（火）		
講師名	松本市温暖化防止市民ネットワーク 鈴木 喜一郎 先生		
実施概要	<p>① 竹資源の活用法について ② 地球温暖化防止についての講義 ③ 蜜蝋竹キャンドルづくり</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>・はじめに竹の種類や資源への活用法について話をいただいた。また、地球温暖化についての資料をもとに、このまま何も対策をしないとどうなっていくのかなど話をいただいた。</p> <p>・講義が終わると蜜蝋の竹キャンドルづくりに移った。はじめに、講師の方にサポートしていただきながら竹を切っていた。</p> <p>・竹を切り終わると、事前に用意していた穴を空ける場所や形を書いた紙を竹に巻き付け、ドリルで穴を空けていった。講師の方が電動ドリルや竹をしっかり支えてくださったため、子どもたちも安心して取り組んでいた。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このまま何もしないと、地球温暖化が進み、長野県も40℃くらいになってしまうと聞いてびっくりしたし、なんとかしないといけないと思った。 ・みつろうでキャンドルが作れることや、環境への負担がないという話を聞いてびっくりした。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが総合的な学習の時間に進めてきたものづくりと環境保全に係わる活動が実践できたことが何よりありがたかったし、子どもたちも楽しみながら環境について学ぶことができているように感じました。 ・のこぎりやドリルなどの危険なものについても、グループにつき一人講師の方がついてくださり、使用時もマンツーマンで対応してくださったため、安心して取り組むことができありがたかったです。 ・松本駅前で行われたキャンドルナイトに展示をするという目的があったことも子どもたちの意欲につながり、当日何人も会場に足を運ぶ様子も見られました。 		



<p>授 業 名</p>	<p>木のことを知ろう ～木と仲良くなろう～</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立旭町小学校 5年1組</p>	<p>参加人数</p>	<p>29人</p>
<p>担当者</p>	<p>中山 豊</p>	<p>記入者</p>	<p>中山 豊</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和4年7月15日（金）</p>		
<p>講師名</p>	<p>柳沢林業</p>		
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマト牧場までの森の中を歩きながら、植物や木についての説明をしていただいた。 ・赤松の松枯れについてお話をしていただいた。 ・制作のヒントになる、工場の様子を見せていただいた。 ・ヤマトとのふれあいを行った。 		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;">   <p data-bbox="488 1010 1458 1126">森の中に生えているウルシやヌルデなど触るとかぶれる植物について説明を受けている。森の中で植物に関するクイズを出してもらい、自分たちの目で見つけて答えを探したりしていた。</p>   <p data-bbox="847 1440 1474 1597">木の年輪についての説明を受けたり、木の特徴について説明を受けたりしている。年輪の数え方について教えてもらい、実際に木の年を数えてみた。</p>   <div data-bbox="1198 1581 1469 1895" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>キツツキが空けた穴のせいで、木の中が空洞になっていることも教えていただいた。</p> </div> <p data-bbox="488 1951 1474 2067">枯れてしまっている赤松を見ながら、松くい虫やカミキリムシについて教えてもらい、松枯れは森に新しい木が生えるために必要な作用であることや木を利用することの大切さを教えてもらった。</p> </div>		



制作をヒントになる木工作品を工場で見せてもらったり、馬のヤマトと触れ合ったりした。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等



- ・木の年輪を見せてもらって、木は大きく成長するまでに、何年も何十年もかかることが分かった。木を無駄にしないように大切に使用したい。
- ・松枯れは悪いことばかりだと思っていたけど、木が枯れて森の栄養になってまた新しい木が育つので、悪いことばかりではないということを知った。
- ・木を適度に利用しながら自然を守っていきたい。

2 先生方の感想、要望等

森の中に入り、実際に触ったり、においをかいでみたり、食べてみたりしながら、森の植物について教えていただいた。子どもたちは体験を通して学ぶことができ、とても良い顔をしていた。木についても年輪の話や松枯れの話、森にある木の利用の話などしていただいたことで、子どもたちの木に対する考え方やイメージを膨らませていただいた。また、最後に、工場を見せていただいたことで、自分たちの作りたいもののイメージが広がったり、膨らんだりした様子が見られた。次回は、自分たちの作りたいものに合う木や木の性質など詳しく教えていただきたい。

環境教育支援事業実施報告書

【番号：27-2】

授業名	自分たちの作りたいものをプレゼンしてアドバイスをもらおう		
学校名、学年、学級	松本市立旭町小学校 5年1組	参加人数	33人
担当者	中山 豊	記入者	中山 豊
実施日（期間）	令和4年9月16日（金）		
講師名	柳沢林業 齋藤さん 東郷さん 犬飼さん		
実施概要	「お世話になった人と手づくりパーティーをひらこう！」を合言葉に、木材でおもてなしのできるものをつくろうと考えた子どもたちが自分たちの作りたいものをプレゼンテーションすることで、専門家からのアドバイスをいただき、自分たちの考えたものが本当に制作できるのかを考える活動。		
実施状況（授業風景）	 		

自分たちのつくりたいものをがどんなもので、どのようにするのか。どんな課題があるのか柳沢林業の方にプレゼンテーションしている。



実際の材料や例をもとに、具体的なアドバイスももらっている。PCを使って、どのように課題を解決するのかも一緒に考えさせてもらった。



プレゼンテーションした実際の写真に直接アドバイスももらったり、お休みの子とリモートで話し合いをしたりした。少人数なので、意見を出しやすく、自分たちの考えも広がった。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

今まで、製品を見て、「それをつくりたいから、このような材料が欲しい」と考えていた子どもたちが、それではとてもお金がかかるということを教えてもらい、製品から木材を考えるのではなく、木材から製品を考えることに、考え方を変えることができました。そうすることで、今まで調べていた製品から違ったものを調べるようになり、同じものでもいろいろな角度で考えられるようになりました。

2 先生方の感想、要望等

具体的にお金がどんなことにかかるのかを説明してもらったり、他に考えられる形はないかとヒントをもらったりしたことで、子どもたちの考えが一気に広がりました。また、100円で売っているスプーンを例に、自分でつくったものが100円で売れるか？と聞かれ、それが物の価値だということも教えてもらいました。子どもたちの考えがより具体的になりました。

環境教育支援事業実施報告書

【番号：27-3】

授業名	実際に木材や製品をみて、自分たちのイメージを広げよう		
学校名、学年、学級	松本市立旭町小学校 5年1組	参加人数	33人
担当者	中山 豊	記入者	中山 豊
実施日(期間)	令和4年10月14日(金)		
講師名	柳沢林業		

<p>実施概要</p>	<p>自分たちでつくりたいもののプレゼンテーションをした子どもたちが、専門の方からアドバイスを頂いたことで、製品から材料を考えるのではなく、材料から製品を考えようという考え方に変わった。そこで、実際に木材を見たり、譲って頂いたりする中で、さらにつくるもののイメージを広げ、実際の制作につなげていこうとする意欲を持つことができる。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>自分たちのつくりたいものに必要そうな材料を、柳沢林業の方に手伝ってもらいながら切出している様子。(ベンチ制作グループ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <div data-bbox="820 752 1461 958"> <p>小屋をつくりたいと考えている子たちは、実際に柳沢林業さんの敷地に建っている小屋の構造を見ることで、どのようにしたら、自分たちでも小屋をつくっていけるかのイメージを持った。 (小屋制作グループ)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <div data-bbox="839 1137 1442 1391"> <p>ブランコをつくりたいと考えている子たちは、どのように木を組んだら体重が支えられそうか考え、敷地に合ったドラム缶をつるしてある構造物を見ながら、丈夫な組み方について考えていた。 (ブランコ制作グループ)</p> </div> </div>
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <p>材料を分けてもらうことができたので、制作への意欲が高まり、見通しを持つことができた。</p> <p>実際に木を切る体験をしたことで、木を切ることの難しさが分かった。</p> <p>スプーンの作り方を教えてもらったことで、今まで何となく作っていたものに、変化が生まれ、スプーンらしくなってきた。</p> 2 先生方の感想、要望等 <p>自分たちの制作に使えるような木材を分けていただいたことで、子どもたちのやる気が一層高まったように感じた。また、実際に木を切らせていただいたり、建物の構造を見せていただいたりしたことで、これからの見通しを持てた様子だった。写真立てのグループは、山で使えるような木材を探し、スプーングループは、作り方を教えてもらえた。柳沢林業の方には親切に対応していただき、ありがたかった。</p>

<p>授 業 名</p>	<p>間伐の体験や馬搬の様子を見せてもらおう！</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立旭町小学校 5年1組</p>	<p>参加人数</p>	<p>33人</p>
<p>担当者</p>	<p>中山 豊</p>	<p>記入者</p>	<p>中山 豊</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和4年11月11日（金）</p>		
<p>講師名</p>	<p>柳沢林業</p>		
<p>実施概要</p>	<p>林業についての話 山での木の育て方、伐採の仕方のお話 伐採見学 馬搬の見学 間伐体験</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>森の様子を見ながら、どんな風に木が育つのか、どうやって木を残していくのか教えてもらった。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <p>アカシアの木の伐採の様子を見せていただいた。年輪を数えたり、切り口を見たりして、木の大きさを感じられた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <p>伐り倒した木を自分たちの力で引っ張ってみて、どのくらい重いのか体感した。その後、ヤマトが馬搬する様子を見せてもらい、馬の力強さを目の当たりにした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <p>間伐のお手伝いをさせていただき、森を整備することの大変さを体験したり、どの木を残して育てるか考えたりすることができた。</p> </div>		





授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>自分たちで間伐体験をして、木を切ることの大変さが分かった。どの木を残すとどの木が大きくなるのか考えながら切るのが大変だった。</p> <p>30人で引っ張ってやっと動かせる木をヤマトは普通に歩くように引っ張っていて、馬の力の強さに驚いた。</p> <p>今、残した木が何十年もして本当に必要な木になるのかは、切った人には分からない。イメージしたとおりに木が成長してくれるかも分からないので、林業の難しさが分かった。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>間伐の体験をさせてもらったり、林業についての話を聞かせてもらったりしたことで、林業に携わる人の苦労を少し感じられた様子だった。子どもたちの感想にも、そういったことが多く書いてあり、子どもたちの山を見る目が変わったように思う。チェーンソー製材で、丸太を切っていただいたことで、ベンチの材料が手に入り、ベンチづくりの見通しが持てた。1日ばかりでの活動だったが、柳沢林業の方には親切に説明していただき、今回も子どもたちの生き生きとした姿が多く見られた。</p>
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：27-5】

授 業 名	植林体験をしよう！		
学校名、学年、学級	松本市立旭町小学校 5年1組	参加人数	30人
担当者	中山 豊	記入者	中山 豊
実施日（期間）	令和5年1月20日（金）		
講師名	柳沢林業		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・里山を歩きながら、冬の木々や動物の様子を見る。 ・なぜ植樹をするのか、植樹の大切さのお話を聞く。 ・植樹の体験 ・小物づくりに必要な材料集め 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>冬の森は葉がないので、普段見ることのできない鳥の姿を見ることができた。</p> <p>落ち葉の下にも新芽が顔をのぞかせていて、春を感じる瞬間もあった。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center;">ヤマト牧場の斜面にコナラの木を植えた。斜面なので、穴を掘るのに苦戦し</p>		

	<p>たが、無事に、12本の苗木を植えることができた。誤伐しないように、苗木の前に竹を打ち込み、目印とした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>丸太を輪切りにし、植林をした班ごとに名前を書き、植林の記念とした。何年、何十年か後に、自分たちの植えたコナラがどの程度成長しているのか、見に来るのが楽しみになる活動を考えていただいた。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>冬の山は、秋や夏と様子ががらっと変わっていました。冬には冬にしか見られない景色があるんだなあと思いました。</p> <p>今日は、木を植えるお手伝いをしました。急な斜面に植えたので、かなり大変でした。柳沢林業の人たちは、大変な仕事をしているんだなあと思いました。</p> <p>今回は、植林の仕事をしました。今までは切ることばかりをしてきましたが、今回は、自分たちで木を植えました。十何年、二十何年先にどんな風に成長しているか楽しみです。それまで楽しみが増えました。</p> <p>今回の学習で2つのことを学びました。1つ目は、ぼくたちがキャンプなどで使っている薪はだいたい10年くらい経った木だということ。2つ目は、その木を植える作業はとても大変だということです。これからは、木を大切にしていきたいです。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>前回までの活動では、間伐などの伐る体験が多く、木の寿命をそこで終わらせていた。しかし、今回の活動では、自分たちが新しく気を植えたことで、これから育っていく木の楽しみを体験させていただいた。伐ることで整備することも大切だが、植樹をして、育てることも山を守っていくためには大切なことなので、今回も貴重な体験をさせていただいた。</p>

授 業 名	上高地探険 陸編		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校 1・2年	参加人数	13人
担当者	1年担任 佐藤真頼	記入者	2年担任 矢島久実子
実施日（期間）	令和4年7月13日（水）		
講師名	松本大学准教授 中澤朋代さん 山田勇さん 吉澤さん		
実施概要	学区である上高地のルールを学び、上高地の散策を行いながら、おもしろい生き物や自然とふれあう活動をした。		
実施状況 (授業風景)	 <p>目を閉じて、音を聴きながら散策</p>	 <p>これは、何の花？</p>	
	 <p>川の水、つめたい！</p>	 <p>森河童が居そうなところを探そう</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上高地には、「採らない」「与えない」「捨てない」「持ち込まない」「踏み込まない」などのルールがあることが分かった。 ・たくさんの種類の花や草、生き物などを写真に撮ったり、さわったりして、自分がおもしろい！と感じるものを見つけることができた。 ・自然を大事にしないといけないことが分かった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年のときに上高地の豊かな自然とふれあうことで、高学年になって地元の良さや自然のありがたさに気づくことができると思いました。 ・目を閉じて音を聴きながら散策する活動を通して、普段、私たちがいかに目で見えるものばかりを意識して生活しているかを実感することができ、貴重な上高地散策の時間を過ごすことができよかったです。 ・いろいろな植物や花、鳥、虫などに触れることで、子どもたちの自然に対する興味が深まっていることを感じられました。 ・講師の方には、低学年が興味を持つことができるような活動を考えていただき、ありがたかったです。2回目の上高地学習もとても楽しみです。 		


授 業 名	上高地源流見学		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年1組	参加人数	36人
担当者	上條 暁夫	記入者	上條 暁夫
実施日（期間）	令和4年9月9日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	<p>○身近な梓川の源流が上高地にあることを知る</p> <p>○同じ川でも流れの違いや色に違いがあることに気づき、川への愛情を深める</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>◎水殿ダム見学</p>  <p>水殿ダムの役割と自然界におけるダムについて、お話を聞いた。</p> <p>治水と利水の観点から、役割上ダムがあると便利ではあるが、自然にとってはどうか？水殿川の鮭は、水殿ダムを海と勘違いしている、という話を聞く。</p> <p>将来を担う子どもたちは、重大な問いをもらうことになった。</p> <p>「ダムは、必要だと思いますか？それとも、いらないと思いますか？」</p> <p>◎上高地の水に触れる</p>  <p>梓川はやや濁っていたものの、支流の川の美しさは格別。</p> <p>子どもたちからも感嘆の声が上がる。触ってごらんと言われ、大喜びで水に指を入れる。</p> <p>そして、その冷たさに驚く。我慢比べをする児童もいるなど、児童なりに楽しんでいた。</p> <p>また、支流の清水川でペットボトルに水を汲んだ。目の前で見える水の透明感、いつまでも冷たい水の感覚に感動する子どもたちだった。</p> <p>◎何も聞こえない川の始まり</p> <p>清水川を遡る。</p> <p>川の流れる音を聞きながら、しばらく歩いていく。</p> <p>しななく歩いた先、耳を澄ますと、川の流れる音がしなくなった。</p> <p>「ここが、川の始まり。湧き水が出ているところ」</p>  <p>と教えてもらう子どもたち。不思議で神秘的。子どもたちも、しばらく水の音が聞こえない森の音に聞き入っていた。</p> <p>◎これぞ、上高地</p> <p>一通りの見学の後、堤防で穂高連峰を望む。山々の細かい説明はなかったが、子どもたちは、景色の素晴らしさに感動していた。</p> 		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>◎水がとてもきれいで、びっくりしました。手でさわってみると、とてもつめたくて、びっくりしました。</p> <p>◎ダムが高くて、びっくりしたし、怖かったです。</p> <p>◎山がとてもきれいですごかったです。お母さんに話をしたら、とてもうらやましがっていました。</p> <p>◎みねちゃん（ガイドの方）の話がとてもおもしろかったです。また、ベんきょうにもなって、よかったです。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>◎上高地の自然に児童共々感動した。ただ、雄大な上高地の自然をじっくり味わうことができるのは、もう少し大人になってからかな、と思う。それでも、上高地の素晴らしさを体験でき、また、地元波田からすぐのところに、このような素晴らしい自然があることを誇りにしていけるといいなと思う。</p> <p>◎水殿ダムでの問いは、担任も答えを見い出せない。環境破壊と治水利水。環境保全と自然災害。明と暗が表裏一体となって、問題を難しくしている。特に水殿ダムは他の2つのダムと合わせて発電にも使われているので、悩ましい。担任は、上高地の自然を満喫することよりも、この問いの答えが見いだせないことの方が、心に残っている。さて、本当にどうするのがよりベターか。</p>
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：29-2】

授業名	上高地源流見学		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年2組	参加人数	35人
担当者	降旗 和葉	記入者	降旗 和葉
実施日（期間）	令和4年9月2日（金）		
講師名、実施概要	【番号：29-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>水殿ダムで、ダムの役割と仕組みを知り、自然に住む生物についても考えた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>波田の梓川と上高地の梓川を比べ、上高地の方が水がきれいだと知った。雨の後だったため、本来はもっときれいだと伺った。透明度と天気の関係につ学んだ。</p> </div> </div>		

		<p>実際に河原に行って、川にある石の違いについて気づいた。</p> <p>清水川の源流近くでペットボトルに水を汲み、冷たいことやとてもきれいなことに驚いていた。</p>
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・身近なところを流れている梓川をたどっていくと、上高地につながっていることを実感できていた。 ・川の様子を比べ、上流と下流の違いに気づくことができた。 ・上高地の川の美しさに驚き、川をきれいに保ちたいという思いをもっていた。 ・源流の水は、そのまま飲めるほどきれいなことや冷たいことに驚いていた。 2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> ・波田を流れる梓川を観察したときにも「きれい」という感想をもっていたが、比べてみると、上高地で見る梓川の美しさや色の違いに驚き、学ぶことができた。 ・実際に見るとたくさんの気づきや疑問が生まれていた。疑問については、その場で教えてもらうことができ、子どもたちのよい学びとなった。 ・天候等自然が相手なので心配もあったが、いつもガイドをしている方がいることで、確認しながら安心して子どもたちに指示を出すことができた。 	

環境教育支援事業実施報告書

【番号：29-3】

<p>授業名</p>	<p>上高地源流見学</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立波田小学校 3年3組</p>	<p>参加人数</p>	<p>35人</p>
<p>担当者</p>	<p>嶋田 美智子</p>	<p>記入者</p>	<p>嶋田 美智子</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和4年9月2日(金)</p>		
<p>講師名、実施概要</p>	<p>【番号：29-1】と同様</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>		<p>○ダムで説明を受ける。 昔の梓川は「暴れ川」と呼ばれていた。大雨でたくさんの人が亡くなってきた。今は、ダムで水がせき止められ大きな水害はなくなった。そして電気を発電している。ありがたいことだが、失ったものもある。例えば鮭が上がってこられなくなるなど・・・</p>	

		<p>○清水川の水をくむ。 水の温度や透明度を感じた。とても冷たく、透明であることに子どもたちは気づいた。 一人一人がペットボトルに水をくみお土産として家へ持ち帰った。</p> <p>○清水川のはじまりを探しに行く。 耳を澄まして川の流れる音がだんだんと小さくなってゆくことを体験した。音が聞こえなくなったところが水が湧き出ているところ。つまり、川のはじまりだということを知ってもらった。</p> <p>○梓川の河原 波田との違いを比べた。 流れのはやさ、川はば、石の大きさや形、水の色など また雄大な景色をみてこれからも自然を大切にしていこうという話を聞いた。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水は2つともきれいでした。上高地の水は、とても冷たかったです。上高地から見ると山がたくさん見えました。 ・初めての上高地でゆうめいなかっぱしを通ったし、上高地のいろいろなところに見学ができたし、ガイドさんたちが知らないことまで教えてくれました。 ・初めて上高地にみんなで行けてうれしかったです。水殿ダムに行って特別におどろいたことは、ダムがアーチになっていたところです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>バスの中で上高地に関するクイズや子どもたちの興味関心を引く講義をしていただいた。子どもたちは興味深く聞いたり、質問をしたりしていた。天気が心配される中だったが、見学ルートを上手く調整していただいたおかげで充実した上高地見学になった。自分自身も子どもたちと一緒に楽しく学習をすることができた。</p>	



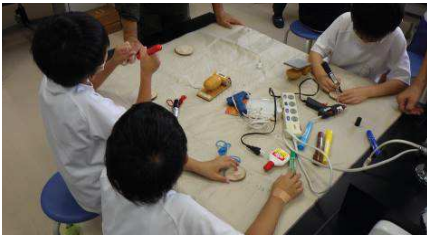

環境教育支援事業実施報告書

【番号：29-4】

<p>授業名</p>	<p>上高地源流見学</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立波田小学校 3年4組</p>	<p>参加人数</p>	<p>33人</p>
<p>担当者</p>	<p>小松 正</p>	<p>記入者</p>	<p>小松 正</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和4年9月9日(金)</p>		
<p>講師名、実施概要</p>	<p>【番号：29-1】と同様</p>		




<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○上高地の梓川に沿って歩く</p> 	<p>上高地の梓川を上流に向かって歩いた。川の水は透き通っていてきれい。場所によってはエメラルドグリーン色に見えて美しい。波田の梓川とは見え方が明らかに違う。この水が私たちの住んでいるところまで流れている。</p> <p>周りの景色もとても美しい。右手後方には焼岳がそびえ立っている。小雨の中でもその勇壮で迫力のある姿ははっきりと見ることができた。</p>
	<p>○清水川の始まりをたどる</p> 	<p>梓川に注いでいる支流の一つ、清水川の源流を訪ねて歩いた。水のきれいさは抜群。川底まではっきりと見ることができる。水草も美しい。だんだんと川の流れがゆっくりとなり、水量も随分減ってきた。すると、そのうち流れが全くなかったところまで来た。見た感じはただの森。しかし、この樹木や植物が生い茂っている下からは、水が染み出している。ここが清水川の始まり。そのことを知ると、何だかこの場所が神聖な場所に思えてくる。「こうやって川はできるんだ」と子どもたちも納得した様子だった。</p>
	<p>○清水川の水を汲む</p> 	<p>川の始まりを見てきた子どもたちは、清水川の水を持ち帰ろうと、水汲みタイム。持参した空のペットボトルをしっかりと持ち、水を汲み始めた。ペットボトルが流されてしまったらゴミとなり川を汚してしまうことになるからみんな必死。浅い川の流れから汲むのはなかなか難しそうだったが、子どもたちは貴重な物を手に入れ大変うれしそうだった。</p>
	<p>○河童橋近くの河原で遊ぶ</p> 	<p>ひととおりの活動を終えた子どもたちは、河童橋近くの河原に下りて遊んだ。水に手を入れてその冷たさや感触を楽しむ人。河原の石を積んだりきれいな石を探したりする人。思い思いに河原でのひとときを楽しんでいた。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上高地の景色がとてもきれいで心に残りました。上高地の梓川は波田の梓川よりも水が透き通っていてきれいでした。夏なのになんであんなに冷たいのかなと思いました。河原には海のようにさらさらな砂がありました。きれいな石をたくさん見つけました。上高地っていいところだなあと思いました。 	

	<p>ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 清水川の水はとても澄んでいてきれいでした。ペットボトルに汲んだ水を飲んでみたら、冷たくてとってもおいしかったです。清水川をずっとたどっていくと、いつの間にか川の流れがなくなっていました。ガイドの方が、この辺のがけや地面から水が湧き出ているんだよと教えてくれました。川はこうしてできるんだなと思いました。川の始まりを見ることができてうれしかったです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天候が心配されたが、予定どおりの見学ができて大変よかった。晴れた日の上高地の風景にはとても及ばない気象状況であったが、それでも子どもたちは上高地の自然の美しさ、壮大さを感じ取った様子で、何ものにも代えがたい貴重な体験ができたように思う。 ・ 清水川を上流に向かって歩き、流れがなくなるところまで辿ったことは、川の始まりを理解するには大変有用な活動であったように思う。時間に余裕があり、河童橋付近の梓川の河原で遊べたことは、波田の梓川との繋がりを意識できてとてもよかった。
--	---

授 業 名	マイペン立てを作ろう		
学校名、学年、学級	松本市立芝沢小学校 特別支援学級	参加人数	28人
担当者	中村 慶子	記入者	大王 博子
実施日（期間）	令和4年9月14日（水）		
講師名	寿さと山くらぶ		
実施概要	間伐材を使って、自分だけのオリジナルペン立てを制作した。 松ぼっくりや自然の材料や木の実や木片で作った小動物などから、自分の使いたい物を選んで配置を考え、ペン立てを制作した。		
実施状況 (授業風景)			
	最初に、木片を見せながら桜や松、クヌギなど学校にも生えている木の名前や年輪について、お話をさせていただきました。初めて聞く名前や木などに興味を持って聴いていました。		ペン立てに使う材料を選びました。土台の木材やペンを入れるパーツ、木の実や木片を使って作ったきのこ、うさぎ、ネズミなどいろいろな材料から好きなものを選びました。子どもたちは、本物そっくりな動物を見て「え～！これも木？」などと歓声を上げていました。
			
	まず土台の木材にやすりをかけ、滑らかにしました。その後、土台の上に選んだ材料をグルーガンでつけました。		自分だけのオリジナルなペン立ての完成です。松本市の「ふれあい教育展」にも出展し、他校の先生方にも好評でした。
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の材料を使った素敵なペン立てが完成し、子どもたちは満足そうにしていた。自分だけのオリジナルなペン立てができて嬉しそうにしていた。 ・用意していただいたたくさんの材料の中から、使いたいものを選んで作品のイメージを持ち、楽しみながら集中して制作することができた。 ・木片や実を使って、キノコやウサギなどのかわいい動物を材料として用意していただき、子どもたちはとても喜んでいました。 ・木片の名前や珍しい種類であることなどお話ししていただき、興味を持って聞いていた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生方が一人ひとりに声をかけ、励ましたり作品についてアドバイスをして頂いたりして丁寧に見ていただき、楽しく安全に制作できた。 ・自然の材料を子どもたちの制作に使用できるように用意していただきありがたかった。教材キットではなく本物の自然の材料を使用することで、自然を身近に感じ自然を大切に育てることに繋がると感じた。 		

授 業 名	「バームクーヘン」って木の年輪		
学校名、学年、学級	松本市立芝沢小学校 特別支援学級	参加人数	28人
担当者	中村 慶子	記入者	中村 慶子
実施日（期間）	令和4年12月7日（水）		
講師名	寿さと山くらぶ		
実施概要	<p>・木の年輪の話をお聞きした。</p> <p>・木に興味・関心を持ちながらバームクーヘンを作り、みんなで味わうことができた。</p>		
実施状況 (授業風景)			
	<p>児童を前に木の成長の様子やバームクーヘンが「木のケーキ」という意味で、木の年輪であることの説明を受けた。児童は、何年もかかって太くなる様子に驚いていた。</p>	<p>切り株の年齢を数えながら、何年もかかって木が生長する様子を理解する。天候によって、年輪の白い部分が太くなったり細くなったりし、その年の天気の変化がわかることを知った。</p>	
			
	<p>順序良く並んで、卵を割っている様子。「殻が入らないように」と声を掛けられながら、丁寧に割っていた。粉や砂糖も順番を守って入れることができた。</p>	<p>新型コロナ感染状況で一人一つずつ作るようになり、バームクーヘンの素をかけてもらい竹を回しながらじっくり、ゆっくり焼いていった。待つのが苦手な子供たちが時間をかけることに抵抗なく参加できた。</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の年輪がはっきり分かる木片を用意してもらったので、話の内容も良くわかり子供たちも熱心に聞くことができた。 ・実際に作業に入ると、卵割りや砂糖・小麦粉入れ、30回ずつかき混ぜるなど大人数でも順番を守って活動することが多く、支援学級の児童には大変意味のある自立活動となった。 ・子供たちも「こんな風のできるなんて知らなかった。」「すごく楽しかった。」と感動し「お母さんと一緒に食べる。」とお土産（バームクーヘン）を喜んで持ち帰った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>じっくり時間をかけて取り組む作業だったので、特別支援学級の子供たちにも大変価値のある体験だったという職員の感想が多かった。</p>		

授 業 名	梓川リバーアドベンチャー 「大河の一滴」 講演会		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 4 学年	参加人数	147人
担当者	野村 仁	記入者	野村 仁
実施日（期間）	令和4年7月19日（火）		
講師名	小峰 邦良 先生（合同会社リトルピークス）		
実施概要	<p>「大河の一滴」講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水がめぐっていること ・梓川の流れについて ・梓川の環境について（人工物やごみについて） ・リバーアドベンチャーエピソード1の注意点 		
実施状況 (授業風景)	 <p>普段私たちが使っている水が、自然の中で、循環していることを教えていただいた。また、使った水は自然の力できれいになっていることの説明もあった。</p> <p>梓川の流れについて、川の始まりやダムがあることなどを教えていただいた。</p> <p>梓川が65kmあることや奈川と合流して犀川なることを知った。</p> <p>川の中にある人工物が危険なことやゴミのポイ捨てがあって川の環境が汚れていることなどの環境問題についても教えていただいた。</p> <p>リバーアドベンチャーの注意点を教えていただいた。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く川遊びがしたくなった。 ・梓川のことが好きになった。 ・水が循環していたなんて初めて知って驚いた。 ・梓川は人がきれいにしていると思っていたけど、自然がきれいにしていると知ってとてもびっくりした。 ・ダムに名前があると知って驚いた。梓川には3つもあるなんて知らなかった。 ・もっともっと梓川のことを知りたいと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムのことや環境についてなど子どもたちが初めて触れる話題が多くあり、今度の活動に意欲をもてた子がいた。 ・社会科で水について学習をしている中で、子どもたちにとって身近な梓川を題材に話していただけたことで、子どもたちが水に対する理解を深めることができた。 ・川にゴミが増えているという話から、子どもたちが環境とゴミの関係にも興味をもてた姿が多くあった。 		

授 業 名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 4年1組	参加人数	34人
担当者	野村 仁	記入者	野村 仁
実施日（期間）	令和4年9月6日（火）		
講師名	小峰 邦良 先生（合同会社リトルピークス） 他4名		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梓川の概略の説明 ・ 川の渡り方の講習 ・ 水生生物の観察、採集 		
実施状況 (授業風景)	<p>○梓川の概略の説明</p>  <p>梓川の流れる方向の確認、右岸と左岸の使い分け、河川に据えられた波緩衝材の役割など、川遊びをする上での留意点を話していただいた。</p> <p>○川の渡り方の講習</p>  <p>川に飛び込み、対岸まで泳いで渡った。プールとは違い、足もつかず底まで見通せない川を泳いで渡る経験ができた。また、浮かんで流れる体験も行った。川の複雑な流れに身を任せる心地よさを味わうことができた。</p> <p>○水生生物の観察、採集</p>  <p>実際に水生生物の採集をし、生き物の名前を教えていただいた。梓川でとれる生き物の種類が多いことに驚きながら、楽しんで生き物の採集をした。目の前の魚をすくいとったり、岩の下から出る水生昆虫をとらえたりする楽しさを味わうことができた。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この上なく楽しそうだった。 ・ 始めは不安そうな表情だったが、水に入れば一人として嫌がる児童はいなかった。 ・ 「梓川は近くの川なのに水遊びをしたのは初めてで、またお父さんと来たい。」 ・ 「梓川のことを知れたし、もっと好きになった。」 		

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が喜ぶ姿から、学校を出て体験することの素晴らしさを実感した。 ・安全ではあるけれど少し危険な感じが、子ども達を夢中にさせるのだと思い、指導員さんたちに感謝している。
--	--

環境教育支援事業実施報告書


【番号：33-2】

授業名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 4年2組	参加人数	30人
担当者	町田 都	記入者	町田 都
実施日(期間)	令和4年9月6日(火)		
講師名、実施概要	【番号：33-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>○梓川の概略の説明</p> <p>梓川の流れる方向の確認、右岸と左岸の使い分け、河川に据えられた波緩衝材の役割など、川遊びをする上での留意点を話していただいた。</p>  <p>○川の渡り方の講習</p> <p>川に飛び込み、対岸まで泳いで渡った。プールとは違い、足もつかず底まで見通せない川を泳いで渡る経験ができた。また、浮かんで流れる体験も行った。川の複雑な流れに身を任せる心地よさを味わうことができた。</p>  <p>○水生生物の観察、採集</p> <p>実際に水生生物の採集をし、生き物の名前を教えていただいた。梓川でとれる生き物の種類が多いことに驚きながら、楽しんで生き物の採集をした。目の前の魚をすくいとったり、岩の下から出る水生昆虫をとらえたりする楽しさを味わうことができた。</p> 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は足もつかず、怖いと感じていたようでしたが、網をもって生き物探 		

	<p>しをしていくと、どんどん自分から浮いたり深いところへ探検したりしていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川は怖いと思っていたけど、とても楽しかったという感想がとても多かったです。 ・カジカなどがとれたことで、生き物への興味を深めていました。 ・速い流れに足を取られそうになりながらも、一生懸命に歩いて渡り切った子ども達は、とても満足そうな顔をしていました。 ・怖がっていた児童に寄り添って支えていただいたり、浅い所を歩かせてもらったりして安心して体験できた児童がいました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段見慣れている川でも、実際に入ってみると流れは速く、冷たかったので、安全に体験させていただいたことに感謝です。 ・網を一人一人持たせていただいたことで生き物を取ろうという意欲があり、積極的に川に入っていたので、良かったと感じました。 ・実は、担当が一番怖いと感じていたかもしれません。でも、子ども達の逞しさを改めて見せていただきました。安全なコースを設定していただいたおかげで、安全に体験できました。ありがとうございました。川と関わることで川や身近な環境を大切にできるという話に共感しました。
--	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：33-3】


授 業 名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 4年3組	参加人数	36人
担当者	中山 真樹	記入者	中山 真樹
実施日（期間）	令和4年9月6日（火）		
講師名、実施概要	【番号：33-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>○梓川の概略の説明</p>  <p>梓川の流れる方向の確認、右岸と左岸の使い分け、河川に据えられた波緩衝材の役割など、川遊びをする上での留意点を話していただいた。</p> <p>○川の渡り方の講習</p>  <p>川に飛び込み、対岸まで泳いで渡った。プールとは違い、足もつかず底まで見通せない川を泳いで渡る経験ができた。また、浮かんで流れる体験も行った。川の複雑な流れに身を任せる心地よさを味わうことができた。</p> <p>○水生生物の観察、採集</p> <p>実際に水生生物の採集をし、生き物の名前を教えていただいた。梓川でとれる生き物の種類が多いことに驚きな</p>		




	がら、魚をすくいとったり、水生昆虫をとらえたりする楽しさを味わうことができた。
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段はなかなかできない体験ということもあり、前日から子どもたちはとても楽しみにしているようでした。当日は、どの子どもも生き生きとした表情で活動に参加することができていました。学校で活動の振り返りをする時、多くの子どもが「川の楽しさ、怖さを感じる事ができた」と書いていました。体全体を使い、梓川のことがより身近に感じる事ができたとともに、大自然への畏怖も感じる事ができた貴重な機会となったようでした。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の中に飛び込んだり、流れに身を任せたり、ダイナミックな活動であったにもかかわらず、「安全第一」に考えて子どもたちに指導してくれたり、職員の方が危険な場所に立ってくださったおかげで、普段なかなかできない体験であっても、安心して参加することができました。

環境教育支援事業実施報告書

【番号：33-4】

授業名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 4年4組	参加人数	34人
担当者	小原 妙子	記入者	小原 妙子
実施日(期間)	令和4年9月6日(火)		
講師名	小峰 邦良 先生(合同会社リトルピークス) 他4名		
実施概要	【番号：33-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>○梓川の概略の説明</p> <p>梓川の流れる方向の確認、右岸と左岸の使い分け、河川に据えられた波緩衝材の役割など、川遊びをする上での留意点を話していただいた。</p> <p>○川の渡り方の講習</p> <p>川に飛び込み、対岸まで泳いで渡った。プールとは違い、足もつかず底まで見通せない川を泳いで渡る経験ができた。また、浮かんで流れる体験も行った。川の複雑な流れに身を任せる心地よさを味わうことができた。</p>	  	

	<p>○水生生物の観察、採集</p> <p>実際に水生生物の採集をし、生き物の名前を教えていただいた。梓川でとれる生き物の種類が多いことに驚きながら、楽しんで生き物の採集をした。目の前の魚をすくいとったり、岩の下から出る水生昆虫をとらえたりする楽しさを味わうことができた。</p> 
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の流れが気持ちよかった。 ・水の中が見えなくて、足もつかなくて怖かったけど、浮くことができてよかった。 ・思ったよりもたくさん魚を見ることができた。小さな魚をすくうことができて、うれしかった。 ・足を上げたら思ったよりも長く流れることができて気持ち良かった。家族で川遊びができるといいと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが伸び伸びと活動することができて、ご指導ありがとうございました。 ・学校職員では指導が難しい部分を企画していただいて、児童の体験が豊かになったと思います。

授 業 名	川であそぼう			
学校名、学年、学級	松本市立筑摩小学校 2年1組	参加人数	30人	
担当者	竹村 和哉	記入者	竹村 和哉	
実施日（期間）	令和4年8月24日（水）			
講師名	リトルピークス			
実施概要	<p>薄川へ行き、水辺の安全講習及び川遊び・川の生き物探し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある川と関わることで、今まで気づかなかった自然の様子や植物や生き物を自分の目で見たり発見したりする。 ・川との安全なかかわり方について知る。 			
実施状況 (授業風景)	  	<p><安全講習> ヘルメットとライフジャケットを着用し、自然の川と比べて人間が手を入れた川の方が危険であることをペットボトルを使った実験で教えていただきました。</p> <p><川の生き物とり> 子どもたち1人1人が網をもって生き物を捕ったり、観察したりしました。捕った生き物の中から、カジカとカゲロウを持って帰らせてもらいました。</p> <p><ライフジャケットを着て流れてみる> ライフジャケットを着た状態で川の流れに身を任せて流れてみました。実際川に流されてしまったときは泳ごうとはせずに流されることが命を守る最善の方法だと教えていただきました。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石をどかすと生き物が捕れることが分かった。 ・水は気持ちよかったけど気をつけて遊びたい。 ・おぼれそうになったときは立とうとするのではなく、ラッコのように浮かぶようにしたい。 ・いろんな虫や魚が薄川にはいることが分かってよかった。 ・深いところは流れが速かったけど楽しく浮かぶことができた。 			




	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>人間が川を良くしようとして手を入れたことによって危険な場所になってしまっているということを教えていただき、子どもたちと一緒に貴重な学習をすることができました。筑摩小学校の近くにこんなに楽しくて勉強になる環境があることを学び、子どもたちもより地元が好きになったのではないかと感じました。普段の授業では教えることのできないことを体験を交えながら学習できたのは良かったです。ありがとうございました。</p>
--	---

環境教育支援事業実施報告書




【番号：34-2】

授業名	川であそぼう		
学校名、学年、学級	松本市立筑摩小学校 2年2組	参加人数	28人
担当者	横内 明美	記入者	横内 明美
実施日(期間)	令和4年8月24日(水)		

講師名、実施概要 【番号：34-1】と同様



<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p><水辺の安全講習> 川でおぼれないために大切なことを教えてもらいました。</p>  <p>ラッコのように浮きました。 一人3回ずつ体験しました。 慣れて楽しそうです。もっとやりたいと終わるのが残念そうでした。</p>  <p><生き物さがし> 一人一人網を持ち、石をひっくり返したり草むらをガサガサ動かして出てきた虫を捕まえました。たくさん種類の虫を捕まえることができました。</p>  <p>捕まえた生き物の名前や特徴を教えてください、クラスで飼えそうな生き物だけ、持ち帰ってきました。</p>
------------------------	---

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の危険や深さのことが分かった。どうやったら命は守れるかや泡に行っ てはいけないという大切なことを教わってよかった。 ・ラッコのように浮くのが、1回目は怖かったけど、2回目は楽しかった。 ・生き物探しで、かじか・カゲロウ・ヘビトンボ・ヤゴ・トビケラを捕まえ られてうれしかった。教室で、飼うのが楽しみ。 ・とても楽しかった。もう一回やりたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>最初は怖がっていた子どもたちも楽しさを実感して「もっとやりたい。」 「もう一回！」と、大喜びでした。「川の生き物さがし」では、短い時間 に、何種類もの生き物を見つけることができ、こちらも大喜びの子どもたち でした。はじけるような子どもたちの笑顔は、やはり自然の中が一番という ことを教えてくれます。</p> <p>今回のような体験は、学校職員だけではとても経験させてあげられません でした。川のことをよく知って、前日から天気と川の様子を見て、場所を整 え、ライフジャケットやヘルメットなど安全に気を配って準備をしてくださ ったリトルピークスの方々のおかげです。感謝したいです。</p>
---------------	--

<p>授 業 名</p>	<p>上高地探険 川編</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立安曇小学校 1・2年</p>	<p>参加人数</p>	<p>13人</p>
<p>担当者</p>	<p>1年担任 佐藤真頼</p>	<p>記入者</p>	<p>1年担任 佐藤真頼</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和4年8月25日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>川の自然と文化研究所 山本雅道先生・美馬純一先生</p>		
<p>実施概要</p>	<p>転入生も多く、上高地が初めての子が多かったので、コミュニケーションをとりながら川に親しむ。面白いもの、好きなものを探しながら楽しく自然を学び、高学年の学習につなげる。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>最初に上高地の川のルールのお話を聞きます</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「足が冷たい…」 「足がかき氷になる…」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「ねえねえ。これ見てみ！」 「なにそれー？」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>どんな虫がいるか、みんなで見てみようか。</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> 陸編の学習の際にも学習した上高地のルールについてお話してもらったことと併せて、川編でも上高地の川には「入ってはいけない。」「魚も採ってはいけない。」というルールを最初にお話してもらった。繰り返し学習していることで上高地のルールを身につけることができている。 石をひっくり返して見つけた虫を見て「あ、これカワゲラだね。去年の川でもみつけたよ。」と話す2年生の様子が見られた。学習を継続していくことの大切さがわかった。 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> 川に入るといった経験をさせていただいたことで、川の水の冷たさを実感し、生息している虫を自分達で探したことで「川を楽しむ、ことができた。 周辺の川の様子も散策してブラウントラウトなどの魚の名前を覚えた。養殖の話とも関わってくる魚のことなので、ここでの経験が高学年での学習に活かせることを期待したい。 		

授 業 名	鎌田お宝探検 ～川の生き物編～		
学校名、学年、学級	松本市立鎌田小学校 3年1組	参加人数	31人
担当者	竹下 啓介	記入者	竹下 啓介
実施日（期間）	令和4年9月13日（火）		
講師名	川の自然と文化研究所 山本先生 美馬さん 松本ほたる学会 横山さん 藤山先生 小山さん ee ネット 中林さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・田川と薄川の合流地点での生き物採集 ・学校で、採集した生き物の観察 		

実施状況 (授業風景)	 <p>↑始めに講師の方から道具の使い方と生き物を捕まえるコツを教えてくださいました。</p>	 <p>↑説明が終わると、子ども達は早速生き物を探し始めました。</p>
	 <p>↑講師の方から、生き物がたくさん見つかるという草むらを中心に探しています。</p>	 <p>↑生き物を捕まえた子はどの子も嬉しそうにしていました。 ↑講師の方は子ども達の活動の様子を</p>
	 <p>↑捕まえた生き物が何という名前なのか講師の方が教えてくださいました。</p>	 <p>気にかけてくださいました。</p>

	 <p>↑学校に帰った後、捕まえた生き物を観察しました。</p>	 <p>↑この日はカニやエビ、ドジョウなどの生き物が捕れました。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>クラスの中には川に入った経験がほとんどない子がいましたが、実際に川に入ってみると、川の冷たさや流れの速さ、どこにどんな生き物がいるのかを初めて知って嬉しそうにしていました。講師の方が大変優しく、どの子どもも進んで講師の方の所へ行き、道具の使い方を教えていただいたり、生き物の名前を聞いたりしていました。自分たちの住む地区に流れている川の素晴らしさに触れ、川の生き物に関心を深めていました。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>子ども達は今年度の総合的な学習の時間で、鎌田地区にどんな宝があるのかを実際に訪れて、体験的に学びを深めています。これまで川の生き物のことをあまり知らなかった子や、生き物を苦手に行っている子が今回の学習を通して生き物に関心を持ったり、手づかみしたりする姿が見られました。鎌田地区に流れる川に対する知識を深めるだけでなく、身近な環境を大切にしていきたいという意識が芽生えたように感じ、今まで以上に「ふるさと鎌田」を愛する貴重な学習になりました。</p>	

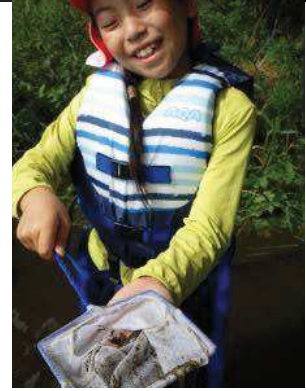
環境教育支援事業実施報告書

【番号：36-2】

<p>授業名</p>	<p>鎌田お宝探検 ～川の生き物編～</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立鎌田小学校 3年2組</p>	<p>参加人数</p>	<p>31人</p>
<p>担当者</p>	<p>平林 真実</p>	<p>記入者</p>	<p>平林 真実</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和4年9月13日(火)</p>		
<p>講師名、実施概要</p>	<p>【番号：36-1】と同様</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>講師の方から、安全な川の遊び方の説明を受けてから、道具の使い方や生き物の捕まえ方のコツを教えてもらいました。</p>	 <p>活動を始めると、早速、石の下や草むらの中をガサガサするというコツを実践していました。</p>	



講師の方も捕まえた生き物を子どもたちに見せてくださいました。少し深いところでは、子どもたちの代わりに探索してくださいました。



生き物を捕まえると、近くの友達や講師の方に、「こんな生き物捕まえたよ」と嬉しそうに教えていました。



学校に戻ってから、班ごとに捕まえた生き物の観察を行いました。観察しやすいよう、シャーレや白いトレイに移して観察をしました。



生き物の名前をカードで調べたり、分からない生き物については、講師の先生にすぐに聞いて知ることができました。



虫眼鏡を使って、細かいところまで観察をしていました。



生き物について、気付いたことを学習カードにまとめました。この日は、ヌマエビ、カワヨシノボリ、ミズスマシなどを見つけられました。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

授業の前に子どもたちに聞いてみたところ、半分の子供たちは川遊びをしたことがないと言っていました。今回の授業で川遊びの楽しさや川の生き物について知ることができ、とても良い経験となりました。事前学習として近くの用水路にも行ったのですが、大きい川の流れの速さや冷たさ、生き物の種類の多さを学ぶことができましたと思います。自分たちの住んでいる鎌田には、すてきな川が流れていることを実感することができた時間となりました。

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>本学級では、鎌田地区すてきなところを見つけて伝えたいという思いをもとに、実際に鎌田地区内を探検しながら活動をしてきました。その中で、鎌田の地区内には田川や薄川、奈良井川や両島川などの多くの川があることに気づき、そこにはどんな生きものが住んでいるのか調べたいと願いを抱いていました。今回、「鎌田お宝探検～川の生き物編～」では、生き物の種類の豊富さ、川のきれいさ等を学ぶことができ、より鎌田を大切にしたいという思いを持つことができた、貴重な学習をさせていただきました。</p>
--	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：36-3】

授業名	鎌田お宝探検 ～川の生き物編～		
学校名、学年、学級	松本市立鎌田小学校 3年3組	参加人数	30人(欠席1人)
担当者	高田 美和	記入者	高田 美和
実施日(期間)	令和4年9月16日(金)		
講師名、実施概要	【番号：36-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>学校近くの川で生き物をつかまえた経験から、「田川にいる生き物をつかまえた。」「どんな生き物がいるか知りたい。」という願いをもち「鎌田お宝探検～川の生き物編～」に参加した子どもたち。潜ってみたいという児童は、ゴーグルをつけて川に向かっていった。</p>  <p>川の水量がやや多かったので、対岸までの渡り方を教えていただき、班のみんなで協力して対岸まで安全にわたることができた。川に足を入れると、思ったよりも水が冷たくて「冷たい」という声も上がったが、すぐに慣れて落ち着いて歩くことができた。</p>  <p>対岸で、網を受け取ると、すぐに草と水の境目に網を差し入れてすくってみる児童が多く、すぐに「何かいた」という歓声が上がった。生き物をつかまえた友だちの周りに集まり、みんなで見たり、採り方を教え合う姿も見られた。</p> <p>自分で捕まえることができない児童は、講師の先生方に「つかまえ方を教えてください」と声をかけてコツを教えてください、「先生に言われた通りやったら、本当に採れたよ」ととても嬉しそうだった。</p> <p>全員が、自分で生き物をとることができ、満足そうだった。</p> 		

	   <p>学校は、班ごとにつかまえた生き物をトレーに入れてもらい、そこから、ピンセットや手でそっとつまんでシャーレに移して観察した。子どもたちは気になったことをどんどん質問しながら、カードにまとめていた。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田川には、色んな生き物があることがわかった。 ・めずらしい生き物を採ることができて嬉しかった。 ・川の生き物は、石の下に隠れているということがわかった。 ・エビがすごくたくさんいて驚いた。 ・先生にすぐに名前を教えてもらえて、特徴も分かった。 ・もっといろいろな川で生き物をつかまえて、違いを比べてみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>鎌田お宝探検を通して、鎌田には川がたくさんあることに気づいており、近くの小さい川にもエビやカニなどがいることがわかっていましたが、昨年度高学年が田川で大きなナマズをつかまえてきていたので、自分たちも田川に行きたいと、今回の学習をととても楽しみにしていました。講師の先生方のおかげで魚やエビ以外の今まであまり興味をもっていなかった、幼虫などにも目を向け、色々な生き物が川にいることを知ることができました。ありがとうございました。</p>

環境教育支援事業実施報告書

【番号：36-4】

<p>授業名</p>	<p>鎌田お宝探検 ～川の生き物編～</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立鎌田小学校 3年4組</p>	<p>参加人数</p>	<p>31人</p>
<p>担当者</p>	<p>勝野 礼子</p>	<p>記入者</p>	<p>勝野 礼子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和4年9月16日（金）</p>		
<p>講師名、実施概要</p>	<p>【番号：36-1】と同様</p>		

実施状況
(授業風景)



↑ライフジャケットを着用して活動に臨みました。



↑子ども達同士つかまりながら川を渡りました。



↑網の使い方を教わった子ども達が早速生き物探しを始めました。



↑すくった泥の中に何があるのかドキドキしながら網の中を覗いています。



↑講師の方から生き物の名前を聞いています。



↑様々な種類の生き物が捕れました。



↑捕まえた生き物はピンセットを使って種類ごとに分けました。



↑この後、学習カードに生き物のスケッチと気づいたことを記入しました。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

子ども達は、普段よく目に見える川の中に様々な種類の生き物がたくさんいることにとても驚いていました。実際に川の生き物を見つけて捕まえることができたことが嬉しかったようです。また講師の方から生き物の特徴を詳しく教えていただき、今まで川の生き物をよく知らなかった子も興味を持っているようでした。さらに、生き物が育つ環境にも目を向けゴミを捨てたり、川を汚したりしないように生活していきたいと感想を述べていました。

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>実際に川に入る経験がなかった子がいましたが、今回の学習を通して川のことを知る大変貴重な学びとなりました。講師の方から生き物に関するご指導だけでなく、安全面への配慮もいただきありがたかったです。生き物の特徴に関しては、我々教職員もあまり知識がなかったので、多くの事を学ばせていただきました。身近な自然に目を向ける学びとなりました。今後もこのような機会があれば大変ありがたく感じます。</p>
--	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：36-5】

授業名	鎌田お宝探検 ～川の生き物編～		
学校名、学年、学級	松本市立鎌田小学校 3年5組	参加人数	30人
担当者	小原 睦美	記入者	小原 睦美
実施日(期間)	令和4年9月16日(金)		
講師名、実施概要	【番号：36-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;">  <p>友だちとさっそく生き物を探し始めました。でも、なかなか思うように捕えることができないようでした。</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>大きな川に入るのは初めてのこと。友だちと一緒に一歩ずつ水に入りました。自然の流れを体で感じているようでした。</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p>川岸や草の下に生き物が隠れていることに気づいた子どもたち。何回も網ですくっています。生き物がいそうな所に見当をつけて、どんどん川の中に入って行きます。友だちにも、「ここら辺にたくさんいるよ。」と伝えていました。</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>石の下もよく見ると幼虫が見つかることを教えてもらっています。初めて知ることばかりでした。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"></div> </div> </div>		



学校に帰ってから、どんな種類がとれたのか観察しました。自分で調べたり、分からない名前を教えてもらったりして、気づいたことを観察カードにメモしました。



授業について


・大きな川に入ることが初めての子どもたちでしたが、歩き方に慣れてくると、夢中になって生き物を探し始めていました。生き物がいそうなところがわかってくると、積極的にどんどん探し始めました。友だちとも情報交換をしながら、楽しそうに生き生きと活動する子どもたちの姿が見られました。採れた時は、本当にうれしそうでした。また、その場で講師の先生方に名前を教えてもらえたこともうれしかったようです。学校の近くの川がこんなに生き物が住んでいる美しく豊かな川であることを初めての認識したようです。

・観察会では、教えていただいたり自分で調べたり、発見がたくさんあり、記録カードに熱心に書き留める姿が見られました。

・普段の生活の中ではなかなか体験できないことを体験することができた貴重な機会でした。自然に親しみふるさとの生き物を含めた自然を大切にしていこうとする気持ちの育つきっかけとなると期待します。


・川での安全や学校へ帰ってからの観察会の準備を整え、スムーズに授業を進めるにあたって惜しみない協力をしてくださった講師の皆さんに感謝申し上げます。

授 業 名	秘密基地をつくろう① 骨組みづくり		
学校名、学年、学級	松本市立明善小学校 特別支援学級	参加人数	3人
担当者	小口 裕康	記入者	小口 裕康
実施日（期間）	令和4年9月29日（木）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎さん 佐々木さん		
実施概要	学校の中庭に立っている樹木も利用しながら、木材と竹材を組み合わせてロープで縛り、秘密基地の骨組みをつくる。		
実施状況 (授業風景)	<p>最初に講師の鈴木さんから、角材と竹を使って秘密基地の骨組みをつくること、骨組みにビニールシートをかぶせ、その上をネズコの枝で覆って屋根と壁にすること、中に置くベンチなどを作ることなど、秘密基地づくりの全工程と、本日は骨組みを組み立てる予定であることをお話しいただいた。</p>  <p>骨組みづくりに入り、まず入口をどの方向に設けるかを決めていった。鈴木さんが角材を三角に組み合わせて仮の入り口を作ってくださった。鈴木さんから、「入り口をどの向きにしようか？」と聞かれたが、子どもたちはイメージできないでいた。「日当たりがよく、雨や雪が降っても乾きやすいから入り口は南向きがいいよ」と教えていただき、微調整しながら入り口の向きを決めた。</p> <p>次に、屋根の棟になる角材を支える木に手を添えながら「秘密基地に使わせていただきます」と、木にお願いの挨拶をした。そして木が傷つかないように木の俣と棟木の間には手袋を挟み込んでから棟木を木に縛り付けた。</p>  <p>鈴木さんから「両腕を左右横いっぱいにはげた長さのことを『尋』というんだよ。」と教わった子どもたちは、2尋の長さのロープ6本、3尋の長さのロープを4本など、縛り付けるのに必要な長さのロープを協力しながら切って用意した。</p> <p>棟木を縛り付けたあと、入り口になる角材を固定するための竹杭を縛り付けた。そして角材と竹杭を固定する穴を掘った。この作業は、地面が固く草が生えていて掘りにくかったこともあり、鈴木さんと佐々木さんが主にやってくださった。</p>  <p>入り口を固定して、仮に縛ってあった角材と竹杭を改めてガッチリと縛り上げた。鈴木さんから、「普通に縛ったのでは緩みが出てくるから、『二回結び』という縛り方で縛るんだよ」という縛り方を教えていただいた。子どもたちは、鈴木さんと佐々木さんに手伝っていただきながら縛ることができた。</p>		

		<p>続いて竹の梁をわたし、ロープで縛りあげていった。梁の引っ張った部分は、鋸で切り落とした。初めて鋸を使う子どももいたが、上手に切ることができた。</p> <p>最後に棟木と梁に垂木を立てかけて、二回結びでしっかりと縛っていった。子どもたちはこの頃にはすっかり手慣れた様子で作業を進めていった。基地の骨格が出来上がり、完成するのが楽しみな様子だった。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の腕を横に広げて長さを測る「尋」という測り方を教えてもらってよかった。 ・きつく縛る「二回結び」という縛り方を教えてもらってよかった。 ・初めて鋸で切ったけど、うまく切れてよかった。 ・基地の骨組みができあがってよかった。次の基地づくりが楽しみ。完成させたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「尋」や「二回結び」など、普段教室では学べないことを教えていただいた。その学びを、その場ですぐに活用して基地づくりを進められたことが、貴重な体験になっていたと思います。 ・棟木を渡す際、利用する立木を傷めないよう手袋を挟み込んで縛り上げた。子どもたちは、普段何気なく接したり、使ったりしている木を大切にすることを教えていただいたように思います。 ・角材や竹、ネズコの枝を材として、どのように基地を組み立てていくのか、始めは子どもたちも自分もイメージができていませんでした。自分の反省として、事前の打ち合わせを詳細に行って、完成形のイメージを子どもたちに伝えておけばよかったと思います。 	

環境教育支援事業実施報告書

【番号：37-2】

<p>授業名</p>	<p>秘密基地をつくろう② 完成まで</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立明善小学校 特別支援学級</p>	<p>参加人数</p>	<p>3人</p>
<p>担当者</p>	<p>小口 裕康</p>	<p>記入者</p>	<p>小口 裕康</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和4年10月4日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎さん 佐々木さん</p>		
<p>実施概要</p>	<p>秘密基地の骨組みに、ビニールシートを張ってネズコの枝で覆い、屋根と壁をつける。中に置くベンチを作る。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>		<p>始めに鈴木さんから前回組み立てた棟木と地面近くの梁の間に、もう一組梁を渡し、その上からビニールシートをかぶせてネズコの枝で覆って、屋根兼壁とすること、最後に中に置くベンチを作ること、という作業手順を説明していただいた。子どもたちは鈴木さんが作ってきてくださったテーブルに触ってみたり座ってみたりして、興味津々の様子だった。</p>	



作業を開始し、まず梁をもう一組渡した。前回やっていたので、子どもたちは梁を垂木にスムーズに縛りつけていくことができた。次に棟木から両側にビニールシートを垂らし、一番下の梁に縛り付けた。続いてその上にネズコの枝を立てかけてビニールシートを覆っていった。ネズコの枝は、長さがまちまちなので、鋸で切りそろえてから

葉が茂っている方を上にして立てかけた。その理由について、鈴木さんから、「こうすることで雨が降っても雨が枝を伝って外に流れていくので雨漏りが防げる」と教えていただいた。

立てかけたネズコは、その上から梁を渡し、外側の梁と内側の梁にロープを巻き付けながら結んで固定していった。竹串にロープを通し、針で糸を通す要



領で外から中に向けて竹串を刺し、内側の梁にロープを巻いてから外側に竹串を刺し戻して結ぶことを繰り返した。外からも中からも双方の様子が分からないので、子どもたちは「(竹串を刺すのは)この辺だよ」「ここ、ここ！」などと互いに声をかけたり、指す場所をトントンと叩いて教えたりしながら、協力して作業を

進められた。



屋根・壁づくりの後、中に置くベンチを作った。子どもたちは、差し金の使い方を教えていただき、長さを測って垂直に線を引いて鋸で杉板を切り、ヤスリをかけて釘を打ったり電動ドリルでネジを留めたりして作り上げた。秘密基地が完成し、ベンチも据え付けることができ、子どもたちは皆満足感を味わうことができたようだった。


授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・秘密基地が完成してよかった。ここで給食を食べたい。昼寝もしたい。他に遊んだり、何をしたりするかは、また考える。
- ・ベンチ作りで、釘打ちやヤスリがけが楽しかった。うまくできてよかった。
- ・基地の屋根と地面との間に隙間があるので、隙間も壁で塞いで風が入ってこないようにしたい。入り口も雨や風が入らないようにドアとか付けられたらいいな。

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none">・前回と今回を通して、きつく縛り上げるロープワークや差し金の使い方を教えていただいたこと、鋸で竹や杉板を切ること、釘打ちをしたり電動ドリルでネジを留めたりすることが、子どもたちにとって貴重な体験になりました。・道具の使い方や作業手順の基本を丁寧に教えていただき、子どもたちが覚えたら安全に作業できるように支援してくださってありがたかったです。子どもたちは、自分たちで作る楽しさや作り上げた喜びを味わえたと思います。・地域の方に教えていただきながら活動を展開するよさを改めて感じました。地域の方とコミュニケーションを深めるという点でも意義のある活動になりました。
--	--

授 業 名	自然素材で簡単工作		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校 特別支援学級4学級	参加人数	23人
担当者	担任：百瀬 清美、飛田 榮子、 波多腰 智恵、中原 留美	記入者	飛田 榮子
実施日（期間）	令和4年11月30日（木）		
講師名	NPO 法人わおん 代表 山田 勇さん		
実施概要	・木の輪切りや木の実を材料にして、ノコギリや小刀などの道具を使って簡単な木工工作を行った。		
実施状況 (授業風景)	 <p>ホットボンドで付けよう。</p>  <p>木の輪切りに挑戦！</p>  <p>いろいろな道具を使って。</p>  <p>1年生は、先生と一緒に！</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木をノコギリで切ることは大変だったけど、最後まで切ることができてうれしかった。 ・友達に手伝ってもらって、大きな木を切ることができてうれしかった。 ・木の枝や木の実をホットボンドで付けて、イメージに合った作品ができてよかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年も同じような経験があったせいか、児童一人一人が自分のイメージを持ってどんどん作業を進めていた。 ・普段の生活では、なかなか集中できない特性を持っている児童達ではあるが、学習中途切れることなく集中して取り組めたことが素晴らしい。 ・自然の素材を使って、自然に親しむ経験を積むことができてよかった。 		


授 業 名	自然の中で遊んで学ぼう		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 つつじ2組	参加人数	6人
担当者	福与 泰安 遠藤 優子	記入者	遠藤 優子
実施日（期間）	令和4年10月12日（水）		
講師名	体験創庫かけはし 藤村哲さん		
実施概要	・自然のものビンゴ・やぎ、チャボとのふれあい・ツリーハウス体験・栗拾い・森の中で自然を感じる・水生昆虫を探す		
実施状況 (授業風景)	 <p>自然を体験し、動物達とふれあい、昆虫探しをしました。</p>		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・森の中はきもちがいい。 ・沢蟹がいなくて残念だった ・栗がたくさんとれてうれしかった。 ・きのこもたくさんはえていた。 ・うさぎがかわいかった。 ・またすぐに行きたい 2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> ・学校では体験できない栗拾い、餌やり、水生昆虫探しなど活動をたくさんさせてもらい、子ども達が生き生きしていた。来年度もぜひ参加したい。 		

授 業 名	「水の源をさがす」		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校 5年	参加人数	3人
担当者	矢崎 薫子	記入者	矢崎 薫子
実施日（期間）	令和4年7月21日（木）		
講師名	柳沢林業 齋藤さん 大瀧さん 他3名		
実施概要	<p>(1) 柳沢林業の仕事内容、現場見学時の安全についての講義 (2) 学校近くの伐採現場の見学、説明</p>		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p>最初に、柳沢林業さんが行っている仕事内容について、講義形式で資料を用いながら説明していただいた。</p>  <p>間伐された学校裏山の現場へ実際に入り、どのように間伐作業を行うのか、木の種類は何かなど、講師の方の解説を聞きながら歩いた。間伐前後の様子の違いを見たり、林の中で水が湧き出ている場所を探したりした。</p>   </div>		

	<p>間伐作業の際に使っている機材も間近で見せていただいた。木を切り倒す作業の実演もしていただき、児童は、木が倒れる時の音の大きさ、見かけによらず立派な木の大きさに圧倒されていた。</p> <p>切り倒した直後の木はとても水分が多く、児童は木に触れたり、皮を剥いで水分量の多さを実感したりして、興味深そうに見ていた。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木を切って間伐したところは明るかったが、これからやるところは暗かった。 ・伐採するところを見て、重機を動かしているときに木が落ちないように上げたり下げたりしていてすごいと思った。パキパキと少しずつ切れていくのがおもしろかった。倒れるときの音がすごかった。 ・木に含まれている水がすごくたくさんあった。木は水を、皮の外側から吸い上げている。 ・切る前の木と、切った後の木は、思ったよりも大きさが違ってびっくりした。 ・水が湧き出ているところで、初めてわさびを見た。湧き水は、山のどこかから染み込んだ水で、大雨の後はたくさん流れている。 ・木が水を蓄えているのが、「水の源」だと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>学校のすぐ近くでこのような作業が行われていて、林業の現場を見学させていただいたことはとても貴重な体験で、今ある自然環境を守り、未来へ受け継いでいくことの重要性を認識できた時間となった。また、昨年度、上高地～学校周辺の水について学習してきた児童にとっては、今まで知らなかった身近な自然について再発見し、これまでとは異なった視点から水について捉えて考えを深める、新たな学びの場となった。</p>

授 業 名	川の生き物探し		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校 3年	参加人数	40人
担当者	太田 郁子 河合 英樹 岩倉 隆志	記入者	河合 英樹
実施日（期間）	令和4年9月8日（木）		
講師名	川の自然と文化研究会（NPO）		
実施概要	学校の近くを流れる田川入船橋上流へ行って、生き物探しをすることを通して、自然の中でいろいろな生き物が生きていることを知り、自然への関心を高める。		
実施状況 (授業風景)	<p>① 学校から田川入船橋上流まで歩いて行き、川原で講師の先生方と顔合わせをする。 川での学習で注意することを聞く。 安全確保のため、今回はライフジャケットを用意していただいた。</p> <p>② 早速、川に入り、たもを使って川の生き物探しをする。快晴の中だったが川の水は冷たく感じた。しかしながら、たもを川に入れると生き物が見つかり、講師の先生方に名前を聞いたり、友だちと見せ合ったりして、夢中になって活動をした。</p> <p>③ 生き物探しをする中で、川の流れが速いところよりも遅いところのほうが見つけやすいことや石の裏や草むらの中などにもいることに気づいた。</p> <p>④ 採った生き物たちを学校に持ち帰り、観察会を行った。生き物ごとにトレイに移し、児童は、カードにスケッチしたり気づいたことを書き込んだりした。</p>		



	<p>⑤ 子どもたちが田川で見つけた主な生き物</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ガガンボ、カワゲラ、カワトンボ、ゲンゴロウ、コオイムシ サワガニ、チアカカアゲロウ、ドジョウ、トビケラ、ヌマエビ トノサマガエル、ヒゲナガトビケラ、ヒラタカゲロウ、 ヨシノボリ、マダラカゲロウ、サナエトンボ </div> <p>⑥ 観察会は50分ほど行った。トレイの中で泳いでいるお気に入りの生き物について、学習カードに熱心に記録する児童の姿が見られた。学習カードに何枚もスケッチをする児童、トノサマガエルを手の上に乗せて楽しむ児童など、ひとりひとりが自分の関心のある活動をしていた。</p> 
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生き物をさがせてたのしかった。 ・田川の水がきれいなので、きれいな田川のままにしたい。 ・生き物がずっと生きられるように田川をよごさないようにしたい。ごみをすてたり汚れた水を流さないようにしたい。 ・ちょっとおしりを水につけたらものすごくつめたかった。 ・最後に水の中にすわってくつろいだことが楽しかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生方が経験豊富で川についても詳しく、安全面配慮やタモやトレイなどの準備をしてくださっていたので、安心して実施ができたことが大変有り難かった。 ・生き物を採取した場所が昨年と異なったため採取できた生き物が異なったことに気づいた児童がいた。環境によって見つけられる生き物の違いに気づくことができた。 ・講師の方が用意してくださった「水生生物による水質判定」をもとに、後の総合的な学習の時間で採取した生き物の分類したところ、田川の水質は、比較的よいことに気づいた子どもたちは、田川の良い環境をこれからも維持していこうという意欲をもつことができた。そのために必要なことや自分たちでもできることを考えることを今後の学習展開の主眼に据えていきたい。また、ここで考えたことが今年度の海洋教育へ発展していくように展開できればと考えている。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童はとても楽しかったようで、後日、お家の人と一緒にもう一度訪れて遊んだ子もいた。 ・「川の生き物さがし」について、学級全体で報告書をさくせいしたので、掲載する。

授 業 名	里山体験学習		
学校名、学年、学級	松本市立寿小学校 5学年 4学級	参加人数	106人
担当者	加藤 雅美	記入者	加藤 雅美
実施日（期間）	令和4年9月22日（木）		
講師名	寿さとやまクラブ 鈴木喜一郎 寿財産区 平林議長 寿公民館 百瀬公民館長		
実施概要	<p>【事前学習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の里山体験学習の様子、注意事項についての説明 ・里山の歴史、里山の動植物についての講義 		
実施状況 (授業風景)	<p>(1) 昨年度の里山体験学習の様子について 百瀬館長に、パワーポイントで分かりやすくまとめていただき、里山体験学習の内容を教えていただいた。子どもたちは写真を見ながら、トレッキングのイメージを持つことができた。「トレッキングの中で、動物やきのこが見つかるかもしれない」と聞くと、期待で表情が明るくなる児童がとても多かった。</p> <p>(2) 里山の歴史や役割について 「里山の役割」として、空気をきれいにすること、水をきれいにすること、たくさんの動物や植物や生き物を育てていることなどを教えていただいた。日ごろ、里山と自分たちの生活についてあまり考えたことがない子どもたちにとって、里山が身近なものだと認識するきっかけになった。 そして、里山体験学習で行く「寿財産区有林」には、長い歴史があることを学んだ。明治時代は「はげ山」と呼ばれる木がない状況だったこと、子どもたちが植林をしたこと、人々の手で大切に守られてきたことなど、子どもたちは初めて知ることに関心津々の様子だった。</p> <p>(3) 山で気を付けることや動植物、林業について 注意しなければいけないハチやクマについて、鈴木さんから丁寧にお話をいただいた。実際に鈴木さんが山で体験されたことを交えながら、自分だったらどのように行動するか、考えながら話を聞く様子が見られた。 林業では、伐採を中心に、伐採をする目的や実際の手順について教えていただいた。何人かの子どもたちが木となり、伐採について説明いただく場面では、様子を分かりやすく伝えていただいた。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○去年の里山体験学習の様子を写真で見ました。とても楽しそうだったので、行くのがとても楽しみになりました。早く行きたいです。 ○里山の歴史や動物や植物について、知ることができてよかったです。 		




	<p>す。食べられるキノコを採りたいです。水たまりや泥の場所を見つけたら、どんな動物が通ったか、見てみたいです。</p> <p>○林業について、今まで知りませんでした。伐採のお話を聞くことができました。間伐や伐採をするのは理由があることを知りました。当日、伐採の様子を見学するのが楽しみです。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>里山の歴史や動物や植物について、教師から子どもに教えようとする、知識が足りず不十分な説明になってしまいます。里山を知り尽くした講師の先生方をお招きして事前学習会ができたことは、大変ありがたかったです。教師も子どもと一緒に学習をすることができ、貴重な時間となりました。事前学習前は、里山についてあまり興味を持っていなかった子どもたちが、様々なお話を聞く中で関心を高めることができました。実際の写真や、道具を見せていただき、子どもたちも里山体験学習に対してよりイメージが持てたように思います。当日もよろしくお願ひします。</p>
--	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：42-2】

授業名	里山体験学習		
学校名、学年、学級	松本市立寿小学校 5学年 2学級	参加人数	59人
担当者	宮澤 研	記入者	宮澤 研
実施日(期間)	令和4年9月28日(水)		
講師名	寿さとやまクラブ 鈴木喜一郎 寿財産区 平林議長		
実施概要	<p>【里山体験学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山トレッキング ・木の伐採見学 ・木材を使った名札作り 		
実施状況 (授業風景)	<p>【里山体験学習】9月28日</p> <p>○トレッキング</p> <p>各グループに講師の先生方へ入っていただき、里山のトレッキングを行った。自然の空気をたっぷりと感じながら、山の中へと進んでいった。</p> <p>歩いていると、シカが角を研いだ跡が残る木や珍しいきのこを見つける姿が見られた。里山の事前学習で聞いたように、動物や植物の広がっている様子を実際に見ることができ、子どもたちから驚きの声が聞こえてきた。見つけたものは講師の先生に詳しく話を聞いて、さらに深めることができた。</p> <p>きずなの森へ到着すると、林業に関わる仕事や里山の役割について、講師の先生方からお話を聞いたり、自然の中で活動をしたりした。あるグループでは、さらに奥深い山に入り、きのこを探していた。各グループで、きずな</p>		






	<p>の森の良さを満喫することができた。自然を思い切り体感しながら、有意義な時間を過ごすことができたようだった。</p> <p>○伐採見学</p> <p>たった1本の木を伐採するのに、さまざまな安全対策がされていることを教えていただいた。笛を吹くことで木を伐採する合図になること、ロープを木にかけて倒れる方向を決めること、滑車を用いて力を分散させることなど、初めて知ることがたくさんあり、熱心に話を聞く子どもたちが多かった。</p> <p>木が倒れたときには「すごい!」「すごい振動だったよ。」と、驚きの声があがった。伐採の様子を見るのは初めての子どもが多く、大変貴重な経験となった。</p>  <p>○名札作り</p> <p>ご用意いただいた木材に、一人ひとり考えたデザインで名札を作った。山や丸太やきのこなど、里山で見つけたものを描く子どもが多かった。</p> <p>できあがった名札を早速着け、友だちと見せ合う姿が見られた。満足できる名札を完成させることができた。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>○トレッキングでは、たくさんきのこを見つけることができました。家に持ち帰って家族で食べたら、とてもおいしかったです。今度は家族を連れて、みんなでまた行きたいです。</p> <p>○伐採見学では、木が倒れるときに「ドーン!」と地震のようにゆれました。それだけ重い木を安全に伐採する工夫を見学できてよかったです。</p> <p>○木材で作った名札がとても気に入りました。これからたくさん使いたいです。</p> <p>○きのこを見つけたり、思いっきり遊んだり、ふだんできないことをたくさんやりました。とても楽しかったです。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>里山くらぶ、寿財産区、寿公民館をはじめ、多くの方に支えていただき、里山体験学習を実施することができました。安全面やコロナ対策として、さまざまな工夫を考えていただき、大変ありがたかったです。のびのびと活動する子どもたちの姿がとても印象的でした。今後も、自然と関わる学習を大切にしていき、子どもたちに自然を大切にすることを育ててほしいと思います。</p>

環境教育支援事業実施報告書

【番号：42-3】

<p>授業名</p>	<p>里山体験学習</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立寿小学校 5学年 2学級</p>	<p>参加人数</p>	<p>57人</p>
<p>担当者</p>	<p>熊谷 博</p>	<p>記入者</p>	<p>熊谷 博</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和4年9月28日(水)</p>		
<p>講師名、実施概要</p>	<p>【番号：42-2】と同様</p>		

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>【里山体験学習】 9月28日 ○伐採見学</p>   <p>里山クラブの方に準備していただき、木の伐採作業を見学した。チェーンソーの扱いや特別な装備、木を倒す方向を調節するワイヤーなど、安全に特に配慮して作業していることが伝わってきた。木が倒れる際の、幹が割れる音、枝が折れる大きな音、倒木直前の木が折れる大きな音、切れた後の木の香り、年輪など、児童は教科書では分からない情報を五感を通して感じ取っていた。</p> <p>○木の名札づくり</p> <p>里山から切り出した木の枝を、輪切りにしたもの里山クラブの方々が用意してくださり、子ども達は木の形に合わせて、前もって考えてきたデザインを元に、自分の名前や飾りを書き、裏にクリップをつけ名札を作成した。名札は学校の授業で活用している</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木の伐採では、切り口と追い口があり、切込みはたおしたい方向に入れることを知り、そんな工夫があるんだ、と思いました。 ○森の新鮮な空気を吸いながら、学習できてとても楽しかったです。 ○里山クラブの人たちに、森の中の動物の話、植物の話をしていただきながらトレッキングができてとても勉強になりました。  <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>里山クラブ、寿公民館、寿財産区をはじめとする、地域の方々のお陰で、子ども達が自然と触れ合うとともに、自分たちの地域をより深く知り大切にしていこうとする気持ちを育む素晴らしい機会を与えていただきました。</p> <p>このような貴重な体験の機会をいただいたことに、関係者の皆様に大変感謝しております。</p>

授業名	火起こしと野外体験		
学校名、学年、学級	松本市立島立小学校 4年1組	参加人数	25人
担当者	馬場美穂	記入者	
実施日(期間)	令和5年2月15日(水) 1日		
講師名	すえなみブッシュクラフト 代表 末次克洋さん		
実施概要	次年度キャンプのために、火の起こし方を体験すると共に、野外での身の守り方を学ぶ。		
実施状況 (授業風景)	  <p>生き延びるための条件</p> <p>火おこしのための準備</p>   <p>グループごとに火起こし</p> <p>起こした火で焼きマシュマロ</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物を1か月食べなくても生きていられることにびっくりした。 ・マシュマロを焦がさずにおいしく焼けて嬉しかった。 ・笛の音だけでどこにいるか分かった。 ・自然体験で、火のつけ方にさらに自信がついた。 ・自然にある草や木で簡単に火を着けることができると分かった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>やり方を教わるのではなく、今ここにあるものを工夫して創り出していくという言葉に感動しました。世の中が便利になることで、無いものを自身が工夫して作り出す必要がなかったり、その根気が生まれなかったりします。でも、自然の中では通用しません。自分がやらなければならない状態になった時を予見し、どんな知識も経験も、全て自分の糧になるように身に付けていけたらいいなと思います。</p>		

授 業 名	火起こしと野外体験		
学校名、学年、学級	松本市立島立小学校 4年2組	参加人数	28人
担当者	担任 濱田 佳希	記入者	下平 恵里
実施日（期間）	令和5年2月10日（水） 1日		
講師名	すえなみブッシュクラフト 代表 末次克洋さん		
実施概要	【番号：43-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	 <p>生き延びるための条件 火おこしのための準備</p> <p>グループごとに火起こし 起こした火で焼きマシュマロ</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遭難時には、音・光・文字などで助けを求められることが分かった。 ・ 食べなくても30日間生き延びることができることを知って、衝撃的だった。 ・ 生き延びるための条件の順番が、自分の予想と違っていた。意外だった。 ・ 自分たちで火をおこすことができ楽しかった。 ・ マシュマロがうまく焼けたのがうれしかったし、マシュマロは嫌いだけど、みんなで焼いて食べたらおいしかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧に教えていただきありがとうございました。 <p>家庭でも火を見ることが減ってきた子どもたち。火のありがたさと怖さについて、実感することができたと思います。</p>		

令和4年度
松本市小中学校環境教育支援事業
学習プログラム一覧



令和4年度 小中学校環境教育支援事業 環境学習プログラム一覧


分類	No	講座名称	講師
校内	きく・みる	1 気候変動とSDGs	自然エネルギーネットまつもと
		2 ツキノワグマの生態を知ろう	NPO法人信州ツキノワグマ研究会
		3 山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。	認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ
		4 使わないものはゴミではなく資源	フリマネット信州
		5 まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境・地域エネルギー課
		6 地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
		7 生きものから学ぶ環境学習	松本ホテル学（まなぶ）会
		8 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス
	たべる	9 むかどご飯炊き体験	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
		10 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ
		11 炭用石窯でピザ焼体験	NPO法人石窯スマイル研究会
	つくる	12 木材の活用法（小物づくり）	寿さと山くらぶ
		13 裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成）	松本市社会福祉協議会ボランティアセンター
		14 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
		15 自然素材で簡単工作	NPO法人わおん
	実験する	16 木質バイオマスエネルギー利用方法	自然エネルギーネットまつもと
		17 あかりのエコ教室	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 松本電材営業所
		18 エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 松本電材営業所
		19 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課
		20 小水力発電機等による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
		21 アウトドアから学ぶ防災・災害対策	すえなみブッシュクラフトスクール長野
		22 手作りろ過器で飲み水作り（水の循環と森の役割を学ぶ）	すえなみブッシュクラフトスクール長野
	23 着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学	すえなみブッシュクラフトスクール長野	
校外	公園等	24 身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ
	川	25 水辺の観察会	NPO法人えんどっこ
		26 水辺の生物の観察会	NPO法人川の自然と文化研究所
		27 生き物観察から不思議や疑問を見つけよう！	松本ホテル学（まなぶ）会
		28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス
		29 梓川&奈良井川&犀川ラフティング	合同会社リトルピークス
		30 水殿ダムラフトピクニック（ダム見学付き）	合同会社リトルピークス
	山	31 地元の山が100倍好きになる登山学	合同会社リトルピークス
	特定の場所・その他	32 謎解きウォーク体験	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
		33 手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について	いきものみつけファーム in松本推進協議会
34 石窯でピザづくりたいけん		NPO法人石窯スマイル研究会	
校内外両方可	35 いきもの探しと観察及び環境教育講座	いきものみつけファーム in松本推進協議会	
	36 プランター菜園講座	いきものみつけファーム in松本推進協議会	
	37 体験！体感！外あそび！！	信州やがいたいけん楽校がらす	
	38 体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし	
	39 火おこしと簡単な野外料理、農業体験	体験創庫かけはし	
	40 自然体感プログラム	NPO法人わおん	
	41 外あそびの達人講座	NPO法人わおん	
	42 キャンプ・野外生活 基礎	すえなみブッシュクラフトスクール長野	
年度途中追加	-	里山ってどんなところ？林業ってどんな仕事？	株式会社柳沢林業

環境学習プログラム 教科・領域との関連について

ご要望に応じ対応可能ですので、あくまで参考としてください。

分類	No	講座名称	関連する主な教科・領域					
			社会	理科	図工 美術	技術 家庭	生活	総合
校内	きく・みる	1 気候変動とSDGs	○	○				○
		2 ツキノワグマの生態を知ろう					○	○
		3 山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。	○	○				○
		4 使わないものはゴミではなく資源	○					○
		5 まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	○					○
		6 地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	○	○				○
		7 生きものから学ぶ環境学習	○	○				○
		8 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	○	○			○	○
	たべる	9 ぬかどご飯炊き体験	○			○		○
		10 木の授業とバウムクーヘン作り	○					○
		11 炭用石窯でピザ焼体験				○		○
	つくる	12 木材の活用法（小物づくり）	○		○			○
		13 裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成）				○		○
		14 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり			○			○
	実験する	15 自然素材で簡単工作			○		○	○
		16 木質バイオマスエネルギー利用方法		○				○
		17 あかりのエコ教室		○				○
		18 エコと太陽光発電教室		○				○
		19 ワクワク下水道教室		○				○
		20 小水力発電機等による自然エネルギー体験		○				○
		21 アウトドアから学ぶ防災・災害対策		○		○	○	○
	22 手作りろ過器で飲み水作り（水の循環と森の役割を学ぶ）	○	○				○	
	23 着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学		○		○	○	○	
校外	公園等	24 身近な自然観察		○			○	○
	川	25 水辺の観察会	○	○			○	○
		26 水辺の生物の観察会	○	○			○	○
		27 生き物観察から不思議や疑問を見つけよう！		○			○	○
		28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー					○	○
		29 梓川&奈良井川&犀川ラフティング					○	○
		30 水殿ダムラフトピクニック（ダム見学付き）					○	○
	山	31 地元の山が100倍好きになる登山学					○	○
	特定の場 所・その他	32 謎解きウォーク体験	○			○		○
		33 手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について	○				○	○
34 石窯でピザづくりたいけん					○		○	
校内外両方で可	35 いきもの探しと観察及び環境教育講座		○			○	○	
	36 プランター菜園講座					○	○	
	37 体験！体感！ 外あそび！！	○	○			○	○	
	38 体験して学ぶ「自然や環境」について	○	○	○		○	○	
	39 火おこしと簡単な野外料理、農業体験	○			○	○	○	
	40 自然体感プログラム		○			○	○	
	41 外あそびの達人講座					○	○	
42 キャンプ・野外生活 基礎					○	○		
年度途中追加	-	里山ってどんなところ？林業ってどんな仕事？					○	○

● 講師の選定、講座内容の作成に関して、環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク等の協力をいただいています。

講座名称	気候変動とSDGs	(講座 No. 1)
支援事業内容	<p>気候変動とSDGsを学びます。 気候変動とはどんなことで、地球上で何が起きているのか 私たちはこれからどうしたらいいのか SDGsとは何か、その本質はどのようなことなのか</p> 	
対象	小学4年生以上	
時間数	1時間程度	
講師人数	子どもの人数に関係なく講師1人	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>	
学校側で必要な準備	プロジェクターとスクリーン(なければ講師が持参します)	
講師からの持込教材等	説明用教材	
講師について	2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。	
開催実績	2014～2017年度 奈田中学校 木質バイオマス活用 2017年度 清水小学校 防災とバイオマス	
その他	・プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。 ・No.16の講座も提供しています。	
講師連絡先	<p>【団体名】自然エネルギーネットまつもと 【担当者名】平島安人 【代表者名】平島安人 【TEL】0266-52-0160 (留守電) 【FAX】0266-52-0160 【Eメール】nematsu@mail.com 【HP】http://www.enet-netsumoto.net 【住所】〒392-0023 諏訪市小和田南9-3</p>	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

講座名称	ツキノワグマの生態を知ろう	(講座 No. 2)
支援事業内容	<p>講師を派遣し学校近隣(校内を含む)で行う学習支援 パワーポイントを用いた講義</p> 	
対象	小学1年生から中学3年生まで	
時間数	45～90分程度	
講師人数	子ども100人に講師2人	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>	
学校側で必要な準備	・スクリーン ・プロジェクター ・パソコン	
講師からの持込教材等	・トランクキット(クマの毛皮、頭骨等)、クマの着ぐるみ	
講師について	ツキノワグマの生息環境の保護保全を図り、野生動物と人間の共存を実現することを目的として、20年以上に渡り、ツキノワグマの生態研究および保護管理の活動を行っています。授業は、実際にツキノワグマの研究を行うメンバーが実施します。	
開催実績	平成28年度 奈川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう 平成30年度 田川小学校 山の動物 ツキノワグマってどんな動物？ 令和2年度 会田中学校 ツキノワグマの生態を知ろう 令和3年度 大野川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう 安曇小中学校 クマ授業	
その他	<p>【団体名】NP0法人 信州ツキノワグマ研究会 【担当者名】浜口あかり 【代表者名】岸元良輔 【TEL】0263-36-1884 (不在が多いため、他の方法でご連絡ください) 【FAX】0263-36-1884 【Eメール】kumaken.shinshu@yahoo.co.jp 【HP】https://kumakenshinshu.wixsite.com/kumaken 【住所】〒390-0876 松本市開智2-9-8</p>	
講師連絡先	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	
申込み方法		

講座名称	<p>山へ行こう！歩いて。感じて。学が自然環境。(講座 No. 3)</p> <p>学校登山の事前学習とあわせて、信州の山を知って楽しむための講座。山の魅力、山の特徴、登山の効用、山の楽しみ方、山との関わりなどについて、講義とアクティブラーニング(能動的な学習)を通して学びます。子ども達が山を好きになることは、これからの地域の魅力作りパワーの源になります。そして、SDGs(持続可能な開発目標)を意識した地域づくりの原点にもなります。また、先生方にも現在の登山の登山の原動力を知っていただきたい。先登山的な考え方からの解放を目指します。</p>
支援事業内容	 
対象	<p>小学4年生から中学3年生まで、特別支援学校</p>
時間数	<p>90分程度</p>
講師人数	<p>1学年に講師1人(学年単位で実施できます。)</p>
費用	<p>① 講師謝礼 → 【手数料】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限分毎) ② コース・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③ 個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし ④ 交通費 37円/km(市旅費規程) × (学校から住所までの距離) パワーポイントの使用できることと、軽い運動ができるスペース パソコン</p>
学校側で必要な準備 講師からの 持込資材等	<p>2005年に設立された、長野県の山岳地帯を主な活動場所とするNPO法人です。登山ガイド、自然ガイドのライセンス保持者で構成されています。登山ガイドの松場省吾他、学校登山サポートプログラムを長年担当しているガイドが実施いたします。信州の子ども達が、山好きになるきっかけを作りたい。山好きになることによって遊びを深め、山好きになってもらえば、登山や野外で活動は大人になっても続けられることができます。・持続可能な登山と自然体験」を目指して活動しています。</p>
講師について	<p>2012、14年度 会田中 2015年度 開智小「シカと環境のワークショップ」(美ヶ原キャンパス時) 2016年～18年度 松本市環境学習講座「シカの角を探そう」等 その他学校登山、上高地学習など多数実績があります。 学校登山実施の申し込みがなくてもご利用いただけます。 小学校の美ヶ原登山などへの出前講座も可能です。</p>
開催実績	<p>2012、14年度 会田中 2015年度 開智小「シカと環境のワークショップ」(美ヶ原キャンパス時) 2016年～18年度 松本市環境学習講座「シカの角を探そう」等 その他学校登山、上高地学習など多数実績があります。 学校登山実施の申し込みがなくてもご利用いただけます。 小学校の美ヶ原登山などへの出前講座も可能です。</p>
その他	<p>【団体名】信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ 【担当者名】松場省吾 【TEL】0263-34-1543 【FAX】0263-55-6194 【メール】matsusho2013@ab.auone-net.jp 【HP】http://www.enet-matsumoto.net 【住所】〒390-0304 松本市大村1082-4</p>
講師 連絡先	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前</p>
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記電話番号に伝える。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

講座名称	<p>使わないものはゴミではなく資源 (講座 No. 4)</p>
支援事業内容	<p>授業の内容として、この先の世代に有益なものを考えています。 ・環境、再利用と関連つけたイベントやしくみの作り方 ・「リユース」の現場から、自分たちの暮らす地域で、どんな取り組みをしていけるのか?を考えたワークショップなど。 学年にあわせた内容で考えます。</p>
対象	<p>小学校中学年～中学生まで</p>
時間数	<p>2時間くらいが望ましい。(連続可)</p>
講師人数	<p>子ども30人に講師2～3人</p>
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1回分毎) ・交通費(自家用車) → 037円/km × (岡田周辺から学校までの距離) × 2 往復 ② クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③ 児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・材料費等、必要物品 ・資料作成の印刷代</p>
学校側で必要な準備 講師からの 持込資材等	<p>DVD 視聴用の視聴覚設備、裁縫道具、鋏、糊など 視聴用映像ソフト、参考図書、写真、材料など</p>
講師について	<p>再利用推進活動を文化活動としてとらえ、実践して30年。団体は平成14年発足。生活者自身がリユース、市民交流、福祉支援、まちの賑わいづくりを4つの趣意として、消費者のリユースフリーマーケット活動を年間40開催、リユースで回収した物品で海外の児童教育支援をする活動、福祉活動やボランティア活動、市民活動などの企画や広報の支援もを行っています。</p>
開催実績	<p>・カンボジアの小学校へのリユース楽器の回収、メンテナンス、座学から発送までを源池小学校三年生、寿台児童館、学童クラブ等で開催。 ・市内の児童館を運営するNPO法人と協働で、各児童館の児童が、ペットボトルなどリメイクして作った作品を持ち寄り、先生たちと「リユースバザー」を行って震災で被災した門脇小学校の支援イベントを寿台児童館にて実施他。</p>
その他	<p>【団体名】フリマネット信州 【担当者名】立石恵子 【TEL】090-9664-5510 【FAX】0263-55-4451 【Eメール】furimanet@yahoo.co.jp 【HP】http://furimanet.com/</p>
講師 連絡先	<p>①申込書の内容を上記電話番号に伝える。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記電話番号に伝える。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内 - きく・みる】

<p>講座名称</p>	<p>まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」 (講座 No. 5)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>松本市民である私たちが取り組むべき5つの柱について、パワーポイント等を使って学習し、自分たちになにができるのか、一緒に考えます。 学習内容は、以下の1～5の中から組み合わせが可能です。(要相談) <ol style="list-style-type: none"> 地球にやさしく 地球温暖化を防ぐために一人ひとりが節電や省エネに取り組むことの重要性を学びます。 資源を大切に 「もったいない」をキーワードとした3Rの取組みやごみの現状、食品ロス、わたしたちができることなどについて学びます。 安心・安全な暮らし 市内の騒音や水質などの環境の状況や、私たちの行動がどのように環境に影響を与えるのかについて学びます。 自然のめぐみ 生物多様性とは何か、松本市の生物多様性の特徴や課題について、わかりやすく学びます。 心地よいまち 身近にある緑や心地よい環境、松本らしい街なみを守るための取組みについて学びます。 </p>
<p>講師 連絡先</p>	<p>【団体名】松本市環境・地域エネルギー課 【担当者名】阿部 【TEL】34-3268 (平日 8時30分～17時15分のみ対応可) 【FAX】34-3202 【メール】s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp 【住所】〒390-8620 松本市丸の内3-7 ①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内 - きく・みる】

<p>講座名称</p>	<p>地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ (講座 No. 6)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>気象予報士が、地球環境や身近な環境問題について、スライドや教材を用いて講習します。地球環境、異常気象と自然災害、ごみ問題、省エネルギー・自然エネルギー、SDGs等について学べます。</p> 
<p>講師 連絡先</p>	<p>【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと) 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】宮澤 信 【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715 【FAX】0263-57-5460 【メール】— 【住所】— https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kan kyojoho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html</p>

<p>対象</p>	<p>小学校高学年から中学生まで</p>
<p>時間数</p>	<p>要相談</p>
<p>講師人数</p>	<p>1. クラス～1学年に講師1人 ①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
<p>費用</p>	<p>学校側で必要な準備はマイク</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>プロジェクター、スクリーン(※体育館、講堂などで実施する場合はマイク)</p>
<p>講師からの持込資料等</p>	<p>パソコン、教材</p>
<p>講師について</p>	<p>気象予報士の資格を持ち、市内で地球温暖化防止活動を行う市民団体「エコネットまつもと」の代表を務めています。市の環境審議会委員、県の地球温暖化防止活動推進員等としても活動しています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>随時開催 市民向けワークショップ・松本市環境学習講座(エコスクール)内での講習 平成30年度 明善小 令和2年度 山辺小</p>
<p>その他</p>	<p>「竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり(講座No.14)」、「小水力発電機等による自然エネルギー体験(講座No.20)」と同日実施が可能です。(要相談)</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打合せをする。④当日を迎える。</p>

講座名称	ぬかくどご飯炊き体験 (講座 No. 9)
支援事業内容	昔ながらの「ぬかくど釜」でご飯を炊き、塩むすびを作って美味しいお米を味わいます。「ぬかくど釜」は、昭和初期に農家で使用されていた「ぬか」＝「もみ殻」を使った釜です。炊き上がりまでの時間に、紙芝居やクイズで、安曇野の米や水、ぬかくどについて学びます。 
対象	小学校3年生以上 中学生まで、特別支援学校
時間数	2時間分程度
講師人数	子ども30人に講師3人程度
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・安曇野産無農薬米 6 枧 (おむすび 150 個) で約 6500 円
学校側に必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	ぬか、釜、クッキングシート、その他の備品
講師について	Iターン者と地域住民との交流による新しいふるさとづくりを目指して2006年に設立。2007年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」、2015年度から地域ガイド育成講座「案内人の教室」、2018年度より松本観光ホスピタリティカレッジ「ガイドコース」の講師も務めています。
開催実績	(ぬかくどご飯炊き体験) 2015～2017年度 会田中学校 2020年度 菅野小学校 2015～2021年度 二子小学校
その他	・No.32の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】NP0 法人安曇野ふるさとづくり応援団 【担当者名】宮崎 崇徳 【代表者名】宗像 章 【TEL】0263-81-1325 (10-17時なら連絡可能) 【FAX】0263-81-1280 【Eメール】lifepoort@nifty.com 【HP】http://azumino-furusato.com/ 【住所】〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメール又はFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	木の授業とバウムクーヘン作り (講座 No. 10)
支援事業内容	木の成長を体験的に学べる学習です。木が成長する際、1年に1つの円ができ、それが十年何百年と続くことで年輪ができます。木の成長に思いを馳せながら、炭火を使って材料からバウムクーヘンを作ります。また、竹や間伐材などを活用する学習も可能です。 
対象	小3から中3まで、特別支援学校
時間数	120分程度
講師人数	子ども15人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・炭 (10kg) 約1,000円/児童15人分 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・食材 約4,000円/児童15人分 (卵(大)40個、バター600g、ホットケーキミックス1kg、小麦粉500g 砂糖600g)
学校側に必要な準備	長机1台/児童15人分
講師からの持込資材等	レンビ等の資料、竹の棒などの資材、機材一式
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校の環境教育などを実施しています。会員数65名。 平成28年度 鎌田小、二子小 平成29年度 今井小、二子小 (4年・特支)、四賀小、鎌田小、会田小 平成30年度 会田中、四賀小、菅野小、二子小 (4年・特支) 令和元年度 梓川小、二子小、四賀小、菅野小 令和2年度 菅野小、四賀小、中山小 令和3年度 四賀小、明善小、菅野小、中山小、開明小
開催実績	・No.12の講座も提供しています。
その他	【団体名】寿さと山くらぶ 【代表者名】白川良昌 【担当者名】鈴木喜一郎 【TEL】0263-57-5460 / 080-5109-9715 【FAX】0263-57-5460 【住所】〒399-0022 松本市松原9-17
講師連絡先	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。
申込み方法	

【分類：校内 - たべる】

講座名称	炭用石窯でピザ焼体験 (講座No. 1 1)
支援事業内容	炭を使って小型移動式石窯を加熱しながら再生エネルギーや蓄熱エネルギーについて学び加熱した石窯で生地を伸ばしてトッピングしたピザを焼き試食する講座です。  
対象	小学1年生から中学3年生 「特別支援学級」
時間	90分程度
講師人数	講師最低3人 (教諭含めた参加者は25人程度)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1 時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・炭 約500円/1回 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・ピザ材料100円/1人 (ピザ焼き枚数は参加人員に応じ5枚から8枚)
学校側で必要な準備	・講座実施場所 火を扱えるところ ・参加者の食物アレルギーの有無事前確認 ・必要に応じた飲み物
講師からの持込資材等	石窯 炭 設置台 ピザ材料 その他備品
講師について	地元間伐材や炭を利用して再生エネルギーを活用し環境問題への寄与を図り、また石窯体験会を通じ青少年の健全育成へ寄与する団体です。会員数は11名です。
開催実績	令和2年度 岡田小学校あさひ分校 女鳥羽中学校あさひ分校 松本工業高校機械科 令和3年度 明善小学校 特別支援学級
その他	プログラム実施の1ヵ月前には申込の連絡をしてください。 通年プログラム実施は可能ですが12月中旬から2月中旬は未実施雨天、強風は実施が可能な場合があるので直前での実施日変更の可能性あり ・No.34の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】NPO法人石窯スマイル研究会 【担当者名】桐原 真幸 【TEL】0263-36-8835 【FAX】0263-36-8835 【Eメール】ishigama.s.kenkyu@road.ocn.ne.jp 【HP】http://smilestone-labo.com
申込み方法	【住所】〒390-0804 松本市横田 4-1-1 ①申込書の内容を上記EメールまたはFAXに送付する。②同じものを教育文化センターへ連絡し、事前に打合せをする。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - つくる】

講座名称	木材の活用法 (小物づくり) (講座No. 1 2)
支援事業内容	間伐による里山の保全、間伐材の活用について学習しながら、木工工作を行います。木の持つ魅力や種類の違いなどを五感で感じて、自ら創造する活動です。 また、山林での森林整備体験なども行います。(応相談)  
対象	小学4年生から中学3年生まで
時間	120分程度
講師人数	子ども6～8人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1 時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・木工材料費1人あたり約100円 (事前の相談で決定)
学校側で必要な準備	図工室、木工室等の会場 (電源がある部屋)
講師からの持込資材等	木工に必要な木材、機材一式
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校の環境教育などを実施しています。会員数65名。
開催実績	平成27年度 鎌田小学校、会田中学校 (森林整備指導) 平成28年度 島立小学校、二子小学校、会田中学校、菅野小学校 平成29年度 島内小 平成30年度 源池小 令和元年度 梓川小、四賀小、菅野小、二子小 明善小 (6年・特支)
※	令和2年度 源池小、寿小、菅野中 令和3年度 二子小、梓川小、寿小
その他	・事前学習として、木の学習や素材探し (小物の飾りとなるドングリ、押し花等) の対応も可能です。 ・No.10の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】寿さと山くらぶ 【担当者名】鈴木喜一郎 【TEL】0263-57-5460 / 080-5109-9715 【FAX】0263-57-5460 【Eメール】 shu@shu.or.jp 【住所】〒399-0022 松本市松原 9-17
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。


【分類：校内 - つくる】

講座名称	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成）（講座 No. 1 3）
支援事業内容	<p>マイ箸づくりで作った箸を収納するための袋を自作する際の指導講習を行います。</p> 
対象	小学校中学年以上（家庭科の授業開始後が望ましい）
時間数	2 時間程度
講師人数	子ども 10 人に講師 1 人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円（授業 1 時限毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備 講師からの 持込資材等	<p>・材料 ①40 cm 四方の布、②約 40 cm のひも ・裁縫道具、アイロン ・マイ箸袋のサンプル</p>
講師について	市内在住のボランティアが作成を指導します。
開催実績	<p>平成 27 年度 鳥立小学校・信州大学教育学部附属松本小学校 平成 28 年度 鎌田小学校 平成 29 年度 信州大学教育学部附属松本小学校</p>
その他	
講師 連絡先	<p>【団体名】松本市社会福祉協議会ボランティアセンター 【担当者名】塩原 【代表者名】小林 弘明 【TEL】0263-27-3381（8:30～17:15） 【FAX】0263-27-2239 【メール】chiiki@syakyo-matsumoto.or.jp 【HP】http://www.syakyo-matsumoto.or.jp 【住所】〒390-0833 松本市双葉 4 番 16 号</p>
申込み方法	①申込書を上記 FAX 番号に送付する。②同じものを教育文化センターに打合せをする。④当日を迎える。


【分類：校内 - つくる】

講座名称	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり（講座 No. 1 4）
支援事業内容	<p>竹材を加工・装飾したキャンドルフード、蜜ろう製のろうそくを作ります。作品は、地球温暖化防止の啓発イベント「キャンドル・ナイト in MATSUMOTO」（6月：松本市美術館、12月：松本駅前）にて展示・点灯します。竹資源の活用や地球温暖化防止について、作品づくりを通して楽しく学べます。</p> 
対象	小学校高学年から中学生まで、特別支援学級
時間数	2～3 時間程度
講師人数	子ども 5～6 人に講師 1 人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円（授業 1 時限毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備 講師からの 持込資材等	<p>竹材、のこぎり、電動ドリル、軍手、蜜ろう、ガスコンロ等</p>
講師について	<p>平成 17 年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワークです。構成 13 団体それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドル・ナイト（6月、12月）」、「打ち水大作戦（8月）」等を行っています。</p>
開催実績	<p>平成 29 年度 鎌田小、市民向けワークショップ 平成 30 年度 明善小、四賀小（特支）、市民向けワークショップ 2 回 令和元年度 梓川小、市民向けワークショップ 2 回 令和 2 年度 菅野小 令和 3 年度 梓川小</p>
その他	<p>・「地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ（講座 No.6）」と同日実施が可能です。（要相談） ・竹筒キャンドルのみの製作も可能です。 ・No.6、20 の講座も提供しています。</p>
講師 連絡先	<p>【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】宮澤 信 【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715 【FAX】0263-57-5460 【メール】— 【HP】https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kanryo/ohho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html 【住所】—</p>
申込み方法	①申込書を上記 FAX 番号に送付する。②同じものを教育文化センターに打合せをする。④当日を迎える。



【分類：校内 - つくる】



講座名称	自然素材で簡単工作 (講座 No. 15)
支援事業内容	木の輪切りや木の実を使って簡単な工作をします。ノコギリや小刀など道具が安全に使えるようになる講座です。  
対象	学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級
時間数	45分～90分程度
講師人数	子ども15人に講師1人 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ・交通費(自家用車) → @87円/km × (以下住所から学校までの距離) × 2往復 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・工作の材料費 100～200円程度(内容による)
学校側が必要な準備	工作が実施可能な場所の確保
講師からの持込資材等	工作に使う道具(のこぎり、小刀など)、自然素材(枝、木の実) 塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。 小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
講師について	平成28年度 田川小学校 「学校の近くの田川でネイチャージャーゲームなどの自然体験活動」 朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体験(ネイチャージャーゲーム)」 平成30年度 並柳小学校「自然体験プログラム、工作」 令和元～3年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体験プログラム」 菅野小学校、波田小学校「自然素材で簡単工作」 大野川小学校「外そびの達人講座」
開催実績	令和元～3年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体験プログラム」 菅野小学校、波田小学校「自然素材で簡単工作」 大野川小学校「外そびの達人講座」
その他	・No.40、41の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】NP0法人わおん 【代表者名】山田 勇 【担当者名】山田 勇 (朝9時以降なら連絡可能) 【TEL】0263-87-3005 【FAX】0263-87-4024 【メール】waon@npowaon.com 【HP】http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】〒399-0704 塩尻市広丘郷原685
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打合せをする。④当日を迎える。




【分類：校内 - 実験する】

講座名称	木質バイオマスエネルギー利用方法 (講座 No. 16)
支援事業内容	木質バイオマス活用の重要性和活用方法を学びます。 ロケットストーブを使って、松ぼっくりや木の枝、竹などの木質バイオマスからエネルギーを取りだす体験をします。 
対象	小学5年生以上
時間数	1.5時間～3時間程度
講師人数	子ども30人に対して講師1人必要(体験型の場合は10人に1人)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・(炊飯を伴う場合)ポリ袋 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・(炊飯を伴う場合)米代
学校側が必要な準備	火を使っても大丈夫な場所の確保
講師からの持込資材等	体験用の機材一式
講師について	2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。
開催実績	2014～2017年度 会田中学校 木質バイオマス活用 2017年度 清水小学校 防災とバイオマス
その他	・プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。 ・No.1の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】自然エネルギーネットワークもと 【担当者名】平島安人 【代表者名】平島安人 【TEL】0266-52-0160(留守電) 【FAX】0266-52-0160 【メール】nematsue@gmail.com 【HP】http://www.enet-matsumoto.net 【住所】〒392-0023 諏訪市小和田南9-3
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打合せをする。④当日を迎える。


講座名称	あかりのエコ教室 (講座 No. 17)
支援事業内容	3種類のランプ(白熱灯・蛍光灯・LED)を使った実験で特徴や違いを発見し発表します。ランプのしくみや省エネについて学べる講座です。  
対象	小学校4年生から6年生まで
時間数	1時間(45分)
講師人数	子ども40人に講師3名
費用	①講師謝礼 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備講師からの持込資材等	スクリーンもしくはモニターTV・プロジェクター 手回し発電機・電力測定器 (4~5人で1台)
講師について	第9回「キャリア教育アワード」優秀賞 受賞
開催実績	平成27年 波田小学校6年 平成28年 安曇小学校5・6年 平成29年 鎌田小学校5年・清水小学校4年 ・プログラム実施の3カ月前には申込の連絡をお願いします。 ・No.18の講座も提供しています。
その他	【団体名】パナソニック(株)エレクトリックワークス社 松本電材営業所 【代表者名】増田 真一 【担当者名】丸山 真世 【TEL】0263-27-4501 【FAX】0263-27-4509 【メール】maruyama.kiyoo@jp.panasonic.com 【HP】https://panasonic.co.jp/ew/company/education/ 【住所】〒390-0841 松本市渚2-9-45 長野パナソニックビル2階 ①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。
講師連絡先	※
申込み方法	※

講座名称	エコと太陽光発電教室 (講座 No. 18)
支援事業内容	環境にやさしい太陽光発電のしくみを学び、実験を通じて太陽光発電の特徴(長所・短所)に気づき、考え、発表します。太陽光発電の特徴を理解し、日常生活に置換えて学べる講座です。  
対象	小学校4年生から6年生まで
時間数	1時間(45分)
講師人数	子ども40人に講師3名
費用	①講師謝礼 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備講師からの持込資材等	スクリーンもしくはモニターTV・プロジェクター 太陽電池・温度計・電力計他
講師について	第9回「キャリア教育アワード」優秀賞 受賞 (あかりのエコ教室)
開催実績	平成27年 波田小学校6年 平成28年 安曇小5・6年 平成29年 清水小4年、鎌田小5年 ・プログラム実施の3カ月前には申込の連絡をお願いします。 ・No.17の講座も提供しています。
その他	【団体名】パナソニック(株)エレクトリックワークス社 松本電材営業所 【代表者名】増田 真一 【担当者名】丸山 真世 【TEL】0263-27-4501 【FAX】0263-27-4509 【メール】maruyama.kiyoo@jp.panasonic.com 【HP】https://panasonic.co.jp/ew/company/education/ 【住所】〒390-0841 松本市渚2-9-45 長野パナソニックビル2階 ①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。
講師連絡先	※
申込み方法	※

<p>講座名称</p> <p>ワクワク下水道教室 (講座 No. 19)</p>	<p>下水道の仕組みについて学べる講座です。 (内容) 1 浄化センターまでの下水の流れ 2 ペットボトルを使った紙の溶け方の実験 3 顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察</p>
<p>支援事業内容</p>	  <p>社会科見学で下水の浄化センターに行く前に、予習として利用していただく効果的です。 小学4年生 1 時限 (1 クラス毎) 講師 2~3 名</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
<p>学校側で必要な準備</p> <p>講師からの持込資材等</p> <p>講師について</p>	<p>教室の確保 (テーブルごとに水道のある理科室または家庭科室等) 電子黒板またはモニターの確保 電源の確保</p> <p>顕微鏡カメラセット、パソコン等</p> <p>松本市上下水道局 下水道課 宮沢及び両島浄化センター職員 (すべて小学4年生) 令和元年度 松本市内小学校 14校 令和2年度 松本市内小学校 6校 令和3年度 松本市内小学校 2校</p> <p>開催実績</p> <p>令和元年度 松本市内小学校 14校 (すべて小学4年生) 令和2年度 松本市内小学校 6校 令和3年度 松本市内小学校 2校</p> <p>その他</p> <p>開催前に機材等の確認を兼ねて打合せをお願いします。(20分程度) 5~7月に社会科見学の学校が多いため、ご希望の日程に添えない場合があります。また、ワクワク下水道教室、社会科見学のにも新型コロナウイルスの感染状況によっては中止する場合がありますので、ご了承願います。</p> <p>【団体名】 松本市上下水道局 下水道課 【担当者名】 飯島志保 【TEL】 27-4465 (平日 8時30分~17時15分) 【FAX】 29-0933 【Eメール】 gesui@city.matsumoto.lg.jp (両島浄化センター) 【住所】 〒390-0848 松本市両島3-1</p> <p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>


<p>講座名称</p> <p>小水力発電機等による自然エネルギー体験 (講座 No. 20)</p>	<p>可搬式の小水力発電機を使って、水力発電の仕組みを学びます。また、ソーラーカーや発電自転車の試乗体験を通して自然エネルギーについて学びます。</p>   
<p>支援事業内容</p>	<p>小学校高学年から中学生まで、特別支援学級 60分程度 講師人数 子ども30人に講師1人</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
<p>学校側で必要な準備</p> <p>講師からの持込資材等</p> <p>講師について</p>	<p>校内の流水 (落差) がある箇所</p> <p>可搬式小水力発電機、ソーラーカー、発電自転車 平成17年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワークです。構成13団体それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドル・ナイト (6月、12月)」、「打ち水大作戦 (8月)」等を行っています。 平成18年度~松本市消費生活展への出展 (ソーラーカー、発電自転車の試乗体験) 令和3年度 安曇小 ・「地球温暖化問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ (講座 No.6)」と同日実施が可能です。(要相談) ・No.6、14の講座も提供しています。</p> <p>【団体名】 松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと) 【担当者名】 鈴木 喜一郎 【代表者名】 宮澤 信 【TEL】 0263-57-5460/080-5109-9715 【FAX】 0263-57-5460 【Eメール】 — 【HP】 https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kan-kyojo/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html 【住所】 —</p> <p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>
<p>申込み方法</p>	

講座名称	アウトドアから学ぶ防災・災害対策 (講座 No. 21)
支援事業内容	何を失った人は生きていけないのか。生きていく為に最低限必要な要素を知り、非常時に身近な物を使って確保する考え方を学ぶ。その中から一番大切な体温保持する方法や火を手に入れる体験をする講座です。 
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	2時間程度
講師人数	1クラスに講師1人(2人以上いければ尚良い)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・1グループ(5人以下)で、新聞紙、ビニール袋、カップが必要。着火の道具約1,000円/セット ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	火を扱うので理科室が適当かと思えます。 体温保持に関する資料(1人1枚)の印刷 着火の道具などを必要数
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。
開催実績	平成30年度、31年度 鎌田児童センター 平成30年度 本郷図書館、公民館講座 平成30年度 塩尻市広丘小 PTA 講演
その他	・体験部分は幾つかあるので要相談。飲み水の確保に変更も可能。 ・No.22、23、42の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】すえなみブジュンエコラフアブスクール長野 【講師名】代表：末次克洋(すえなみ かつひろ) 【連絡先】 中信地区環境教育ネットワーク(eeネット) 事務局 中林 直子 【TEL】0263-86-8739 携帯：090-2737-1856 【FAX】0263-86-8739 【メール】ecoconet@gominetnagano.jp
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	手作りろ過器で飲み水作り(水の循環と森の役割を学ぶ) (講座 No. 22)
支援事業内容	飲み水とは?をテーマに、飲める水と飲めない水の違い、地球規模の水の循環、森の役割について解説します。その後、ペットボトルで簡易ろ過器を作り、泥水を濾過する実験をします。 
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	2時間程度
講師人数	1クラスに講師1人(2人以上いければ尚良い)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・1グループ(5人ほど)に1.5ℓペットボトル2本ずつ、燻棒1本ずつ。クラスに燻炭1袋(50g、500円)、砂1袋(20kg500円)、砂利1袋(10kg500円)が必要。 ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	水を扱うので理科室が最適です。時間を短縮するため、事前にペットボトルの加工をお願いします。泥水を入れるバケツや水を汲むための容器、シャベル。
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。
開催実績	平成30年度、31年度 鎌田児童センター 令和2年度 鎌田小
その他	・No.21、23、42の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】すえなみブジュンエコラフアブスクール長野 【講師名】代表：末次克洋(すえなみ かつひろ) 【連絡先】 中信地区環境教育ネットワーク(eeネット) 事務局 中林 直子 【TEL】0263-86-8739 携帯：090-2737-1856 【FAX】0263-86-8739 【メール】ecoconet@gominetnagano.jp
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。


講座名称	着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学 (講座 No. 23)
支援事業内容	燃焼に必要な(可燃物、熱、酸素)の話と、様々な着火方法の仕組みを解説します。その後、実際にマッチ、ライター、火打ち石、虫眼鏡、弓きり式火おこしを使った着火体験をする講座です。   
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	2時間程度
講師人数	1クラスに講師1人(2人以上いれれば尚良い)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・1グループ(4人以下)で着火道具1セット/500円。弓きり式火おこし1,000円/セット ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし
学校側で必要な準備講師からの持込資材等	火を扱うので理科室が良いと思います。 着火道具を必要数
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。
開催実績	平成30年度、31年度 鎌田児童センター 平成30年度、本郷図書館、公民館講座 平成30年度 芳川小学童
その他	・着火体験の代わりに焚火(片付けまで)体験もできます。 ・No.21、22、42の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】すえなみブジュンクラフトスクール長野 【講師名】代表：末次克洋(すえなみ かつひろ) 【連絡先】中信地区環境教育ネットワーク(eeネット) 事務局 中林 直子 TEL 0263-86-8739 携帯：090-2737-1856 FAX 0263-86-8739 【eメール】eecocone1@gomine.nagano.jp
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	身近な自然観察 (講座 No. 24)
支援事業内容	自然の楽しみ方、自然と人や動物と植物のつながりなど、自然保護や環境保全の考え方を学年に応じ、自然観察から学びとります。四季折々を楽しみながら、身近な場所の校庭や水辺(小川)、まちなか等で自然観察のガイドを行います。 また、外来植物(外来生物)のお話をすることもできます。必要に応じて、フィールドに出る前あるいは後に、教室内でのレクチャーを希望される場合は対応いたします。別の日程で組んでいただくことも可能です。  
対象	小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定 特別支援学級(要相談)
時間	1.講座で2~2.5時間程度
講師人数	子ども15人に対して講師1人が理想的(先生と協力して1クラス程度まで)
※費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)
※	②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 なし
学校側で必要な準備講師からの持込資材等	③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 なし
講師について	申込時・事前の打合せを通じて別途相談 1996年、自然を学び環境を考える仲間と会をつくる。「自然観察から始まる自然保護」を目指して、自然観察会やボランティア活動などを実践。自然と人、動物、植物などのつながりや気付きから、自然保護、環境保全へと展開する環境学習を、大人や子どもと共に学び合っている。
開催実績	平成27年度~令和3年度 今井小学校 学習公園にて、身近な自然観察 菅野小学校 校庭にて、身近な自然観察
※その他	上高地パークボランティアとしての中学校自然観察ガイド(5件/年)、松本盲学校でのガイドの経験有、市内地区公民館での自然観察ガイド等、環境・地域エネルギー課エコスクール、福祉ひろば自然観察ガイド
講師連絡先	【団体名】自然観察の会 ひこばえ 【代表者名】村上さよ子 【担当】村上さよ子 【TEL】0263-26-1573 / 090-7204-8140 (いつでも連絡可能) 【FAX】0263-26-1573 【住所】松本市毎部3-11-3
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	水辺の観察会 (講座 No. 2 5)
支援事業内容	<p>○水辺の生物観察の指導を行います。 ・生物採取の方法を指導し、採取した生物の名称やどんな生き物がを解説します。 ・水生生物の生息状況と、透視度や COD などの化学的測定をあわせて行い、河川の汚染を解説します。</p>  
対象	小学校1年生～6年生(学年に合わせた授業を行います。)
時間数	1～1.5時間
講師人数	子ども20人に講師1名
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1回分毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ③児童個人に必要なもの → 【学生費等】</p>
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	水辺観察会の手引書(カラーコピーでも可) バケツ、バット、手網、透視度計、他
講師について	水辺の自然環境の調査、環境学習、国際協力を実施する団体で主に梓川や松本地域で活動しています。
開催実績	梓川での水辺学習会 田んぼでの生きものの観察会
その他	<p>【団体名】 NP0 法人 えんどっこ 【担当者名】 大月健二 【TEL】 090-4463-5887 【HP】 http://endotuko.com/</p> <p>①申込書の内容を上記電話番号に伝える。②同じものを教育文化センター担当(FAX: 32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>
講師 連絡先	
申込み方法	

講座名称	水辺の生物の観察会 (講座 No. 2 6)
支援事業内容	<p>市内の河川などにいる水生生物の採取と観察を行います。実際に川に行き、水生生物の採集を行い、水生生物の種類ごとに分類する等、観察方法を学び、川の面白さについて実感する講座です。</p> <p>【これまでに実施した学習会のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の川と水への意識 ・アルプスの水がもたらす恵みと課題 ・里地・里山の森と暮らしと水 ・千曲川水系における水生昆虫類の個体群構造と遺伝的構造 ・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について ・河川繁殖する鳥類への増水の影響と役割 ・トンボ類からみた日本と台湾の繋がり ・父親が子育てをすることをコオロギ科昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について ・安曇野の魚と人とのかわり <p>全学年(学年に合わせた授業を行います)</p> <p>3時間程度</p> <p>子ども10人に講師1人</p> <p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・材料費 開催内容による(事前の相談で決定) ③児童個人に必要なもの → 【学生費等】 ・材料費 開催内容による(事前の相談で決定) 事前講義(安全等)、網、内面が白色のプラスチック皿、ピンセット、虫めがね(10～20倍)、バケツ、ノート(スケッチ用紙)、網類、バット、ピンセット</p> <p>身近な川を調べ、地域文化との関係や生き物のすみかとして成立をを考え、今後の川の姿に関して提言するNP0法人です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27、28、29、30、令和元年度 田川小学校 ①奈良井川脇の湧水に行き水生生物を探す。 ②学校に戻り、捕まえた水生生物をルーペ等で観察する。 ③水生生物の記録の書き方を講師から習い、絵と文で記録する。 ・平成28年度 信州大学教育学部附属松本小学校年間を通して定期的に女鳥羽川を散策してきた子どもたちが、講師の先生から川の生物の解説を聞いたり、川の生物の見つけ方を教わったりする事を通して、女鳥羽川への関心を更に高めた。 ・令和元年度 安曇小学校、島内小学校 ・令和3年度 安曇小学校、中山小学校、田川小学校
対象	
時間数	
講師人数	
費用	
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	
講師について	
開催実績	
その他	<p>【団体名】 NP0 法人 川の自然と文化研究所 【担当者名】 山本雅道 【代表者名】 吉田利男 【TEL】 090-5413-7161 【FAX】 0263-36-2219 【Eメール】 bassyam@shinshu-u.ac.jp</p> <p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX: 32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>
講師 連絡先	
申込み方法	

【分類：校外 - 川】	<p>講座名称</p> <p>生き物観察から不思議や疑問を見つけよう！ (講座 No. 27)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>身近な環境 (学校構内も含め) に、どんな生き物がいるかを探し、見つけたものを観察します。身近なところに、予想外にいるような生き物がいることが分かるだけでなく、見つけた生き物についていろいろな疑問がわきます。それらについて考え、子どもたちの関心に寄り添い、彼らの発する質問に考え、答えを見つけて解説することで、自然に関心がもてる子どもたちが育つよう積極的に支援します。</p> <p>1 生きもの採集と観察 (構内および川も含め身近な自然の場所。学内ピオトープでも可)。観察では見つけた生き物について何を感じたか? 面白い点は? いやな点は? 等、感じたこと、考えたことについて語ってもらいます。これらを通して、生き物に興味を持つてなかった子どもたちにも関心がもてるよう指導します。</p> <p>2 観察会後「生き物に見られる不思議、面白さ、すごさ」を主題とする講演をします (時間は要望に応じて20-60分の範囲)。最後に、子どもたちに感想を述べてもらいます。</p> <p>小学校中高学年、中学生 (生き物観察会は低学年も可)</p> <p>1 45分 2 コマ (通常90分) 2 45分</p> <p>1 1回に対して講師1人必要、補助者1-2名 (10人当たり1名)</p> <p>2 講師1名 補助者2名を予定</p> <p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <p>講師1人につき5,000円 (授業1時間毎、通常2時間) 計10,000円</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】</p> <p>なし</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <p>なし</p> <p>1 不要</p> <p>2 個人の名札、筆記用具、記録用ノート。(可能なら、図鑑、バット、ピンセット、虫メガネ、ベトリ皿)</p> <p>顕微鏡、実体顕微鏡、バット、図鑑等</p> <p>主講師は小、中、高、大学での講師経験がありますので、学校からの要請に応じて対応が可能です。</p> <p>子ども向けの「生き物観察会」を市内公民館行事等で年20回程度開催しています。</p> <p>令和元年度 田川小学校、内田公民館、沢村公民館、本郷公民館、田川公民館</p> <p>令和2年度 四賀小学校、田川小学校、鎌田中学校、信明中学校、波田小学校 等</p> <p>令和3年度 四賀小学校、田川小学校、開明小学校 等</p> <p>・No.7の講座も提供しています。</p> <p>【団体名】 松本ホテル学 (まなぶ) 会 【担当者名】 藤山 静雄 又は 横山裕己 【代表者名】 藤山 静雄 【TEL】 0263-46-3275 / 携帯 080-3481-3741 横山 090-1736-6771 【FAX】 0263-46-3275 【Eメール】 sfujiya@shinshu-u.ac.jp 【HP】 https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/ 【住所】 〒390-0311 松本市水波 25-6</p> <p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター一担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをします。④当日を迎える。</p>
<p>対象</p>	<p>小学校中高学年、中学生 (生き物観察会は低学年も可)</p>
<p>時間数</p>	<p>1 45分 2 コマ (通常90分) 2 45分</p>
<p>講師人数</p>	<p>1 1回に対して講師1人必要、補助者1-2名 (10人当たり1名)</p> <p>2 講師1名 補助者2名を予定</p>
<p>費用</p>	<p>講師1人につき5,000円 (授業1時間毎、通常2時間) 計10,000円</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】</p> <p>なし</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <p>なし</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>顕微鏡、実体顕微鏡、バット、図鑑等</p>
<p>講師からの持込資料等</p>	<p>なし</p>
<p>講師について</p>	<p>主講師は小、中、高、大学での講師経験がありますので、学校からの要請に応じて対応が可能です。</p> <p>子ども向けの「生き物観察会」を市内公民館行事等で年20回程度開催しています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>令和元年度 田川小学校、内田公民館、沢村公民館、本郷公民館、田川公民館</p> <p>令和2年度 四賀小学校、田川小学校、鎌田中学校、信明中学校、波田小学校 等</p> <p>令和3年度 四賀小学校、田川小学校、開明小学校 等</p> <p>・No.7の講座も提供しています。</p>
<p>その他</p>	<p>【団体名】 松本ホテル学 (まなぶ) 会 【担当者名】 藤山 静雄 又は 横山裕己 【代表者名】 藤山 静雄 【TEL】 0263-46-3275 / 携帯 080-3481-3741 横山 090-1736-6771 【FAX】 0263-46-3275 【Eメール】 sfujiya@shinshu-u.ac.jp 【HP】 https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/ 【住所】 〒390-0311 松本市水波 25-6</p> <p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター一担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをします。④当日を迎える。</p>
<p>講師</p>	<p>藤山 静雄</p>
<p>連絡先</p>	<p>【代表者名】 藤山 静雄 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【Eメール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 安曇 4306-7</p> <p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター一担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをします。④当日を迎える。</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター一担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをします。④当日を迎える。</p>

【分類：校外 - 川】	<p>講座名称</p> <p>地元の川大好き！リバーアドベンチャー (講座 No. 28)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>地元で流れる川の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！どんな川、どこの川でも出張します！</p> 
<p>対象</p>	<p>小1から中3まで、特別支援学級 (応相談)</p>
<p>時間数</p>	<p>3時間程度 (内容・河川によって変動有)</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども10人に講師1名 (内容・河川によって変動有)</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <p>講師1人につき5,000円 (授業1時間毎)</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】</p> <p>なし</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <p>・保険料 ¥2,000 / 参加者 (学校保険にて対応可能)</p> <p>・レンタル料金 ¥500 (ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む)</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など</p>
<p>講師からの持込資料等</p>	<p>ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど</p>
<p>講師について</p>	<p>2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動など、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。</p> <p>【令和3年度実施】</p> <p>梓川小学校 4, 6学年 「梓川大好き！大河の一滴スライドショー」</p> <p>〃 6学年 「地元の川大好き！リバーアドベンチャー」</p> <p>〃 4学年 「リバーアドベンチャーエピソード1」</p> <p>波田小学校 3学年 「梓川大好き！大河の一滴スライドショー」</p> <p>〃 3学年 「上高地源流見学」</p> <p>大野川小学校 3, 4学年 「梓川、奈良井川、犀川ラフティング」</p> <p>大野川小学校 1, 2学年 「秋の乗鞍さんぽ」</p> <p>大野川中学校 1, 2学年 「乗鞍高原大縦断 (スノーシュー)」</p> <p>安曇小学校 3, 4学年 「地元の川大好き！リバーアドベンチャー」</p> <p>〃 5, 6学年 「水鏡ダムフラットピクニック」</p> <p>【コロナにより中止】</p> <p>源池小学校 2学年, 5学年, 特別支援学級</p> <p>「地元の川大好き！リバーアドベンチャー」 コロナにより中止</p> <p>田川小学校 4学年 「梓川大好き！大河の一滴スライドショー&犀川下り」</p> <p>鎌田小学校 2学年 「川で手作り船に乗ろう」</p> <p>梓川小学校 4学年 「リバーアドベンチャーエピソード2 (冬バージョン)」</p> <p>・梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでコーディネートいたします。まずはお気軽にご要望をお聞かせください！</p> <p>・No.8, 29, 30, 31の講座も提供しています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>【団体名】 リトルピークス 【代表者名】 小峰邦良 【担当者名】 小峰邦良 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【Eメール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 安曇 4306-7</p> <p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター一担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをします。④当日を迎える。</p>
<p>その他</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター一担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをします。④当日を迎える。</p>
<p>講師</p>	<p>小峰邦良</p>
<p>連絡先</p>	<p>【代表者名】 リトルピークス 【代表者名】 小峰邦良 【担当者名】 小峰邦良 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【Eメール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 安曇 4306-7</p> <p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター一担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをします。④当日を迎える。</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター一担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをします。④当日を迎える。</p>

講座名称	水殿ダムラフトピクニック (ダム見学付き) (講座 No. 30)
支援事業内容	川&水の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます (ダム機能も学べます)!!
対象	小1から中3まで、特別支援学級 (応相談)
時間数	3時間程度 (内容・河川によって変動有)
講師人数	子ども7人に講師1名 (内容・河川によって変動有)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥350/参加者 (学校保険にて対応可能) ・レンタル料金¥500 (ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む) プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・フリースエイトなど 2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クレーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプツは「風流であれ! アナログであれ!!!」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。 【令和3年度実施】 梓川小学校 4, 6学年 「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー」 〃 6学年 「地元の川大好き! リバーアドベンチャー」 〃 4学年 「リバーアドベンチャーエピソード1」 波田小学校 3学年 「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー」 〃 3学年 「上高地源流見学」 大野川小学校 3, 4学年 「梓川、奈良井川、犀川ラフティング」 大野川小学校 1, 2学年 「秋の乗鞍さんぽ」 大野川中学校 1, 2学年 「乗鞍高原大縦断 (スノーシュー)」 安曇小学校 3, 4学年 「地元の川大好き! リバーアドベンチャー」 〃 5, 6学年 「水殿ダムラフトピクニック」 【コロナにより中止】 源池小学校 2学年、5学年、特別支援学級 「地元の川大好き! リバーアドベンチャー」 コロナにより中止 田川小学校 4学年 「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー&犀川下り」 鎌田小学校 2学年 「川で手作り船に乗ろう」 梓川小学校 4学年 「リバーアドベンチャーエピソード2 (冬バージョン)」 ・梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでコーディネートいたしました。まずはお気軽にご要望をお聞かせください! ・No.8、28、30、31の講座も提供しています。
学校側に必要な準備	学校側で必要な準備
講師からの持込資材等	講師からの持込資材等
講師について	講師について
開催実績	開催実績
その他	その他
講師連絡先	講師連絡先
申込み方法	申込み方法

梓川&奈良井川&犀川ラフティング (講座 No. 29)



川の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます!!

対象 小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級 (応相談)

時間数 3時間程度 (内容・河川によって変動有)

講師人数 子ども7人に講師1名 (内容・河川によって変動有)

費用 ①講師謝礼 → 【報償費】

・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎)

②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】

・なし

③児童個人に必要なもの → 【学年費等】

・保険料¥350/参加者 (学校保険にて対応可能)

・レンタル料金¥500 (ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む)

プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など

ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・フリースエイトなど

2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クレーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプツは「風流であれ! アナログであれ!!!」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
【令和3年度実施】
梓川小学校 4, 6学年 「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー」
〃 6学年 「地元の川大好き! リバーアドベンチャー」
〃 4学年 「リバーアドベンチャーエピソード1」
波田小学校 3学年 「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー」
〃 3学年 「上高地源流見学」
大野川小学校 3, 4学年 「梓川、奈良井川、犀川ラフティング」
大野川小学校 1, 2学年 「秋の乗鞍さんぽ」
大野川中学校 1, 2学年 「乗鞍高原大縦断 (スノーシュー)」
安曇小学校 3, 4学年 「地元の川大好き! リバーアドベンチャー」
〃 5, 6学年 「水殿ダムラフトピクニック」
【コロナにより中止】
源池小学校 2学年、5学年、特別支援学級
「地元の川大好き! リバーアドベンチャー」 コロナにより中止
田川小学校 4学年 「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー&犀川下り」
鎌田小学校 2学年 「川で手作り船に乗ろう」
梓川小学校 4学年 「リバーアドベンチャーエピソード2 (冬バージョン)」
・梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでコーディネートいたしました。まずはお気軽にご要望をお聞かせください!
・No.8、28、30、31の講座も提供しています。

学校側で必要な準備

講師からの持込資材等

講師について


開催実績



その他

講師連絡先

申込み方法

講座名称	水殿ダムラフトピクニック (ダム見学付き) (講座 No. 30)
支援事業内容	川&水の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます (ダム機能も学べます)!!
対象	小1から中3まで、特別支援学級 (応相談)
時間数	3時間程度 (内容・河川によって変動有)
講師人数	子ども7人に講師1名 (内容・河川によって変動有)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥350/参加者 (学校保険にて対応可能) ・レンタル料金¥500 (ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む) プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・フリースエイトなど 2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クレーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプツは「風流であれ! アナログであれ!!!」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。 【令和3年度実施】 梓川小学校 4, 6学年 「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー」 〃 6学年 「地元の川大好き! リバーアドベンチャー」 〃 4学年 「リバーアドベンチャーエピソード1」 波田小学校 3学年 「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー」 〃 3学年 「上高地源流見学」 大野川小学校 3, 4学年 「梓川、奈良井川、犀川ラフティング」 大野川小学校 1, 2学年 「秋の乗鞍さんぽ」 大野川中学校 1, 2学年 「乗鞍高原大縦断 (スノーシュー)」 安曇小学校 3, 4学年 「地元の川大好き! リバーアドベンチャー」 〃 5, 6学年 「水殿ダムラフトピクニック」 【コロナにより中止】 源池小学校 2学年、5学年、特別支援学級 「地元の川大好き! リバーアドベンチャー」 コロナにより中止 田川小学校 4学年 「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー&犀川下り」 鎌田小学校 2学年 「川で手作り船に乗ろう」 梓川小学校 4学年 「リバーアドベンチャーエピソード2 (冬バージョン)」 ・紹介したプログラム (No.8、28、29、31) を繋ぐことで山・川・水・源流から河口までアクティビティで繋ぐことが実現! 是非ともご体験ください。まずはお気軽にお電話でもご要望をお聞かせください!!
学校側に必要な準備	学校側で必要な準備
講師からの持込資材等	講師からの持込資材等
講師について	講師について
開催実績	開催実績
その他	その他
講師連絡先	講師連絡先
申込み方法	申込み方法

講座名称	地元の方が100倍好きになる登山学 (講座 No. 3 1)
支援事業内容	山の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます!! 
対象	小1から中3まで、特別支援学級(応相談)
時間数	半日～一日程度(内容・山域によって変動有)
講師人数	子ども10人に講師1名(内容・河川によって変動有)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥2000/参加者(学校保険にて対応可能) ・登山に必要な着機材・昼食・飲み物など レスキュー用品・ファーストエイドなど
学校側に必要な準備	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリンアップ梓川などの地域貢献活動など、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーエージェントは「風流であれ! アナログであれ!!」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
講師からの持込資材等	【令和3年度実施】 梓川小学校 4、6学年「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー」 〃 6学年「地元の良い川大好き! リバーアドベンチャー」 〃 4学年「リバーアドベンチャーエピソード1」 波田小学校 3学年「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー」 〃 3学年「上高地源流見学」 大野川小学校 3、4学年「梓川、奈良井川、犀川ラフティング」 大野川小学校 1、2学年「秋の乗鞍さんぽ」 大野川中学校 1、2学年「乗鞍高原大縦断(スノーシュー)」 安曇小学校 3、4学年「地元の良い川大好き! リバーアドベンチャー」 〃 5、6学年「水鏡ダムラフトラフィック」 【コロナにより中止】 源池小学校 2学年、5学年、特別支援学級 「地元の良い川大好き! リバーアドベンチャー」 コロナにより中止 田川小学校 4学年「梓川大好き! 大河の一滴スライドショー&犀川下り」 鎌田小学校 2学年「川で手作り船に乗ろう」 梓川小学校 4学年「リバーアドベンチャーエピソード1(冬バージョン)」 ・乗鞍岳に留まらず、皆様のお近くに響える身近な山での体験も喜んでコーディネートいたします。昨今学校登山での事故やトラブルが増えています。是非ともご不安な場合はプロの山ガイドにお任せ頂けると幸いです。まずはお気軽にお電話でもメールでもご要望をお聞かせください!! ・No.8、28、29、30の講座も提供しています。
開催実績	【団体名】リトルピークス【代表者名】小峰邦良 【担当者名】小峰邦良 【TEL】0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】0263-93-1243 【Eメール】mine@litttlepeaks.jp 【ホームページ】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】安曇4306-7
講師	
連絡先	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	謎解きウォーク体験 (講座 No. 3 2)
支援事業内容	地域の地形、歴史、文化の謎を解きながらまちを歩く、探求型ウォークラリー体験。1班5～6人+スタッフで探偵団を編成し、地図を見ながらポイントを探してミッションに記された謎を解く。ウォークラリー終了後は、学校に戻って各班毎に調査内容をまとめ、報告発表します。  
対象	小学校5年生以上中学3年生まで、特別支援学級
時間数	3時間分程度
講師人数	子ども30人に講師5人程度
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側に必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	マップ、ワークシート、解説用フリップその他備品
講師について	Iターン者と地域住民との交流による新しいふるさとづくりを目指して2006年に設立。2007年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」、2015年度から地域ガイド育成講座「案内人の教室」、2018年度から松本観光ホスピタリティカレッジ「ガイドコース」の講師も務めています。
開催実績	2020年度 梓川小学校
その他	・No.9の講座も提供しています。
講師	【団体名】NP0法人安曇野ふるさとづくり応援団 【担当者名】宮崎 崇徳 【代表者名】宗像 章 【TEL】0263-81-1325 (10-17時なら連絡可能) 【FAX】0263-81-1280 【Eメール】lifeport@nifty.com 【HP】 http://azumino-furusato.com/ 【住所】〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2
連絡先	①申込書の内容を上記Eメール又はFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。
申込み方法	

講座名称	手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について (講座 No. 3 3 3)
支援事業内容	お米について学べる講座です。 年間を通じてお米の肌ヌカ(米の精)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きものを溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。作物を育てる活動は5月～9月が活動時期です。精米工場の見学は年中できず。学校や近隣に出向き、農業体験や自然体験等の講座を実施することも可能です。  
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間数	90～110分程度(2時限程度)年間3回程度
講師人数	子ども15人程度に講師1名目安
費用	①講師謝礼 → 【報酬費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)+交通費相当2,000円 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代、実習用資材使用代等(応相談) ③児童個人に必要なもの → 【学費等】 ・資料代、実習用資材使用代等(応相談)
学校側に必要な準備 講師からの 持込資材等	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導 田植え、稲刈りに必要な資材
講師について	いきものみつけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成25年度～令和3年度 主催事業で実施
その他	・主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせ開催1か月前目安にはしたいです。 ・No.35、36の講座も提供しています。
講師 連絡先	【団体名】いきものみつけファーム in 松本推進協議会 【担当者名】事務局担当 藤村哲 【代表者名】会長 降旗一路 【TEL】090-2219-2457 (9時～19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【Eメール】ts.kakehashi@ahoo.co.jp 【住所】松本市寿北9-7-17
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	石窯でピザづくりたいけん (講座 No. 3 4)
支援事業内容	間伐材を燃やして石窯を加熱しながら環境問題を考え、蓄熱された石窯でピザ生地をトッピング調理しながら再生エネルギーの力、蓄熱エネルギーの原理等を学べる講座です。  
対象	小学1年生から中学3年生・「特別支援学級」
時間数	最長90分程度(参加人員による)
講師人数	講師最低3人必要(教諭も含めた参加者定員は25人程度)
費用	①講師謝礼 → 【報酬費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・薪(広葉樹のもの) 約500円/1回 ③児童個人に必要なもの → 【学費等】 ・ピザ材料100円/1人(ピザ焼き枚数は参加人員に応じて5枚から8枚) ・講座実施場所(松本市横田)への往復付き添い ・参加者の食物アレルギーの無の事前確認 ・必要に応じた飲み物
学校側に必要な準備 講師からの 持込資材等	特になし
講師について	平成28年にNPOを設立し、地元の間伐材を利用して再生エネルギーの活用と環境問題への寄与を図り、石窯体験活動を通じて子供の健全育成へ寄与する団体です。会員数11名です。
開催実績	令和2年度 岡田小学校あさひ分校 女鳥羽中学校あさひ分校 令和3年度 明善小学校(出張体験会)
その他	・プログラム実施の1カ月前には申し込みの連絡をしてください。 ・通年実施可能ですが12月下旬から2月中旬は寒さで未実施。 ・実施場所は松本市横田です。参加者の移動が必要。 ・雨天・強風では実施不可能なので直前での実施日変更の可能性有 ・No.11の講座も提供しています。
講師 連絡先	【団体名】NPO法人石窯スマイル研究会 【担当者名】桐原 真幸 【代表者名】桐原 真幸 【TEL】0263-36-8835 【FAX】0263-36-8835 【Eメール】ishigama.s.kenkyu@road.ocn.ne.jp 【HP】http://smilestone-labo.com 【住所】〒390-0804 松本市横田 4-1-1(講座実施場所)
申込み方法	①申込書を上記メールまたはFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内外両方で可】

講座名称	いきもの探しと観察及び環境教育講座 (講座 No. 3 5)
支援事業内容	 <p>身近にある自然と環境について学べる講座です。生き物を観察する活動は5月～9月が活動時期の目安です。学校や近隣に出向き、自然体験などの講座を実施することも可能です。</p>
対象	小1から中3まで、特別支援学級
時間数	90～110分程度(2時限程度)
講師人数	子ども20人に講師1名が目安
費用	<p>①講師謝礼 → 【報酬費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)+交通費相当2,000円程度 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習用資材使用料金(応相談) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習用資材使用料金(応相談)</p>
学校側で必要な準備講師からの持込資材等	<p>児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導 自然体験・環境教育学習に必要な資材</p>
講師について	いきものみつけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	<p>平成27年度～30年度 菅野小 令和元年度 安曇小 ・主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前目安にはしたいです。 ・No.33、36の講座も提供しています。</p>
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】いきものみつけファーム in 松本推進協議会 【代表者名】会長 降旗一路 【担当者名】事務局担当 藤村哲 【TEL】090-2219-2457 (9時～19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【Eメール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】松本市寿北9-7-17</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内外両方で可】

講座名称	プランター菜園講座 (講座 No. 3 6)
支援事業内容	 <p>年間を通じてお米の肌ヌカ(米の精)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きものの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。 作物を育てる活動は5月～9月が活動時期の目安です。 学校や近隣に出向き、農業体験の講座を実施することが可能です。</p>
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級含む
時間数	90～110分程度(2時限程度)
講師人数	子ども30人以上の講師
費用	<p>①講師謝礼 → 【報酬費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)+交通費相当2,000円 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・プランター、苗代、肥料代等(応相談) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・応相談</p>
学校側で必要な準備講師からの持込資材等	<p>児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導 申込時・事前の打合せを通じて別途相談</p>
講師について	いきものみつけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	<p>平成25年度～令和3年度 主催事業で実施 主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前目安にはしたいです。 ・No.33、35の講座も提供しています。</p>
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】いきものみつけファーム in 松本推進協議会 【担当者名】事務局担当 藤村哲 【代表者名】会長 降旗一路 【TEL】090-2219-2457 (9時～19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【Eメール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】松本市寿北9-7-17</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。


【分類：校内外両方で可】

<p>講座名称</p>	<p>体験！体感！外あそび!! (講座 No. 37)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>1 古代の火起こし体験...人と火の繋がり...地球とエネルギー 2 燗製食べ比べ試食体験 3 ネイチャージャーゲーム 4 木育体験 5 ツリーハウス/秘密基地造り 6 その他松柱れ、湧水等地域探検、自然観察、ロープワーク</p>   
<p>対象</p>	<p>火おこし 燗製 ツリーハウス</p>
<p>時間数</p>	<p>小学生全学年：プログラムにより個別にご相談 2時間分(80~90分)~3時間分(120分)</p>
<p>講師人数</p>	<p>※移動時間含まず遠隔地や校外学習可、別途ご相談 子ども30人に対して3~4人の講師</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・材料費等は別途(事前相談のうえ決定します。) ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・材料費等は別途(事前相談のうえ決定します。)</p>
<p>学校側に必要な準備</p>	<p>お打ち合わせの際にご相談させていただきます。</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>火起こし用具のセット、燗製用具のセット、ツリーハウス機材、ネイチャージャーゲームなど体験に必要な機材一式</p>
<p>講師について</p>	<p>四賀地区中川の、廃校小学校(旧中川小学校)活用について、平成25年松本市が募集した「トピックス」事業へ応募を行い採択されました。平成26年4月より活動。①野外体験②刈り込み公民館、児童会の主催する自然体験学習プログラムの実施、小学校の総合学習支援参加、民間運営の日帰りキャンプ支援等に参加しています。県内の野外体験活動団体等のネットワーク、信州外あそびネットワークに加盟しています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成28年度 会田中：火おこし体験、ネイチャージャーゲーム 平成29年度 島内小：人と火の繋がり~燗製試食体験、ネイチャージャーゲーム 松塩筑小学校教育課程研究協議会生活科 平成30年度 芝沢小：人と火の繋がり~燗製試食体験、ネイチャージャーゲーム 令和元年度 中山小：秘密基地/ツリーハウス作り 令和2年度 梓川小：人と火の繋がり、ネイチャージャーゲーム</p>
<p>その他</p>	<p>ツリーハウスキャンプ、体験活動団体支援、地域体験活動企画運営</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】信州やがいたいけん乗校ぶらす 【担当者名】降幡光幸 【TEL】090-3042-0744 (随時連絡可能) 【FAX】0263-87-2038 【Eメール】m.furig.tlc2010@way.ocn.ne.jp 【HP】http://yt-plus.blogspot.jp/ 【ブログ】http://yt-plus.blogspot.jp/ 【住所】〒390-0315 松本市岡田町630-6</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>



【分類：校内外両方で可】

<p>講座名称</p>	<p>体験して学ぶ「自然や環境」について (講座 No. 38)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>自然と環境について学べる講座です。プロジェクトWILDなど体験型環境教育プログラムを通じて、児童・生徒に身近な自然や環境について学びと気づきを得ていただきます。これまで県内の小中学校や環境イベントなどで披露した実績もあります。</p>   
<p>対象</p>	<p>小1から中3まで、特別支援学級も対応可能</p>
<p>時間数</p>	<p>90~100分程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども10人に講師1名目安</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金(応相談) ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金(応相談)</p>
<p>学校側に必要な準備</p>	<p>打ち合わせ時に確認</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>同上</p>
<p>講師について</p>	<p>自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで6年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。代表を務める団体で、自然体験・農業体験・各種講習会を年間多数実施しています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成29年度 田川小学校 平成29~令和2年度 波田小学校 平成29~令和元年度 松島中学校 平成30年10月「安曇野環境フェア」イベント講師 令和2年度 安曇小学校</p>
<p>その他</p>	<p>・No.39の講座も提供しています。</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】体験倉庫かけはし 【代表者名】 藤村哲 【担当者名】 藤村哲 【TEL】090-2219-2457 (9時~19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【Eメール】ts.kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】松本市波田4507-3</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

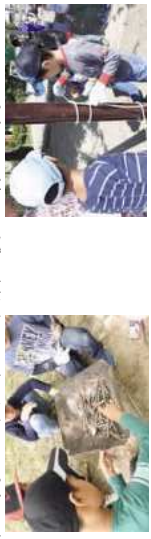
【分類：校内外両方で可】

講座名称	火おこしと簡単な野外料理、農業体験 (講座 No. 39)
支援事業内容	<p>自然体験と農業について学べる講座です。身近にある田んぼや畑での仕事を児童・生徒に体験してもらうことができます。また、キャンプなどで活用できる火熾しや、野外調理についてそのやり方を知ることができます。</p>  
対象	小1から中3まで、特別支援学級
時間数	90～100分程度
講師人数	子ども10人に講師1名目安
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・調理実習器材1,000円程度(事前相談のうえ決定します。) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・食料費1人約300円(事前相談のうえ決定します。)</p>
学校側で必要な準備	打ち合わせ時に確認
講師からの持込資材等	同上
講師について	<p>自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで8年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。代表を務める団体で、自然体験・農業体験・各種講習会を年間多数実施しています。</p>
開催実績	<p>平成29年度 田川小学校 平成29～令和元年度 波田小学校 平成29～令和元年度 松島中学校 平成30年10月「安曇野環境フェア」イベント講師 令和2年度 菅野小学校</p>
その他	<p>・No.38の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】体験倉庫かけはし 【代表者名】 藤村哲 【担当者名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2457 (10時～19時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【Eメール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】 松本市波田4507-3</p>
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内外両方で可】

講座名称	自然体感プログラム (講座 No. 40)
支援事業内容	<p>学校の校庭など身近な自然を遊びながら観察し、心と身体で自然を感じます。発見や気づきを大切に、「自然を見る目」を育てることができると期待する講座です。</p>  
対象	学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級
時間数	45～90分程度 (希望時間に応じたプログラムを実施することもできます。)
講師人数	子ども20人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ・交通費2日分(下見・当日) →⑩37円/km×(以下住所から学校までの距離)×2往復×2日分(下見・当日) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談(基本的には特にはありません。)
講師からの持込資材等	プログラムに使用する備品
講師について	<p>塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。</p>
開催実績	<p>平成28年度 田川小学校 「学校の近くの田川でネイチャージャーゲームなどの自然体験活動」朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体験(ネイチャージャーゲーム)」 平成30年度 並柳小学校「自然体感プログラム、工作」 令和元～3年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校「自然体感プログラム」 菅野小学校、波田小学校「自然素材で簡単工作」 大野川小学校「外あそびの達人講座」</p>
その他	<p>・No.15、41の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】 NP0 法人わおん 【代表者名】 山田 勇 【担当者名】 山田 勇 【TEL】 0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【FAX】 0263-87-4024 【Eメール】 waon@npowaon.com 【HP】 http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】 〒399-0704 塩尻市広丘郷原685</p>
申込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内外面方で可】

講座名称	外あそびの達人講座 (講座 No. 4 1)
支援事業内容	<p>【ロープワーク】ロープの基本的な結び方、ロープの活用方法を実践から学ぶことが出来ます。木があれば、ハンモックや基地づくりができます。</p> <p>【たき火】火のつけ方から始末の方法まで、実践から学ぶことが出来ます。たき火は、たき火台を使っています。</p> 
対象	小学校1年生～中学校3年生、特別支援学級
時間	45分～90分程度
講師人数	子ども15人に講師1人 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ・交通費(自家用車) <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> → @37円/km × (以下住所から学校までの距離) × 2往復 <p>・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料費(たき火で焼いて食べたい物があれば)
学校側で必要な準備 講師からの 持込資材等	たき火が実施可能な場所の確保(たき火の場合) ロープ、ハンモック、たき火台、たき火に必要な道具
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。 小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
開催実績	平成28年度 田川小学校 「学校の近くの田川でネイチャージャーゲームなどの自然体験活動」 朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 鳥内小、教育課程「自然体験(ネイチャージャーゲーム)」 平成30年度 並柳小学校「自然体験プログラム、工作」 令和元～3年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体験プログラム」 菅野小学校、波田小学校「自然素材で簡単工作」 大野川小学校「外あそびの達人講座」
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・希望があれば、校外でも実施できます。 ・ロープとたき火のどちらかを選んでいただくこともできますし、時間によっては両方実施することもできます。 ・No.15、40の講座も提供しています。
講師 連絡先	<p>【団体名】 NP0法人わおん (代表者名) 山田 勇</p> <p>【担当者名】 山田 勇 (朝9時以降なら連絡可能)</p> <p>【TEL】 0263-87-3005</p> <p>【FAX】 0263-87-4024</p> <p>【メール】 waon@powaon.com</p> <p>【HP】 http://waon.naganobl.jp</p> <p>【住所】 〒399-0704 塩尻市広戸郷原685</p>
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内外面方で可】

講座名称	キャンプ・野外生活 基礎 (講座 No. 4 2)
支援事業内容	<p>何を失った人は生きていけないのか。生きていく為に最低限必要な要素を知り、野外において確保する考え方を学ぶ。その中で一番大切な体温保持するシエルトター(雨風を防ぐもの)作りを体験する講座です。</p> 
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	2時限程度
講師人数	1クラスに講師1人(2人以上いれば尚良い)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ(5人以下)で、タープ(1)、ロープ(4)、ペグ(4)、ハンマー(1)、ポール(2)が必要。レンタル代1,000円/セット <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし
学校側で必要な準備 講師からの 持込資材等	屋内で座学とロープワークを学び、屋外でシエルトターを作ります。 体温保持に関する資料(1人1枚)の印刷 タープ、ロープ、ペグ、ハンマー、ポールを必要数
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。
開催実績	平成30年度、31年度 鎌田児童センター 平成30年度 本郷図書館、公民館講座 平成30年度 芳川小学校
その他	・No.21、22、23の講座も提供しています。
講師 連絡先	<p>【団体名】 すえなみプロジェクトスクール長野</p> <p>【講師名】 代表：末次克洋(すえなみかつひろ)</p> <p>【連絡先】 中信地区環境教育ネットワーク(eeネット)</p> <p>事務局 中林 直子</p> <p>【TEL】 0263-86-8739 携帯：090-2737-1856</p> <p>【FAX】 0263-86-8739</p> <p>【メール】 eeconet@minetnagano.jp</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

環境学習の活動内容や支援する団体等が検索できるWEBサイト

中信地区環境教育ネットワークによる

信州の環境学習サポートサイト

どんな環境学習
プログラムがあるかな？
どんな活動を
していきたいかな？
ぜひ、ご活用ください！



信州の環境学習サポートの目的

- 環境学習の実践例を示し、環境学習の面白さや効果を伝えます。
- 中信地域の学校や地域で環境学習が実施できるよう支援団体や窓口を紹介します。
- 良質な環境学習の体験プログラムを紹介します。
- 環境学習が未来の希望となるよう、関係者が協力して環境体験学習の内容の向上と学習提供システムの整備に努めます。

作成/運営

中信地区環境教育ネットワーク

URL <http://www.econoschool.org/>

信州の環境学習

検索



【附録】松本市環境・地域エネルギー課からのお知らせ

1 食品ロスをテーマとした環境教育（小学生向け）

本市では、小さいころから「もったいない」という意識を持ってもらうため、市内全小学校3年生対象に食品ロスをテーマとした出前講座を行っています。

食品ロスをテーマとした環境教育にご興味があればぜひご相談ください。

パワーポイント等を用いた学習のほか、歌・すごろく・DVD教材など、さまざまコンテンツをご用意しています。



◇食品ロスすごろくのご紹介◇

食べものが収穫されるまで・購入されるまで・料理するまで・食べるまでに、それぞれどんな食品ロスがあるのか、減らしていくためにはどうすればいいかを楽しく学べるすごろくです。必要部数を印刷してお渡しのすることもできます。
※対象：小学校3年生以上



2 温暖化対策ワークシート（5・6年生向け）の実施について

子どもたちがワークシートを通して地球温暖化問題について知り、家庭や学校で節電・節水等を実践することにより、温暖化対策・省エネルギーに対する意識の醸成を図るものです。

<ワークシート（A3両面印刷・二つ折り）の構成>

① 知る・考える

現代のライフスタイル、化石燃料、省エネ等について

② 行動する

省エネ・エコ行動の実践、チェック（2週間）

③ 振り返る

最後に感想等を記入し、保護者からコメントをもらう。



表紙

項目	1週間	2週間	達成
省電			
省水			
省紙			
省燃			
その他			

裏表紙

☆実施希望の場合は、環境・地域エネルギー課までご連絡ください。必要部数をカラー印刷してお届けします。

年会費
登録料無料



3 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加について

○こどもエコクラブとは？

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、公益財団法人 日本環境協会が引き継ぎ、実施しているもので、地域における子どもたちの自主的な環境学習や実践活動を支援するものです。

○こどもエコクラブって何をするの？（登録から活動までの流れ）

一緒に活動する仲間（3歳～18歳）と、活動を支える大人（20歳以上）を集めてクラブをつくり、登録します（家族でも可）。

子どもたちの興味や関心に基づき、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に自由に取組みましょう。

活動を報告すると、アーススタンプと専門の先生からのアドバイスがもらえます。アーススタンプを5個集めるとアースレンジャー認定証を授与！また継続して活動すると3年で銀バッジ、6年で金バッジがもらえます。

○登録すると、活動に役立つツールがもらえます！

希望に応じてメンバーズバッジやエコカード（幼児対象）がもらえます。ウェブサイトからメンバー手帳等をダウンロードして使用することもできます。

また、わかりやすい環境情報や取り組みやすい環境活動・学習プログラム、他のクラブの活動の様子などを掲載したメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。



○活動をはじめするには・・・

こどもエコクラブウェブサイトから直接登録ができますので、興味がありましたら以下の URL からホームページにアクセスしてみてください。

【こどもエコクラブ URL】 <http://www.j-ecoclub.jp>

令和4年度
松本市小中学校
環境教育支援事業報告書

発行 松本市
〒390-8620
松本市丸の内3番7号
電話 0263-34-3268
E-mail kankyo_kyoiku@city.matsumoto.lg.jp
編集 松本市環境エネルギー部
環境・地域エネルギー課
協力 中信地区環境教育ネットワーク
印刷 庁内印刷

